

(仮称)茨木市文化振興ビジョン策定業務

報 告 書

平成 26 年3月

茨 木 市

《 目 次 》

I. 業務概要	1
1. 業務目的	1
2. 業務内容	1
II. 茨木市の文化振興に関する現状分析	2
1. 統計データ分析	2
2. 市民アンケート調査	10
3. 学校アンケート調査	70
4. 市民活動団体等インタビュー調査	84
III. 国・大阪府・他都市の文化振興政策分析	86
1. 国の文化振興政策	86
2. 大阪府の文化振興政策	88
3. 近隣都市(北摂地域)の文化振興政策	90
4. 先進都市の文化振興政策	93
5. 他都市における文化振興関連計画・ビジョンの整理	100
IV. 茨木市文化振興ビジョン(素案)の構成	102
V. 資料編	103

I. 業務概要

1. 業務目的

本業務は、文化振興ビジョン策定にあたり、市が目指す文化振興の方向性を明らかにし、全市的な取り組みとして市民文化の向上を図る基本指針について検討することにより、ビジョン策定を円滑に行うために実施した。

2. 業務内容

(1) ビジョン策定に向けた調査研究

① 茨木市の文化振興に関する現状分析

文化振興ビジョン策定にあたって、市の文化振興に関する現状を把握するため、基礎データを収集・分析した。

定量的な調査としては、既存の茨木市統計資料を整理するとともに、市民アンケート調査・学校アンケート調査を実施し、茨木市民の文化振興に関する現状・ニーズ等について把握した。

また、定性的な調査としては、文化芸術活動を行う市民団体等にインタビュー調査を行い、茨木市において文化芸術活動に取り組む際の課題や、今後市に求められる文化振興施策の方向性について意見を聴取した。

② 国・大阪府・他都市の文化振興政策分析

文化振興ビジョン策定の参考とするため、国・大阪府、その他の自治体における文化振興に関連する政策・計画等について調査研究を行った。

調査研究にあたっては、文献調査により情報を整理するとともに、特に参考になると考えられる自治体についてはインタビュー調査を実施し、分析した。

(2) ビジョンの策定支援

上記の調査研究の結果に基づき、茨木市の文化振興の方向性について提案するとともに、文化振興ビジョンの体系・内容について検討し、ビジョン素案の策定を支援した。

II. 茨木市の文化振興に関する現状分析

1. 統計データ分析

(1) 実施概要

茨木市の文化芸術に関する状況を定量的に把握するため、公的資料を用いた統計データによる分析を行った。

具体的には、文化芸術関連産業の状況について、北摂地域における茨木市の位置付けを把握するため、関連産業の事業所数・従業者数について北摂6市(吹田市、豊中市、摂津市、高槻市、箕面市、池田市)との比較分析を行った。また、市内文化芸術関連施設の利用状況に関する近年の推移を把握した。

図表 II-1 分析対象とした統計データ

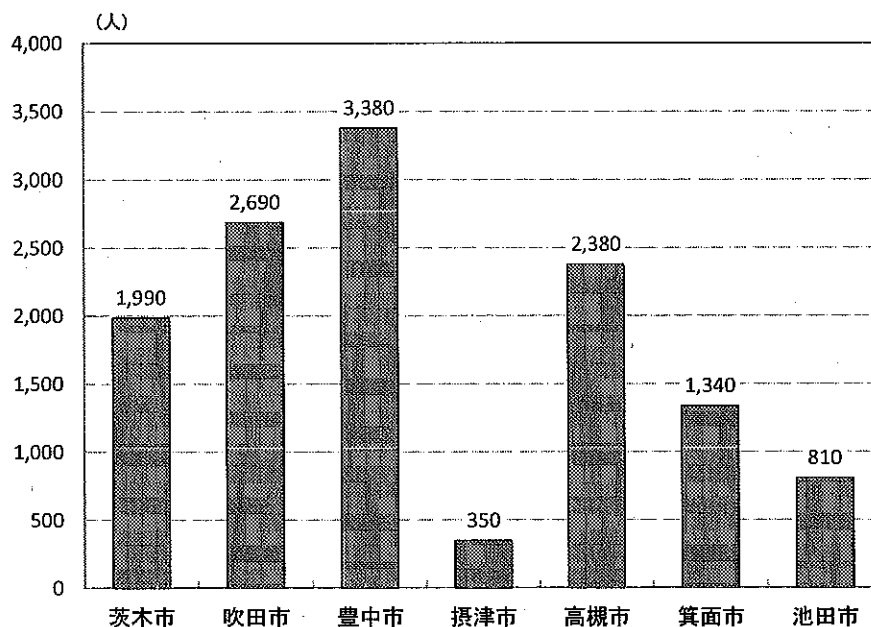
分類	対象データ	統計資料
文化芸術関連産業の状況	【就業者数】 ①文筆家・芸術家・芸能家	総務省「平成 22 年国勢調査」
	【事業所数・従業者数】 ②映像・音声・文字情報制作業 ③学術・開発研究機関 ④デザイン業 ⑤写真業 ⑥映画館 ⑦教養・技能教授業	経済産業省「平成 24 年経済センサス活動調査」
市内文化芸術関連施設の利用状況	【利用者数・件数等】 ①生涯学習センター ②生涯学習センター講座開設状況 ③市民会館(ユーアイホール) ④福祉文化会館(オークシアター) ⑤市民総合センター(クワイエットセンター) ⑥川端康成文学館 ⑦図書館	茨木市「茨木市統計書」

(2) 文化芸術関連産業の状況

① 文筆家・芸術家・芸能家

茨木市の「文筆家・芸術家・芸能家」の就業者数は 1,990 人であり、北摂で4番目に多い。

図表 II-2 文筆家・芸術家・芸能家 就業者数(2010 年)

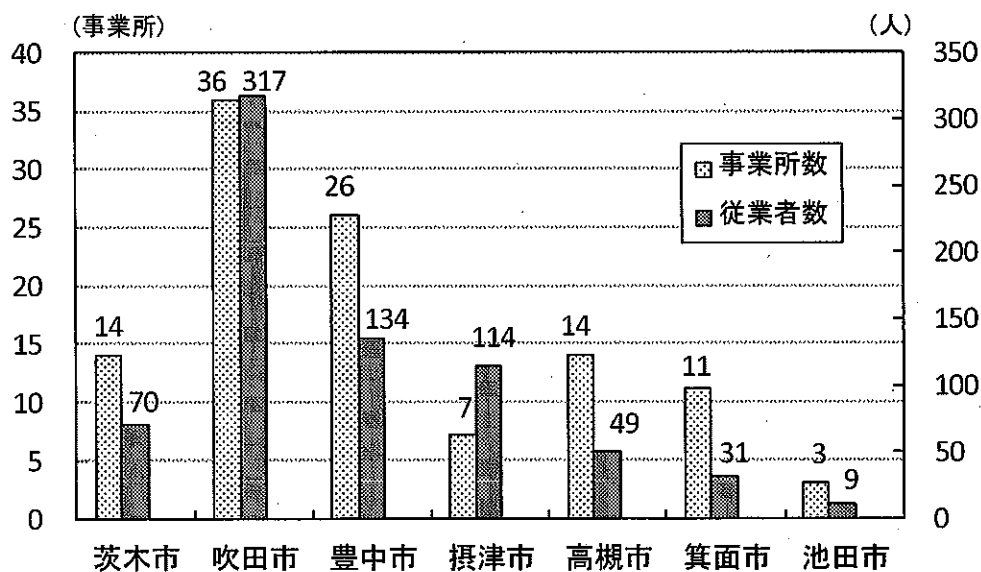


(資料)総務省「平成 22 年国勢調査」

② 映像・音声・文字情報制作業

茨木市の「映像・音声・文字情報制作業」の事業所数は 14 事業所であり、北摂で3番目に多い。また、従業者数は 70 人であり、北摂で4番目に多い。

図表 II-3 映像・音声・文字情報制作業 事業所数・従業者数(2012 年)

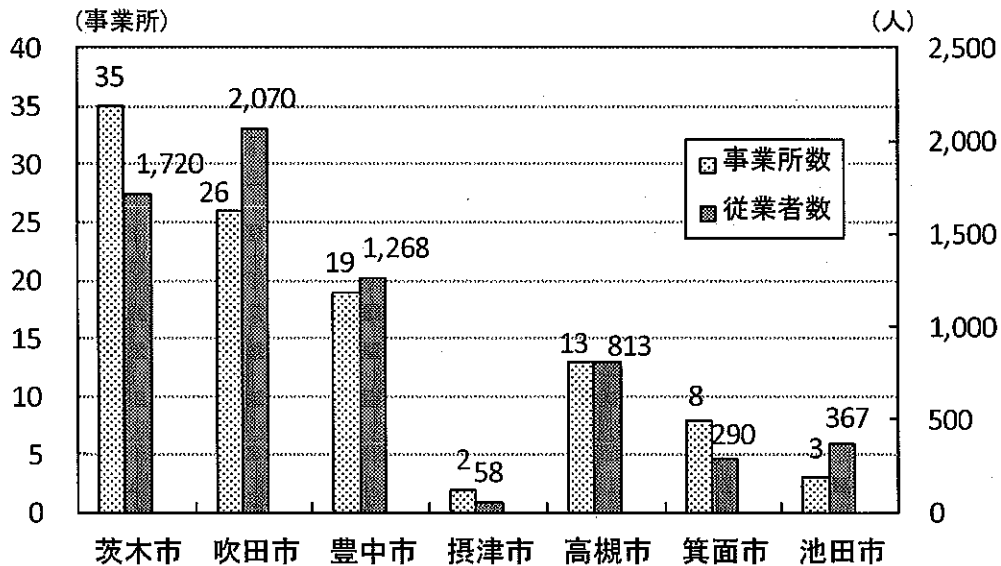


(資料)総務省「平成 24 年経済センサス活動調査」

③ 学術・開発研究機関

茨木市の「学術・開発研究機関」の事業所数は 35 事業所であり、北摂で最も多い。また、従業者数は 1,720 人であり、北摂で2番目に多い。

図表 II-4 学術・開発研究機関 事業所数・従業者数(2012 年)

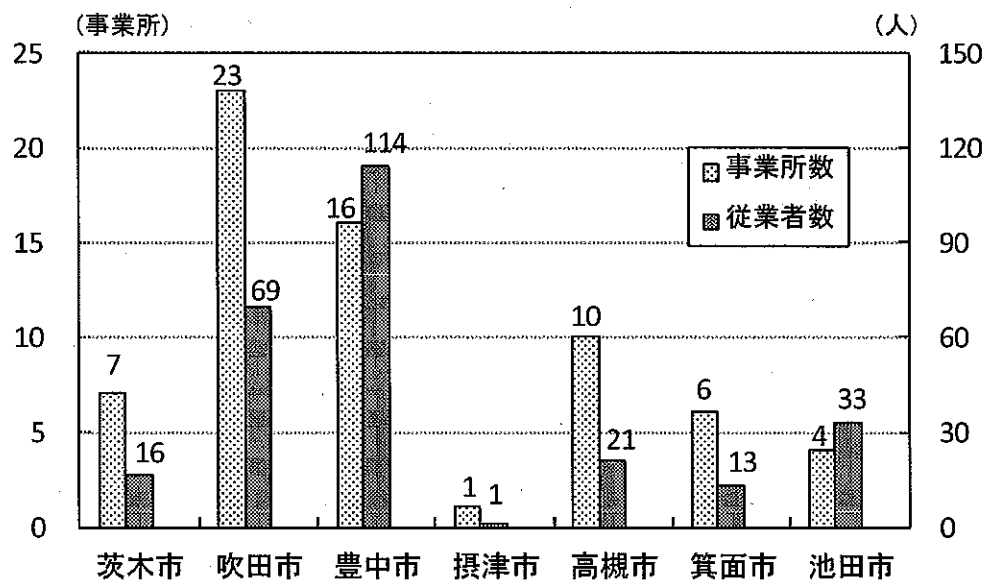


(資料)総務省「平成 24 年経済センサス活動調査」

④ デザイン業

茨木市の「デザイン業」の事業所数は7事業所であり、北摂で4番目に多い。また、従業者数は 16 人であり、北摂で5番目に多い。

図表 II-5 デザイン業 事業所数・従業者数(2012 年)

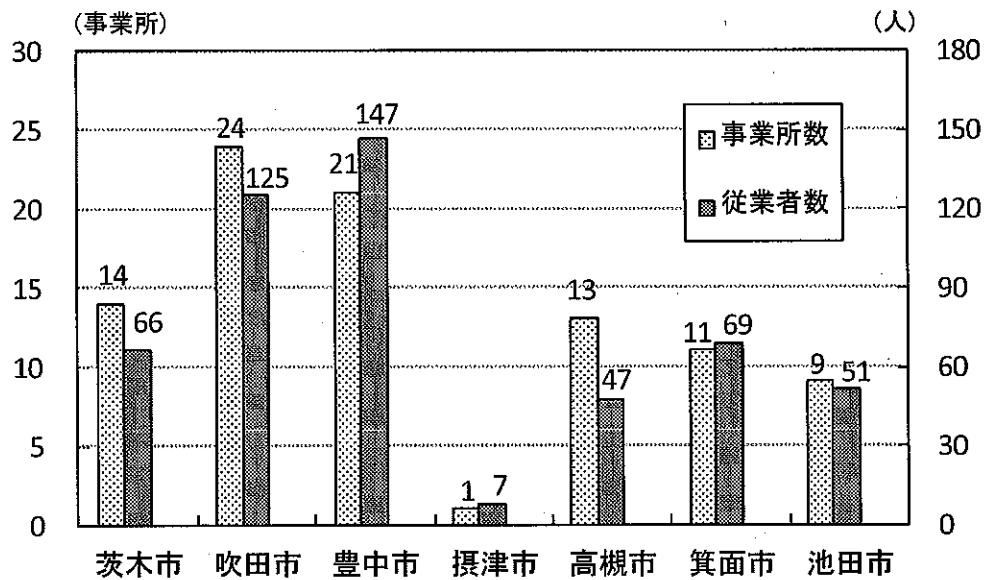


(資料)総務省「平成 24 年経済センサス活動調査」

⑤ 写真業

茨木市の「写真業」の事業所数は 14 事業所であり、北摂で3番目に多い。また、従業者数は 66 人であり、北摂で4番目に多い。

図表 II-6 写真業 事業所数・従業者数(2012 年)

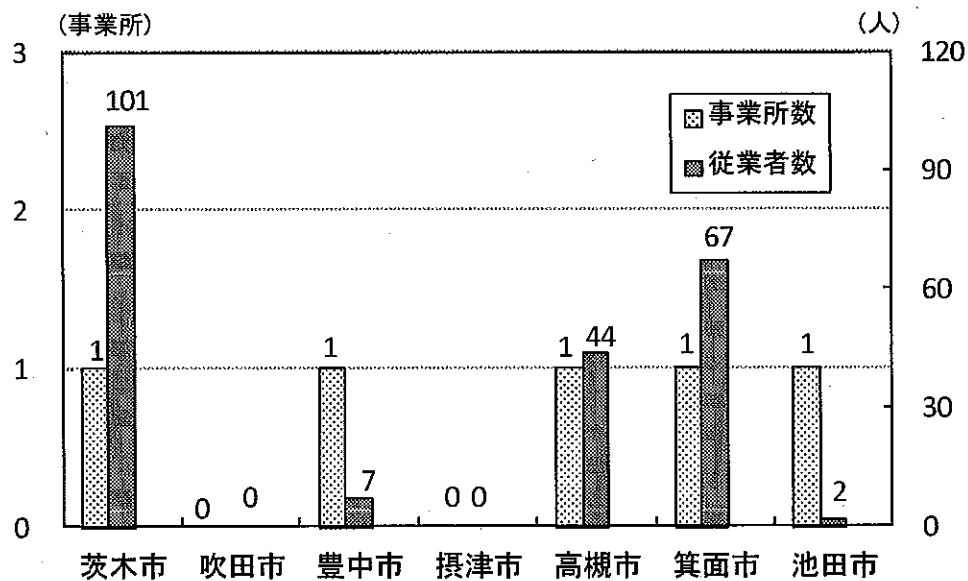


(資料)総務省「平成 24 年経済センサス活動調査」

⑥ 映画館

茨木市の「映画館」の従業者数は 101 人であり、北摂で最も多い。

図表 II-7 映画館 事業所数・従業者数(2012 年)

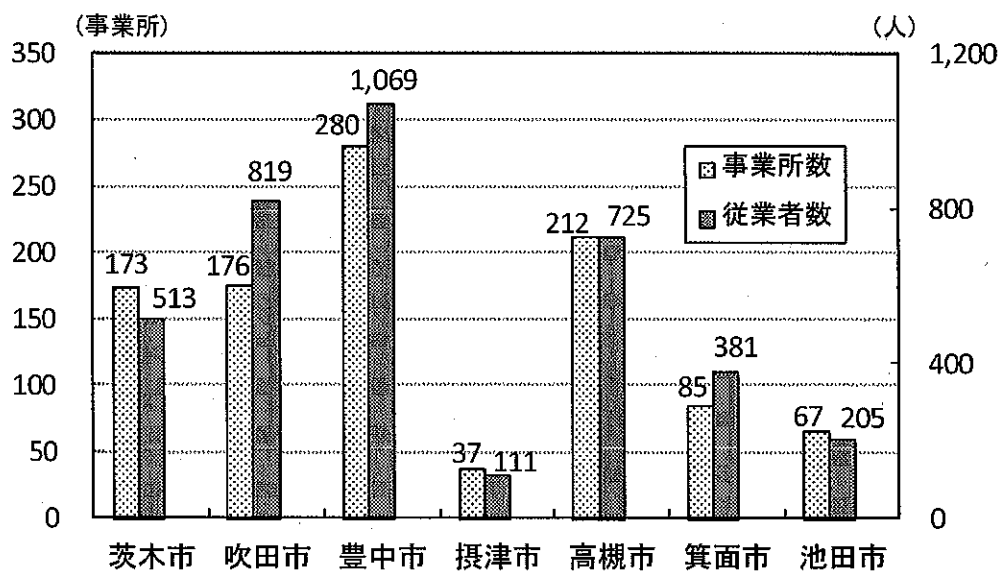


(資料)総務省「平成 24 年経済センサス活動調査」

⑦ 教養・技能教授業

茨木市の「教養・技能教授業」の事業所数は173事業所であり、北摂で4番目に多い。また、従業者数は513人であり、北摂で4番目に多い。

図表 II-8 教養・技能教授業 事業所数・従業者数(2012年)



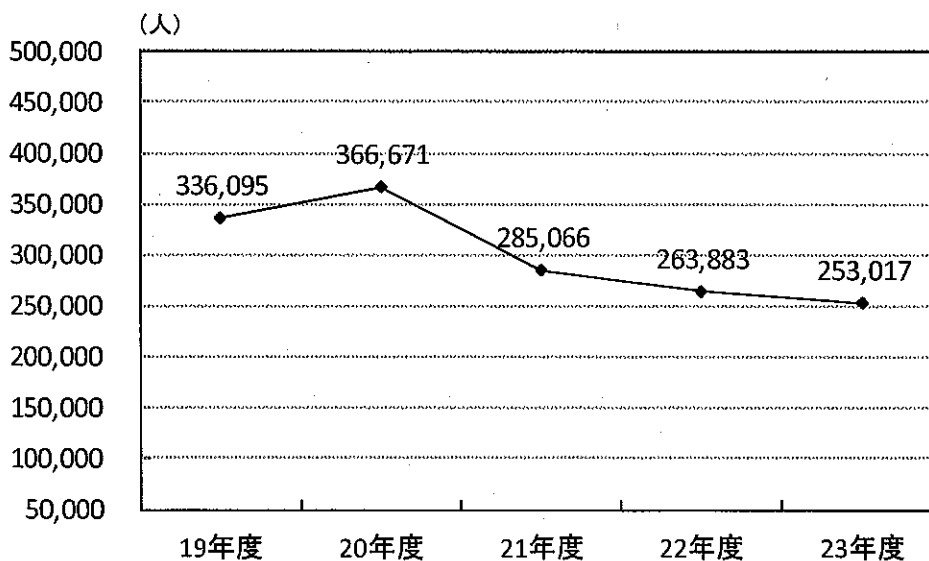
(資料)総務省「平成24年経済センサス活動調査」

(3) 市内文化芸術関連施設の利用状況

① 生涯学習センター

生涯学習センターの利用者数は、平成21年度から減少傾向にある。

図表 II-9 生涯学習センター利用者数

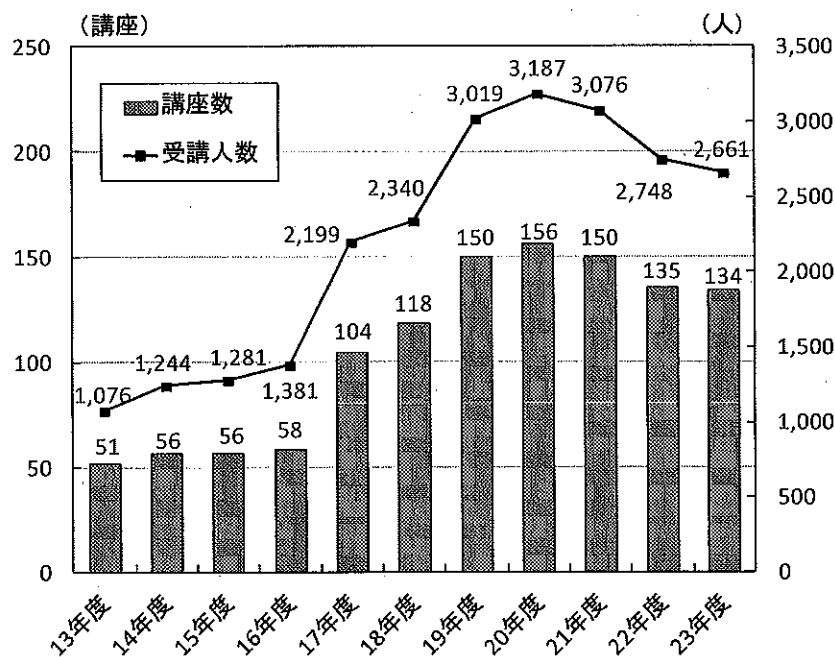


(資料)茨木市統計書

② 生涯学習センターの講座開設・受講

生涯学習センターの講座開設数は増加しており、10年前と比べて2倍以上の講座が開設されている。受講者数も10年前と比べて2.5倍以上の受講者がいる。ただし、平成21年度からはいずれも微減傾向となっている。

図表 II-10 生涯学習センターの講座数・受講者数

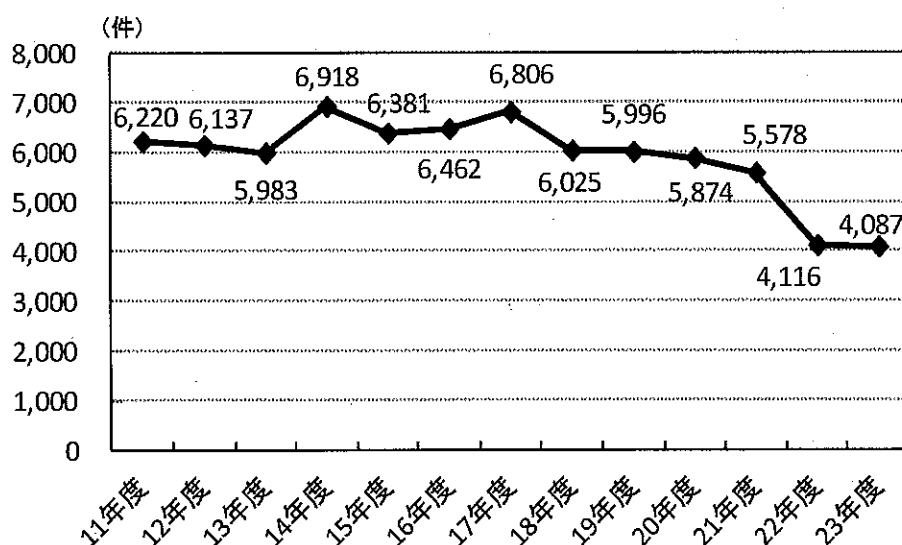


(資料) 茨木市統計書

③ 市民会館(ユアアイホール)利用状況

市民会館(ユアアイホール)の利用者数は、平成18年度から減少傾向にある。

図表 II-11 市民会館(ユアアイホール)利用者数

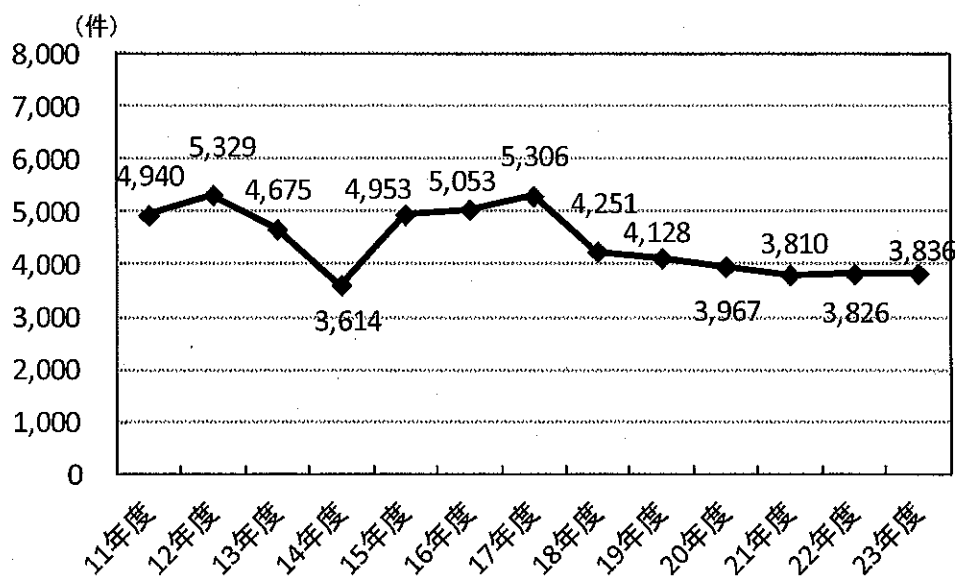


(資料) 茨木市統計書

④ 福祉文化会館(オークシアター)利用状況

福祉文化会館(オークシアター)の利用者数は、平成18年度から減少傾向にある。

図表 II-12 福祉文化会館(オークシアター)利用者数

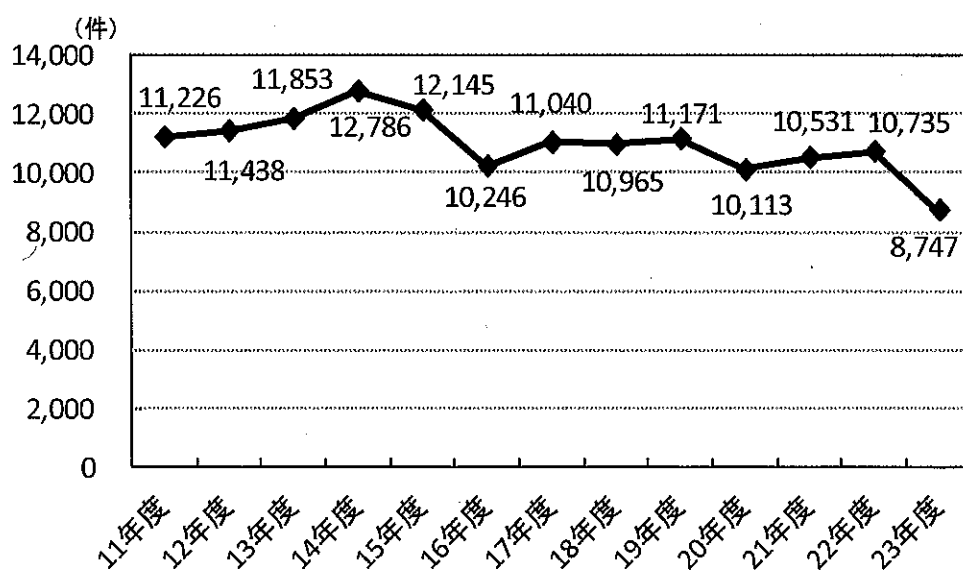


(資料)茨木市統計書

⑤ 市民総合センター(クリエイトセンター)利用状況

市民総合センター(クリエイトセンター)の利用者数は、平成14年度をピークに緩やかな減少傾向にある。

図表 II-13 市民総合センター(クリエイトセンター)利用者数

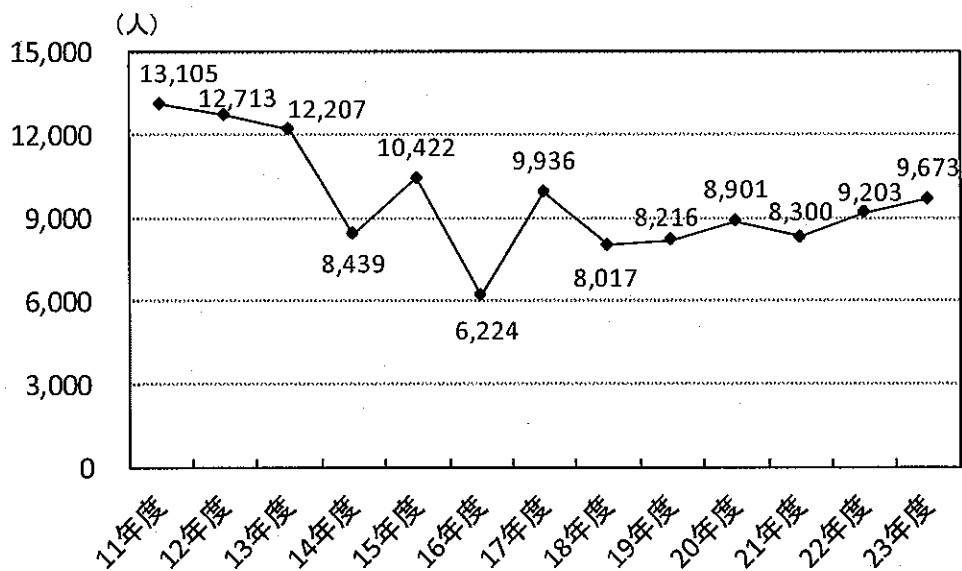


(資料)茨木市統計書

⑥ 川端康成文学館

川端康成文学館の入館者数は、平成 11～13 年度頃と比べて減少しているが、平成 22 年度からは微増傾向にある。

図表 II-14 川端康成文学館入館者数

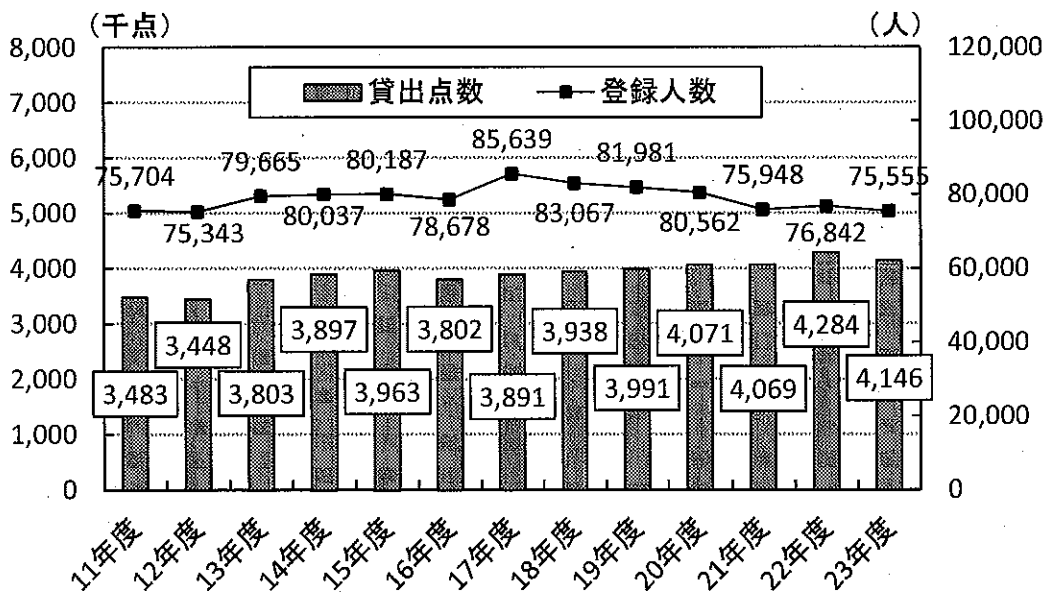


(資料) 茨木市統計書

⑦ 図書館

図書館の貸出点数は平成 17 年度をピークとして減少傾向にある。また、登録人数は緩やかな増加傾向にある。

図表 II-15 図書館資料貸出点数・図書館登録人数



(資料) 茨木市統計書

2. 市民アンケート調査

(1) 実施概要

市民の文化芸術活動の実施状況や、市の文化振興施策に対するニーズを把握し、文化振興ビジョン策定の基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。

アンケート調査の実施概要は次の通りである。

図表 II-16 市民アンケート調査の実施概要

【調査対象】	20 歳以上の茨木市民 2,000 名(住民基本台帳より無作為抽出)
【調査方法】	郵送配布・郵送回収
【調査期間】	2013 年 11 月 6 日～2013 年 12 月 3 日
【回収率】	36.9%(有効回答数 737 票)

(2) 調査項目

調査内容は、文化芸術活動(鑑賞・創作等)の実施状況、市の文化芸術環境・施策に対する満足度・重要度、市の文化資源に対する認知状況等について把握できるものとした。

具体的な調査項目は次の通りである。

図表 II-17 市民アンケート調査の調査項目

問1	文化芸術に対する意識	問16	茨木市の施設で満足している点(実践)
問2	関心のある文化芸術の分野	問17	茨木市の施設で不足している点(実践)
問3	文化芸術に関する情報の入手方法	問18	市の文化振興施策の満足度・重要度
問4	最近鑑賞した文化芸術の分野・方法	問19	希望する文化芸術情報の発信方法
問5	今後鑑賞したい文化芸術分野	問20	市の演奏会、美術展等への参加経験
問6	文化芸術を鑑賞する地域	問21	今後開催してほしいイベント
問7	文化芸術を鑑賞するにあたっての妨げ	問22	川端康成ゆかりの地であることの認知度
問8	文化芸術鑑賞で利用した施設	問23	川端康成の著書の読書経験
問9	茨木市の施設で満足している点(鑑賞)	問24	サン・チャイルドの認知度
問10	茨木市の施設で不足している点(鑑賞)	問25	自由意見
問11	最近実践した文化芸術の分野	問26	回答者の基本属性
問12	今後実践したい文化芸術の分野		
問13	文化芸術を実践する地域		
問14	文化芸術を実践するにあたっての妨げ		
問15	文化芸術の実践で利用した施設		

(3) 調査結果

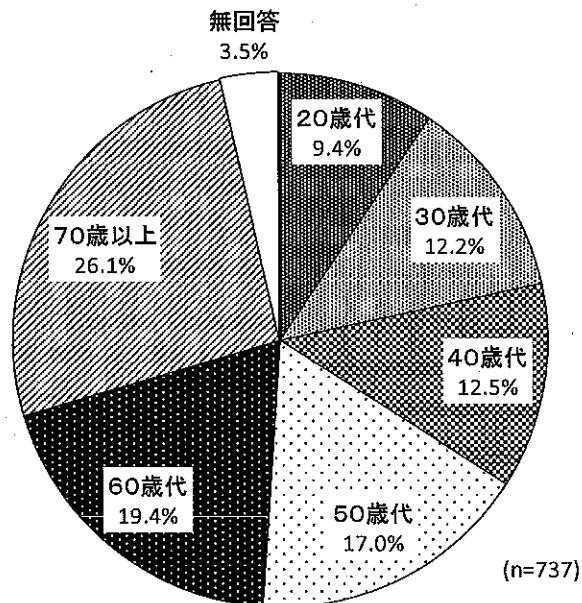
① 回答者の基本属性

市民アンケート調査回答者の基本属性は次の通りである。

1) 年齢

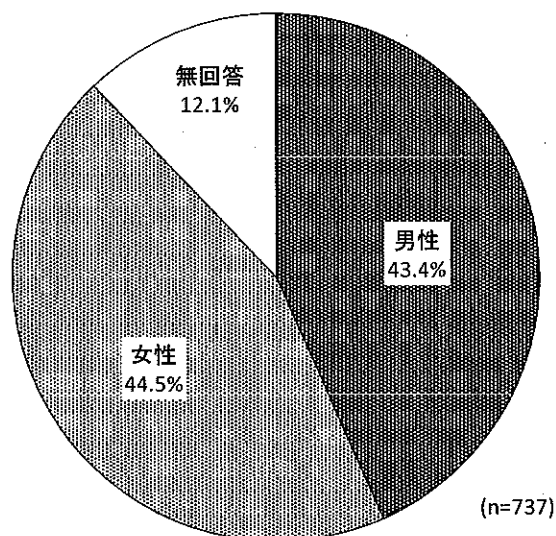
年齢としては、「70歳以上」(26.1%)をはじめ、中高年齢者の割合がやや大きくなっている。

図表 II-18 年齢



2) 性別

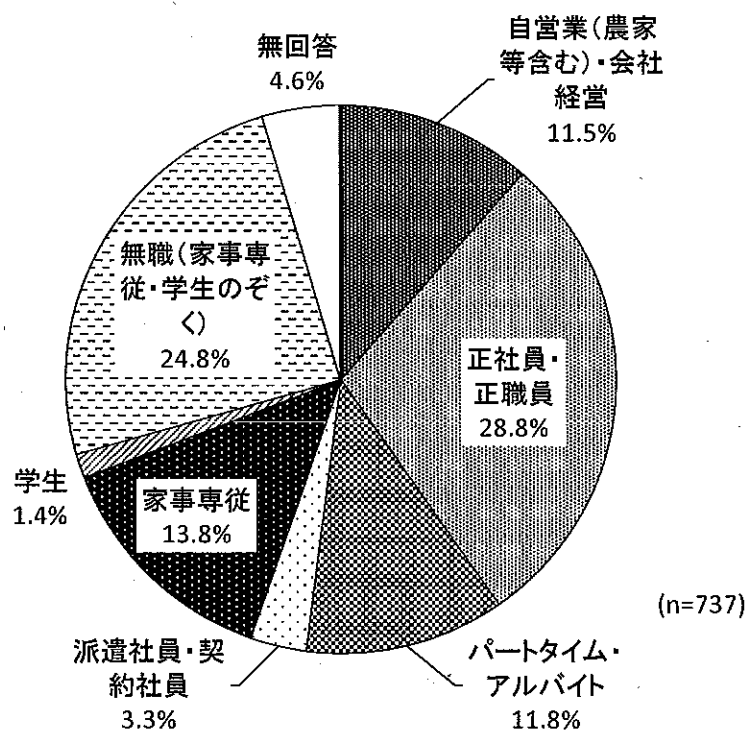
図表 II-19 性別



3) 職業

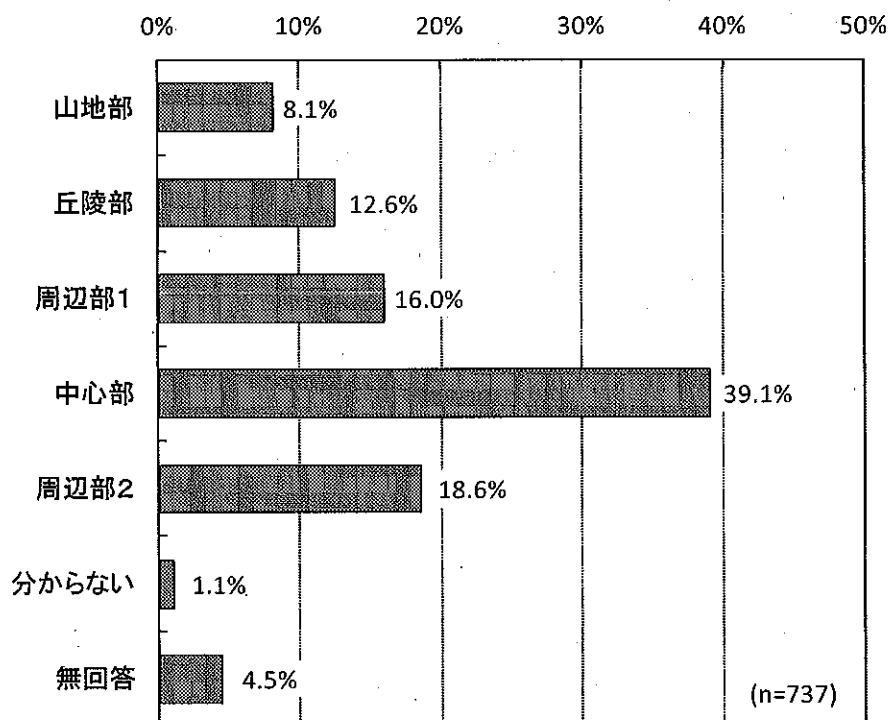
職業としては、「正社員・正職員」(28.8%)が最も多く、「無職(家事専従・学生のぞく)」(24.8%)、「家事専従」(13.8%)と続く。

図表 II-20 職業



4) お住まいの地域

図表 II-21 地域区分



図表 II-22 地域区分と小学校区の対応表

山地部	清溪小学校	中心部	茨木小学校
	忍頂寺小学校		春日小学校
丘陵部	安威小学校		春日丘小学校
	福井小学校		三島小学校
	豊川小学校		中条小学校
	山手台小学校		玉櫛小学校
	彩都西小学校		大池小学校
			中津小学校
周辺部1	郡山小学校		水尾小学校
	太田小学校		庄栄小学校
	郡小学校		畑田小学校
	沢池小学校		穂積小学校
	耳原小学校		
	西小学校	分からない	分からない
	西河原小学校		
周辺部2	玉島小学校		
	東小学校		
	天王小学校		
	葦原小学校		
	白川小学校		
	東奈良小学校		

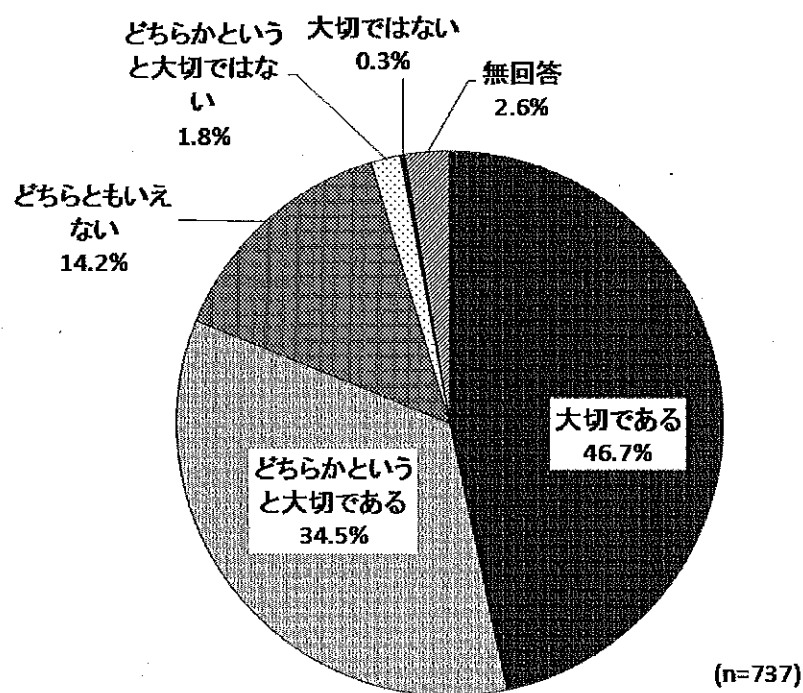
② 文化芸術全般

約8割の回答者が文化芸術の重要性について、大切であると回答している。また、関心のある文化芸術については、「特にない」と回答した方は4%にすぎず、ほとんどの市民は文化芸術を大切に思っており、何らかの文化芸術に関心を持っていることが分かった。文化芸術に関する情報の入手先については、「テレビ」が最も多い。

1) 文化芸術に対する意識

文化芸術に対する意識について、大切である（「大切である」＋「どちらかという大切である」の計）と 81.2%が回答している。一方、大切ではない（「大切ではない」＋「どちらかという大切ではない」の計）と回答しているのは 2.1%のみであった。

図表 II-23 文化芸術の重要性



年齢別にみると、大切である（「大切である」＋「どちらかという大切である」の計）の割合は60歳代が85.4%と最も高く、70歳以上が75.5%と最も低い。一方、大切ではない（「大切ではない」＋「どちらかという大切ではない」の計）の割合は、40歳代が4.4%と最も高く、70歳以上が1.0%と最も低い。

図表 II-24 文化芸術の重要性(属性別)

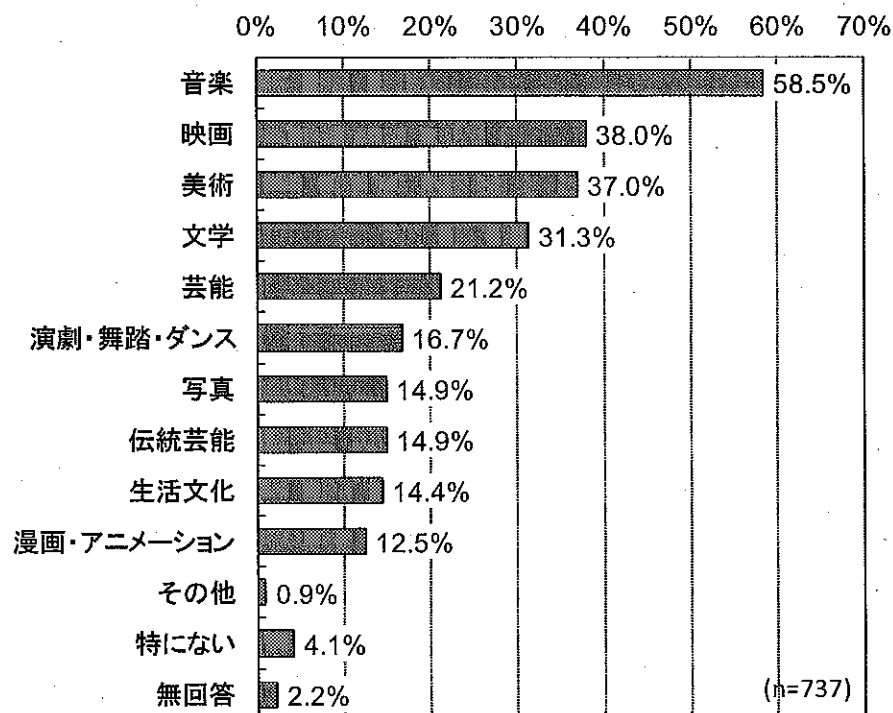
		調査数	大切である	どちらかという大切である	どちらともいえない	大切ではない	どちらかという大切ではない	大切ではない	無回答
全 体		737	46.7	34.5	14.2	1.8	0.3	2.6	
年 齢 別	20歳代	69	42.0	40.6	14.5	1.4	0.0	1.4	
	30歳代	90	42.2	41.1	14.4	2.2	0.0	0.0	
	40歳代	92	38.0	44.6	12.0	3.3	1.1	1.1	
	50歳代	125	51.2	32.8	12.0	1.6	0.8	1.6	
	60歳代	143	48.3	37.1	9.8	2.1	0.0	2.8	
	70歳以上	192	51.0	24.5	18.8	1.0	0.0	4.7	
職 業 別	自営業（農家等含む）・会社経営	85	47.1	31.8	11.8	3.5	0.0	5.9	
	正社員・正職員	212	47.6	34.4	13.7	2.4	0.9	0.9	
	パートタイム・アルバイト	87	47.1	39.1	10.3	2.3	0.0	1.1	
	派遣社員・契約社員	24	41.7	41.7	8.3	4.2	0.0	4.2	
	家事専従	102	45.1	41.2	9.8	1.0	0.0	2.9	
	学生	10	30.0	60.0	10.0	0.0	0.0	0.0	
地 域 別	無職（家事専従・学生のぞく）	183	47.5	28.4	20.8	0.5	0.0	2.7	
	山地部	60	28.3	45.0	16.7	0.0	0.0	10.0	
	丘陵部	93	49.5	32.3	14.0	1.1	0.0	3.2	
	周辺部1	118	44.9	33.9	16.9	2.5	0.8	0.8	
	中心部	288	48.6	35.4	11.8	2.4	0.0	1.7	
	周辺部2	137	51.8	31.4	13.9	1.5	0.7	0.7	

（注）全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

2) 関心のある文化芸術

関心のある文化芸術分野として、「音楽」(58.5%)が最も多く、「映画」(38.0%)、「美術」(37.0%)、「文学」(31.3%)が続く。「特にない」という回答は 4.1%しかなく、市民のほとんどは何らかの文化芸術に関心を持っていると言える。

図表 II-25 関心のある文化芸術分野(複数回答)



年齢別にみると、20歳代から50歳代は「音楽」・「映画」の割合が市全体より高くなっている。70歳代以上が市全体より高くなっているのは「芸能」、「文学」のみである。

図表 II-26 関心のある文化芸術分野(属性別)

	調査数	俳句・文学(小説・随筆・詩など)	音楽	工芸美術(絵画・彫刻など)	写真	演劇・舞踊・ダンス	映画	漫画・アニメーション	雅楽・能楽・文楽など	伝統芸能(歌舞伎・文楽など)	浪曲・漫談・落語・歌謡など	芸能(講談・落語・歌謡など)
全 体	737	31.3	58.5	37.0	14.9	16.7	38.0	12.5	14.9	21.2		
年 齢 別												
20歳代	69	24.6	66.7	30.4	29.0	24.6	58.0	31.9	7.2	5.8		
30歳代	90	33.3	66.7	36.7	22.2	28.9	41.1	26.7	12.2	11.1		
40歳代	92	25.0	72.8	28.3	8.7	16.3	44.6	25	17.4	17.4		
50歳代	125	32.8	65.6	44.8	16.8	19.2	48.0	9.6	17.6	16.0		
60歳代	143	29.4	57.3	46.9	11.2	15.4	28.7	2.1	16.8	23.8		
70歳以上	192	37.0	42.2	31.8	12.0	8.3	25.0	2.6	13.5	34.4		
職 業 別												
自営業(農家等含む)・会社経営	85	30.6	43.5	32.9	14.1	12.9	32.9	11.8	17.6	22.4		
正社員・正職員	212	30.2	68.9	36.8	19.8	21.2	42.9	18.9	14.2	14.2		
パートタイム・アルバイト	87	29.9	67.8	40.2	17.2	23.0	43.7	20.7	8.0	20.7		
派遣社員・契約社員	24	20.8	50.0	41.7	16.7	20.8	54.2	4.2	25.0	29.2		
家事専従	102	25.5	63.7	40.2	9.8	19.6	38.2	4.9	16.7	17.6		
学生	10	20.0	70.0	10.0	20.0	20.0	60.0	40	20.0	0.0		
無職(家事専従・学生のぞく)	183	39.9	48.1	36.6	10.4	9.3	27.3	4.9	13.7	30.1		
地 域 別												
山地部	60	25.0	31.7	20.0	5.0	16.7	23.3	5	15.0	40.0		
丘陵部	93	31.2	58.1	33.3	22.6	23.7	39.8	19.4	8.6	12.9		
周辺部1	118	27.1	61.0	29.7	18.6	20.3	44.9	16.9	11.0	24.6		
中心部	288	31.9	60.1	43.4	12.5	16.7	35.1	10.8	18.4	19.4		
周辺部2	137	35.8	65.7	40.1	16.1	10.2	41.6	9.5	15.3	21.2		

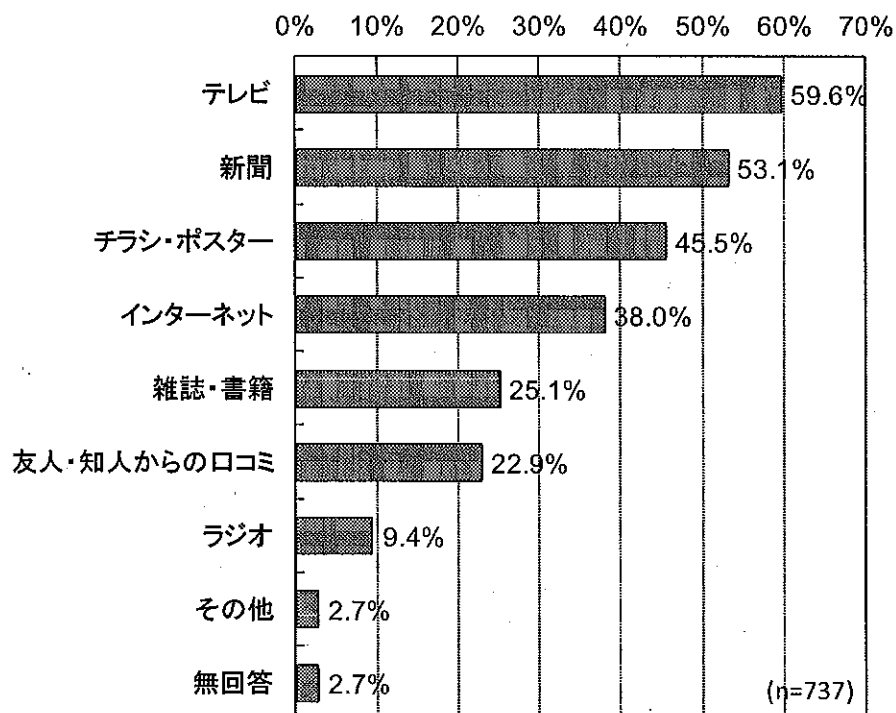
	道・生活文化(茶道・華道・書道など)	その他	特にな	無回答
全 体	14.4	0.9	4.1	2.2
年 齢 別				
20歳代	5.8	0.0	0.0	1.4
30歳代	10.0	1.1	3.3	0.0
40歳代	15.2	2.2	1.1	1.1
50歳代	9.6	0.0	3.2	1.6
60歳代	16.8	0.7	4.9	2.1
70歳以上	19.3	1.6	6.8	3.6
職 業 別				
自営業(農家等含む)・会社経営	14.1	1.2	5.9	5.9
正社員・正職員	11.3	0.9	3.8	0.9
パートタイム・アルバイト	10.3	0.0	2.3	0.0
派遣社員・契約社員	8.3	4.2	0.0	4.2
家事専従	20.6	0.0	2.9	2.0
学生	10.0	0.0	0.0	0.0
無職(家事専従・学生のぞく)	15.8	1.6	6.0	2.2
地 域 別				
山地部	25.0	0.0	6.7	6.7
丘陵部	16.1	1.1	3.2	3.2
周辺部1	11.0	2.5	2.5	0.8
中心部	14.2	0.7	4.5	1.7
周辺部2	11.7	0.7	2.9	0.7

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

3) 文化芸術に関する情報の入手方法

文化芸術に関する情報の入手方法として、「テレビ」(59.6%)が最も多く、「新聞」(53.1%)、「チラシ・ポスター」(45.5%)が続く。

図表 II-27 文化芸術に関する情報の入手方法(複数回答)



年齢別にみると、「インターネット」「チラシ・ポスター」の割合は年齢が低くなるにつれ高くなっている。一方、「新聞」の割合は 60 歳代以上では高くなっているが、年齢が低下するにつれ低くなっている。

図表 II-28 文化芸術に関する情報の入手方法(属性別)

	調査数	チラシ・ポスター	インターネット	テレビ	ラジオ	新聞	雑誌・書籍	コミ 友人・知人からの口	その他	無回答
全 体	737	45.5	38.0	59.6	9.4	53.1	25.1	22.9	2.7	2.7
年齢別										
20歳代	69	53.6	75.4	63.8	4.3	5.8	27.5	24.6	2.9	1.4
30歳代	90	48.9	64.4	56.7	5.6	26.7	32.2	26.7	5.6	0.0
40歳代	92	47.8	53.3	62.0	9.8	44.6	35.9	16.3	2.2	1.1
50歳代	125	47.2	50.4	64.0	4.0	56.8	31.2	16.8	1.6	1.6
60歳代	143	45.5	25.9	58.0	10.5	76.9	16.8	23.8	3.5	3.5
70歳以上	192	37.0	7.3	57.3	15.6	67.2	21.4	26.0	2.1	4.7
職業別										
自営業（農家等含む）・会社経営	85	36.5	37.6	55.3	10.6	50.6	29.4	22.4	0.0	4.7
正社員・正職員	212	41.0	61.8	61.3	7.1	43.4	28.3	17.9	4.7	0.9
パートタイム・アルバイト	87	49.4	43.7	64.4	6.9	49.4	24.1	31.0	1.1	2.3
派遣社員・契約社員	24	62.5	37.5	70.8	4.2	54.2	29.2	8.3	0.0	4.2
家事専従	102	55.9	24.5	56.9	7.8	53.9	21.6	33.3	1.0	3.9
学生	10	60.0	90.0	50.0	0.0	20.0	10.0	40.0	10.0	0.0
無職（家事専従・学生のぞく）	183	42.1	14.8	57.9	13.1	69.9	25.7	19.7	3.8	2.7
地域別										
山地部	60	40.0	5.0	53.3	18.3	65.0	13.3	23.3	3.3	8.3
丘陵部	93	40.9	54.8	57.0	6.5	40.9	28.0	28.0	5.4	2.2
周辺部1	118	45.8	46.6	66.1	6.8	50.0	24.6	17.8	4.2	2.5
中心部	288	50.7	38.2	59.0	9.7	52.4	26.7	21.5	2.1	2.1
周辺部2	137	40.9	32.8	59.1	9.5	62.0	29.2	24.1	1.5	1.5

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜字、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

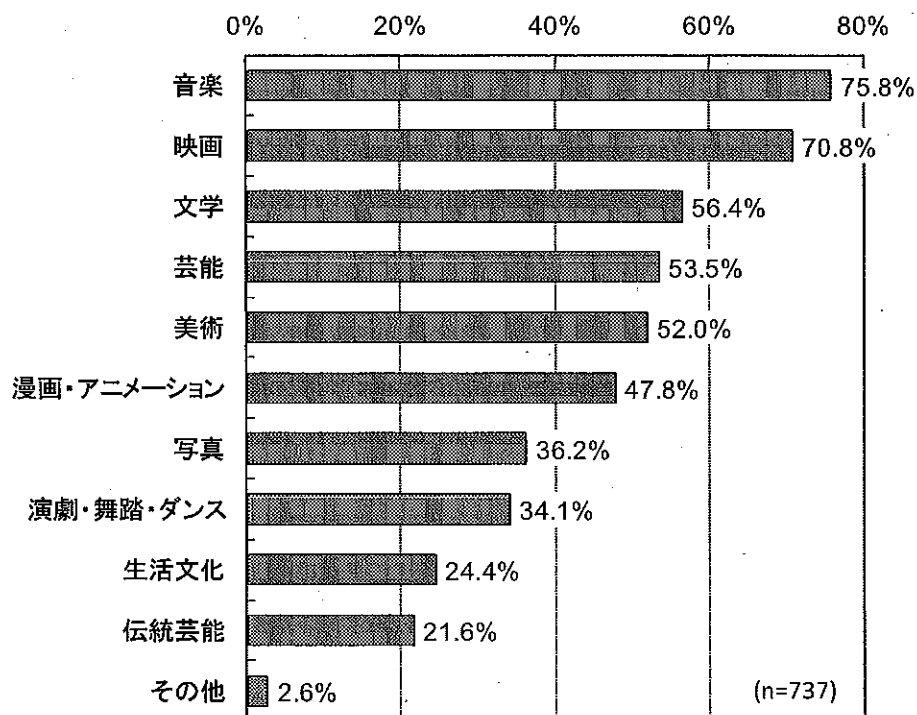
③ 文化芸術の鑑賞

文化芸術鑑賞については、「音楽」、「映画」の割合が最近鑑賞したもの、今後鑑賞したいものともに割合が高くなっている。鑑賞する地域は「大阪市」、「茨木市」で半数以上を占め、近場で文化芸術を鑑賞されている。また、テレビ・ラジオ・書籍、インターネットなど、施設に出掛けずに鑑賞できる媒体も多く活用されている。

1) 文化芸術の鑑賞分野

最近鑑賞した文化芸術の分野としては、「音楽」(75.8%)が最も多く、「映画」(70.8%)、「文学」(56.4%)が続く。

図表 II-29 文化芸術の鑑賞分野(複数回答)



年齢別にみると、「音楽」、「映画」では、「鑑賞している」の割合は50歳代以下で市全体より高くなっている。一方、「文学」を「鑑賞している」割合は50歳代が最も高く、20歳代・30歳代の割合が低い。

図表 II-30 鑑賞の有無(属性別)

【音楽】

	調査数	鑑賞している	鑑賞していない	無回答
全 体	737	75.8	13.0	11.2
年齢別				
20歳代	69	88.5	10.1	1.4
30歳代	90	88.9	7.8	3.3
40歳代	92	85.9	14.1	0.0
50歳代	125	88.8	7.2	4.0
60歳代	143	75.5	14.0	10.5
70歳以上	192	55.7	17.7	26.6
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	85	69.4	11.8	18.8
正社員・正職員	212	88.2	9.4	2.4
パートタイム・アルバイト	87	82.8	10.3	6.9
派遣社員・契約社員	24	79.1	16.7	4.2
家事専従	102	75.5	15.7	8.8
学生	10	100.0	0.0	0.0
無職(家事専従・学生のぞく)	183	84.5	16.4	19.1
地域別				
山地部	60	50.0	18.3	31.7
丘陵部	93	81.7	9.7	8.6
周辺部1	118	77.9	15.3	6.8
中心部	288	78.1	12.5	9.4
周辺部2	137	82.5	9.5	8.0

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

【映画】

	調査数	鑑賞している	鑑賞していない	無回答
全 体	737	70.8	17.5	11.7
年齢別				
20歳代	69	89.9	10.1	0.0
30歳代	90	80.0	15.6	4.4
40歳代	92	85.9	14.1	0.0
50歳代	125	81.6	12.8	5.6
60歳代	143	67.8	22.4	9.8
70歳以上	192	49.5	21.9	28.6
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	85	63.5	15.3	21.2
正社員・正職員	212	82.5	13.7	3.8
パートタイム・アルバイト	87	84.0	10.3	5.7
派遣社員・契約社員	24	70.8	25.0	4.2
家事専従	102	68.6	20.6	10.8
学生	10	90.0	10.0	0.0
無職(家事専従・学生のぞく)	183	57.4	24.0	18.6
地域別				
山地部	60	45.0	20.0	35.0
丘陵部	93	73.1	19.4	7.5
周辺部1	118	77.1	16.1	6.8
中心部	288	71.5	17.4	11.1
周辺部2	137	76.6	16.1	7.3

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

【文学】

	調査数	鑑賞している	鑑賞していない	無回答
全 体	737	56.4	31.2	12.4
年齢別				
20歳代	69	56.6	42.0	1.4
30歳代	90	55.6	43.3	1.1
40歳代	92	64.1	35.9	0.0
50歳代	125	68.0	24.8	7.2
60歳代	143	57.3	30.8	11.9
70歳以上	192	46.3	24.5	29.2
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	85	51.7	31.8	16.5
正社員・正職員	212	63.2	33.5	3.3
パートタイム・アルバイト	87	59.8	34.5	5.7
派遣社員・契約社員	24	45.8	37.5	16.7
家事専従	102	54.9	32.4	12.7
学生	10	70.0	30.0	0.0
無職(家事専従・学生のぞく)	183	53.6	26.2	20.2
地域別				
山地部	60	35.6	31.7	31.7
丘陵部	93	55.9	38.7	5.4
周辺部1	118	52.5	37.3	10.2
中心部	288	60.1	27.4	12.5
周辺部2	137	63.5	28.5	8.0

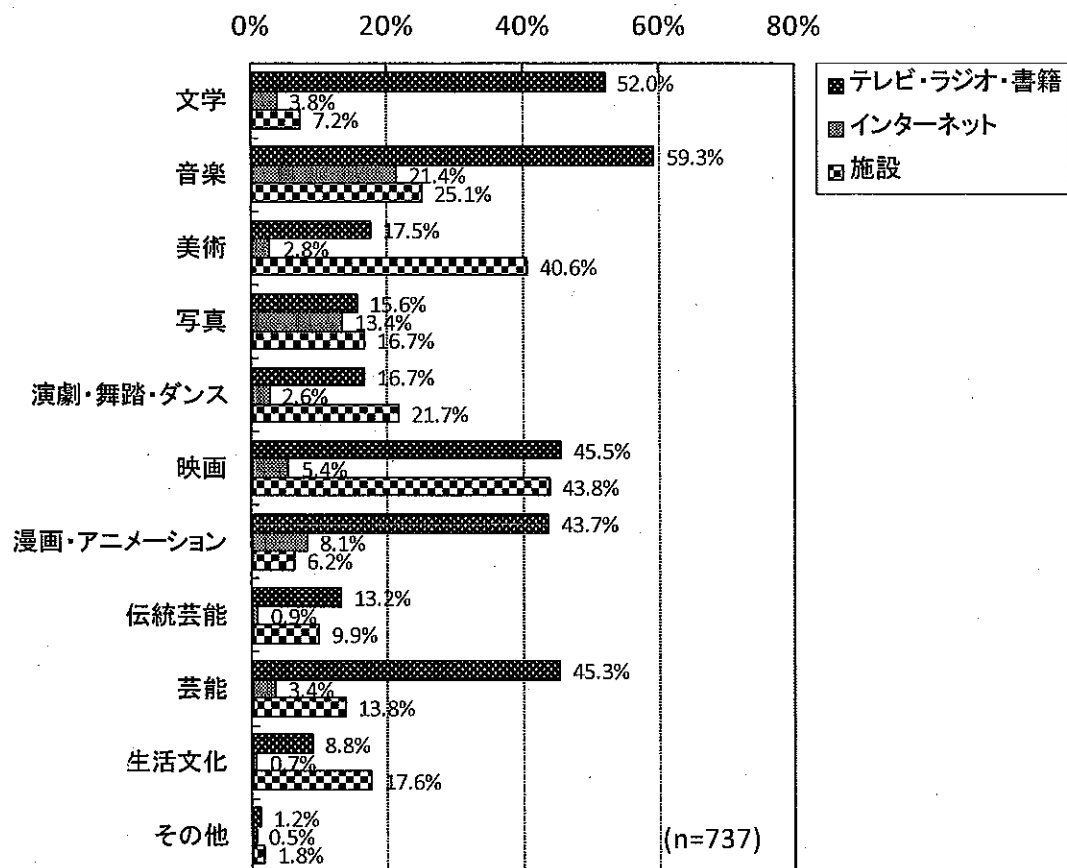
(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

2) 文化芸術の鑑賞方法

文化芸術の鑑賞方法としては、多くの分野について「テレビ・ラジオ・書籍」が最も多く、一般的であることがわかった。一方、「美術」、「演劇・舞踏・ダンス」は「テレビ・ラジオ・書籍」よりも「施設」での鑑賞が多くなっている。

また、「音楽」、「写真」、「漫画・アニメーション」は、比較的「インターネット」による鑑賞が多くなっている。

図表 II-31 文化芸術の鑑賞方法(複数回答)



「施設」での鑑賞についてみると、「美術」では 60 歳代の割合が高く、「演劇・舞踏・ダンス」では 20 歳代・30 歳代の割合が高い。また、「音楽」では 20 歳代から 40 歳代の「インターネット」の割合が高い。

図表 II-32 鑑賞方法(属性別)

【美術】

	調査数	テレビ・ラジオ・書	インターネット	施設
全体	737	17.5	2.8	40.6
年齢別				
20歳代	69	5.8	5.8	37.7
30歳代	90	11.1	4.4	43.3
40歳代	92	13.0	3.3	33.7
50歳代	125	20.8	5.6	48.8
60歳代	143	21.0	2.1	64.5
70歳以上	192	22.4	0.0	28.1
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	85	20.0	5.9	35.3
正社員・正職員	212	13.7	6.1	43.9
パートタイム・アルバイト	87	17.2	0.0	42.5
派遣社員・契約社員	24	20.8	4.2	41.7
家事専従	102	13.7	1.0	50.0
学生	10	10.0	0.0	40.0
無職(家事専従・学生のぞく)	183	23.0	0.5	35.0
地域別				
山地部	60	10.0	0.0	21.7
丘陵部	93	17.2	4.3	48.4
周辺部1	118	18.6	5.9	36.4
中心部	288	18.4	2.8	44.8
周辺部2	137	19.0	0.0	40.9

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

【演劇・舞踏・ダンス】

	調査数	テレビ・ラジオ・書	インターネット	施設
全体	737	16.7	2.6	21.7
年齢別				
20歳代	69	8.7	4.3	33.3
30歳代	90	17.8	5.6	32.2
40歳代	92	20.7	6.5	26.1
50歳代	125	17.6	3.2	26.4
60歳代	143	19.6	0.7	20.3
70歳以上	192	14.1	0.0	10.9
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	85	17.6	2.4	16.6
正社員・正職員	212	12.7	4.2	28.8
パートタイム・アルバイト	87	18.4	4.6	29.9
派遣社員・契約社員	24	16.7	4.2	25.0
家事専従	102	16.7	2.0	25.5
学生	10	30.0	10.0	20.0
無職(家事専従・学生のぞく)	183	19.1	0.0	13.1
地域別				
山地部	60	11.7	0.0	8.3
丘陵部	93	15.1	3.2	30.1
周辺部1	118	21.2	5.1	19.5
中心部	288	16.3	2.1	25.0
周辺部2	137	18.2	2.9	21.2

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

【音楽】

	調査数	テレビ・ラジオ・書	インターネット	施設
全体	737	59.3	21.4	25.1
年齢別				
20歳代	69	63.8	66.7	23.2
30歳代	90	71.1	45.6	28.9
40歳代	92	65.2	34.8	28.3
50歳代	125	67.2	23.2	31.2
60歳代	143	58.7	3.5	28.0
70歳以上	192	47.4	0.6	17.7
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	85	54.1	16.6	22.4
正社員・正職員	212	67.5	38.2	28.3
パートタイム・アルバイト	87	63.2	24.1	27.6
派遣社員・契約社員	24	54.2	25.0	33.3
家事専従	102	58.8	15.7	28.5
学生	10	60.0	70.0	50.0
無職(家事専従・学生のぞく)	183	55.2	3.8	20.2
地域別				
山地部	60	40.0	0.0	11.7
丘陵部	93	63.4	37.6	25.8
周辺部1	118	66.1	28.8	19.5
中心部	288	58.7	19.1	30.9
周辺部2	137	67.2	18.2	25.5

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

【写真】

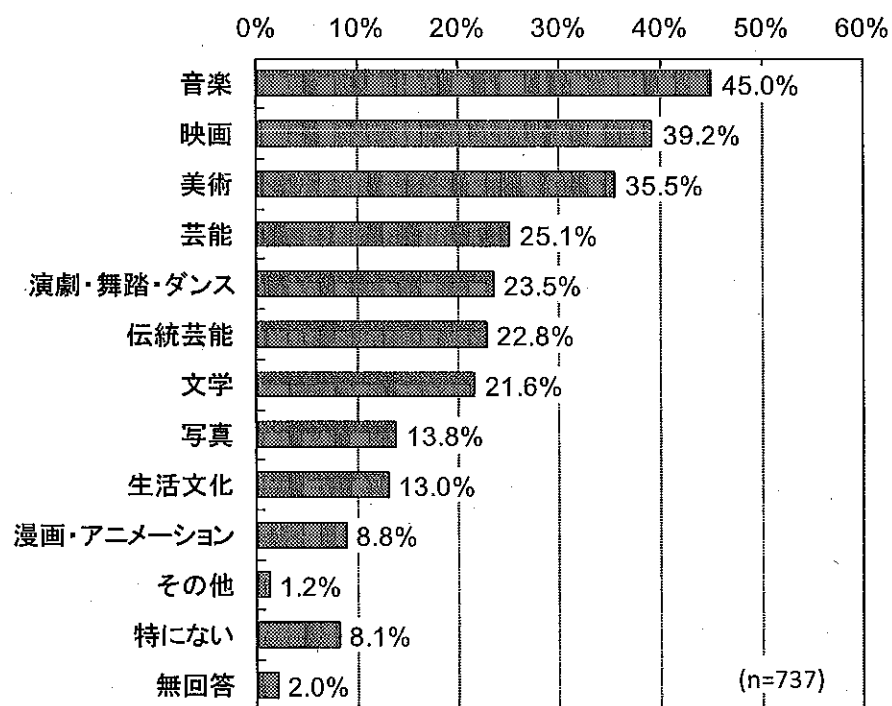
	調査数	テレビ・ラジオ・書	インターネット	施設
全体	737	15.6	13.4	16.7
年齢別				
20歳代	69	11.6	33.3	17.4
30歳代	90	16.7	21.1	13.3
40歳代	92	10.9	16.3	15.2
50歳代	125	16.0	20.0	13.6
60歳代	143	17.5	10.5	21.7
70歳以上	192	15.6	0.6	15.6
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	85	18.8	17.6	22.4
正社員・正職員	212	14.6	24.1	16.6
パートタイム・アルバイト	87	16.1	10.3	13.8
派遣社員・契約社員	24	12.5	16.7	20.8
家事専従	102	7.8	7.8	14.7
学生	10	10.0	20.0	10.0
無職(家事専従・学生のぞく)	183	18.6	4.9	16.4
地域別				
山地部	60	10.0	1.7	16.7
丘陵部	93	10.8	16.1	23.7
周辺部1	118	14.4	26.3	16.9
中心部	288	16.7	10.8	13.9
周辺部2	137	19.0	11.7	17.6

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

3) 今後鑑賞したい文化芸術分野

今後鑑賞したい文化芸術分野として、「音楽」(45.0%)が最も多く、「映画」(39.2%)、「美術」(35.5%)が続く。

図表 II-33 今後鑑賞したい文化芸術分野(複数回答)



年齢別にみると、40 歳代以下では「漫画・アニメーション」の割合が市全体より高い。「演劇・舞踏・ダンス」の割合では、30 歳代が高くなっているのに対し、70 歳以上では低くなっている。

図表 II-34 今後鑑賞したい文化芸術分野(属性別)

	調査数	俳句・文学(小説・随筆・詩など)	音楽	工芸美術(絵画・彫刻など)	写真	演劇・舞踏・ダンス	映画	漫画・アニメーション	雅楽・能楽・文楽など	伝統芸能(歌舞伎・文楽など)	芸能(講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌など)
全 体	737	21.6	45.0	35.5	13.8	23.5	39.2	8.8	22.8	25.1	18.8
年齢別											
20歳代	69	20.3	39.1	24.6	18.8	31.9	36.2	24.6	30.4	21.1	21.7
30歳代	90	15.6	45.6	32.2	20.0	35.6	46.7	20.0	23.3	25.6	23.1
40歳代	92	21.7	53.3	28.3	10.9	28.3	40.2	16.3	29.3	23.8	21.6
50歳代	125	21.6	50.4	42.4	12.0	31.2	50.4	4.8	28.8	23.1	23.8
60歳代	143	17.5	46.2	44.1	10.5	18.2	33.6	2.8	21.7	23.1	23.8
70歳以上	192	29.2	38.0	33.9	15.1	13.0	31.3	1.6	14.1	23.1	23.8
職業別											
自営業(農家等含む)・会社経営	85	22.4	35.3	37.6	11.8	15.3	34.1	9.4	22.4	24.7	24.5
正社員・正職員	212	21.2	47.2	33.0	16.0	30.7	43.4	12.7	25.0	24.1	21.6
パートタイム・アルバイト	87	17.2	46.0	31.0	14.9	39.1	44.8	12.6	19.5	24.1	21.6
派遣社員・契約社員	24	12.5	58.3	41.7	8.3	37.5	37.5	4.2	37.5	29.2	21.6
家事専従	102	13.7	52.0	37.3	10.8	19.6	38.2	6.9	29.4	21.6	21.6
学生	10	20.0	30.0	30.0	10.0	20.0	50.0	20.0	30.0	10.0	21.6
無職(家事専従・学生のぞく)	183	31.1	39.9	37.7	14.2	13.7	32.8	3.8	17.5	26.8	21.6
地域別											
山地部	60	15.0	25.0	20.0	11.7	15.0	28.3	1.7	18.3	41.7	23.7
丘陵部	93	17.2	50.5	26.9	23.7	31.2	32.3	19.4	21.5	23.7	21.2
周辺部1	118	22.0	46.6	36.4	16.1	22.0	37.3	11.0	22.9	21.2	21.2
中心部	288	22.2	46.2	39.6	10.1	25.3	40.3	7.6	26.0	24.7	21.2
周辺部2	137	25.5	45.3	38.7	15.3	22.6	47.4	5.1	20.4	24.1	21.2

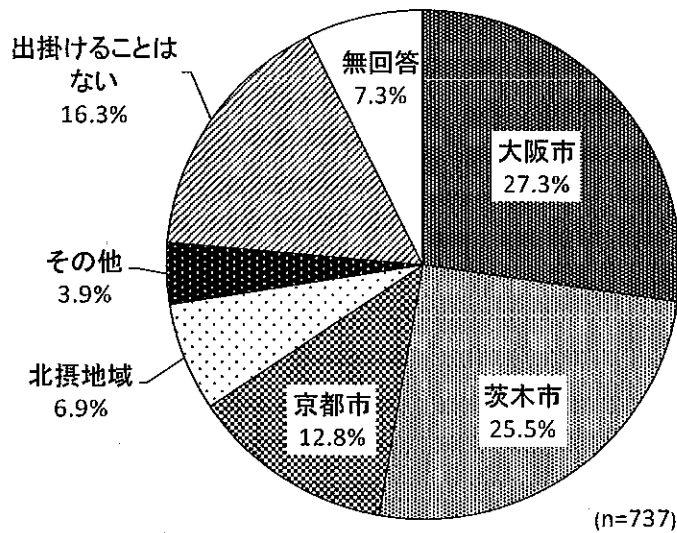
	道・生活文化(茶道・華道・書道など)	その他	特にな	無回答
全 体	13.0	1.2	8.1	2.0
年齢別				
20歳代	13.0	0.0	2.9	1.4
30歳代	15.6	1.1	5.6	0.0
40歳代	7.6	2.2	4.3	1.1
50歳代	12.8	0.0	4.8	0.8
60歳代	14.7	0.7	10.5	3.5
70歳以上	13.0	2.6	13.5	2.6
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	10.6	2.4	11.8	3.5
正社員・正職員	11.3	1.4	6.6	0.0
パートタイム・アルバイト	10.3	0.0	5.7	3.4
派遣社員・契約社員	20.8	0.0	4.2	4.2
家事専従	19.6	0.0	6.9	2.0
学生	20.0	0.0	0.0	0.0
無職(家事専従・学生のぞく)	12.0	2.2	11.5	2.2
地域別				
山地部	21.7	0.0	13.3	8.3
丘陵部	18.3	1.1	4.3	2.2
周辺部1	10.2	1.7	9.3	0.8
中心部	12.5	1.7	8.0	1.0
周辺部2	8.8	0.7	8.0	1.5

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

4) 文化芸術を鑑賞する地域

文化芸術を鑑賞する地域として、「大阪市」(27.3%)が最も多く、「茨木市」(25.5%)、「京都市」(12.8%)が続く。

図表 II-35 文化芸術を鑑賞する地域



(注)北摂地域とは、高槻市、吹田市、摂津市、箕面市、池田市、豊中市を指す。

職業別にみると、派遣社員・契約社員では「大阪市」、「京都市」の割合が高くなっているのに対し、「茨木市」の割合は低くなっている。

また地域別にみると、山地部では「出かけることはない」の割合が高くなっている。

図表 II-36 文化芸術を鑑賞する地域(属性別)

		調査数	茨木市	大阪市	北摂地域	京都市	その他	出かけることはない	無回答
	全 体	737	25.5	27.3	6.9	12.8	3.9	16.3	7.3
年 齢 別	20歳代	69	34.8	26.1	8.7	8.7	4.3	13.0	4.3
	30歳代	90	32.2	26.7	6.7	8.9	6.7	13.3	5.6
	40歳代	92	22.8	29.3	6.5	13.0	5.4	12.0	10.9
	50歳代	125	24.8	30.4	6.4	16.0	5.6	9.6	7.2
	60歳代	143	18.2	37.1	7.0	12.6	3.5	15.4	6.3
	70歳以上	192	25.0	19.3	7.8	13.5	0.5	25.5	8.3
職 業 別	自営業（農家等含む）・会社経営	85	20.0	28.2	8.2	8.2	7.1	20.0	8.2
	正社員・正職員	212	24.5	32.1	6.6	12.7	4.2	14.6	5.2
	パートタイム・アルバイト	87	31.0	23.0	9.2	8.0	8.0	12.6	8.0
	派遣社員・契約社員	24	12.5	41.7	4.2	25.0	0.0	8.3	8.3
	家事専従	102	33.3	25.5	6.9	15.7	1.0	10.8	6.9
	学生	10	20.0	30.0	10.0	10.0	10.0	20.0	0.0
	無職（家事専従・学生のぞく）	183	23.5	24.0	6.6	14.2	1.6	21.9	8.2
地 域 別	山地部	60	26.7	20.0	8.3	6.7	0.0	26.7	11.7
	丘陵部	93	26.9	28.0	12.9	9.7	6.5	10.8	5.4
	周辺部1	118	27.1	30.5	9.3	11.0	3.4	13.6	5.1
	中心部	288	25.3	30.2	3.5	14.2	4.2	17.4	5.2
	周辺部2	137	22.6	24.8	8.0	13.9	3.6	13.9	13.1

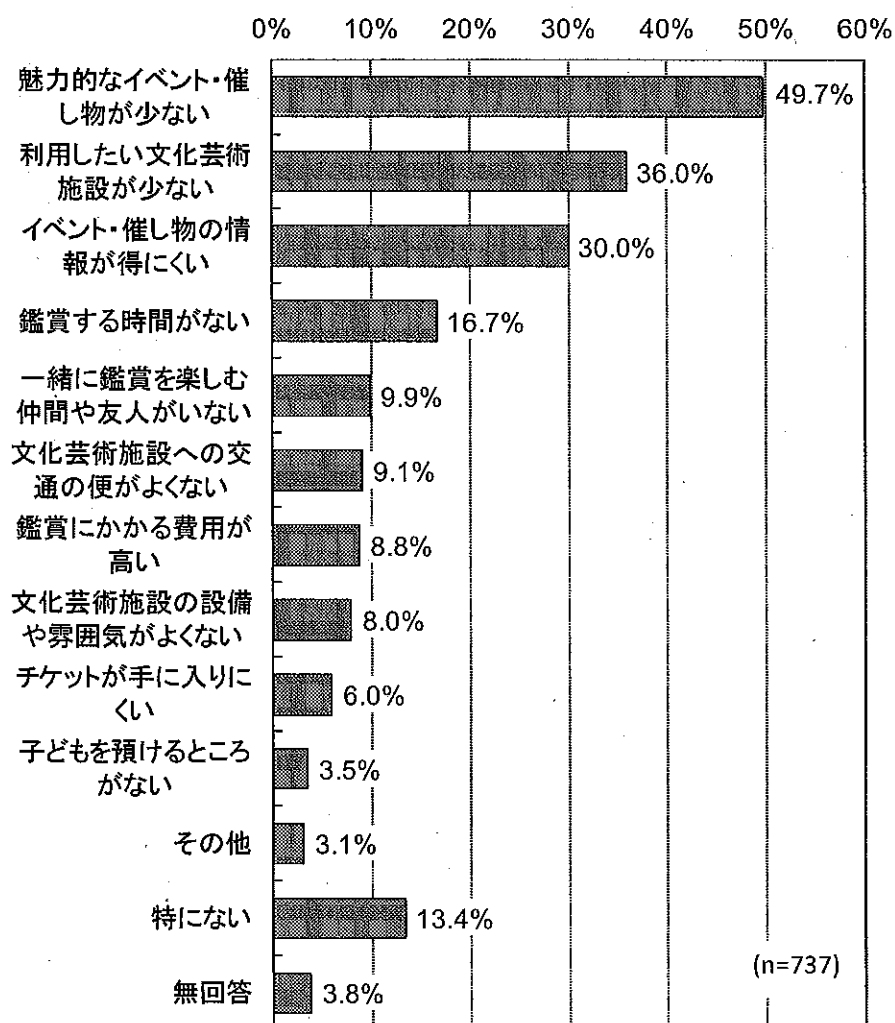
(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜字、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

(注) 北摂地域とは、高槻市、吹田市、摂津市、箕面市、池田市、豊中市を指す。

5) 文化芸術鑑賞にあたっての課題

文化芸術を鑑賞するにあたっての課題として、「魅力的なイベント・催し物が少ない」(49.7%)が最も多く、「利用したい文化芸術施設が少ない」(36.0%)、「イベント・催し物の情報が得にくい」(30.0%)が続く。

図表 II-37 文化芸術鑑賞にあたっての課題(複数回答)



年齢別にみると、20歳代・30歳代では「子どもを預けるところがない」の割合が高い。「魅力的なイベント・催し物が少ない」の割合は、50歳代が最も高く70歳以上が最も低い。

職業別では、学生が「利用したい文化芸術施設が少ない」、「鑑賞する時間がない」、「一緒に鑑賞を楽しむ仲間や友人がいない」の割合が高くなっている。

図表 II-38 文化芸術鑑賞にあたっての課題(属性別)

		調査数	施設が利用したい文化芸術施設が少ない	や霧囲気がよくない文化芸術施設の設備	通の文化芸術施設への交通の便がよくない	催し物の魅力的なイベント・催し物の少ない	情報イベント・催し物の情報が得にくい	高い鑑賞にかかる費用が	にくいチケットが手に入り	子どもを預けるところがない	鑑賞する時間がない
	全 体	737	36.0	8.0	9.1	49.7	30.0	8.8	6.0	3.5	16.7
年齢別	20歳代	69	29.0	5.8	15.9	42.0	44.9	5.8	1.4	15.9	18.8
	30歳代	90	35.6	10.0	8.9	55.6	27.8	18.9	4.4	14.4	30.0
	40歳代	92	37.0	9.8	5.4	57.6	32.6	8.7	4.3	1.1	22.8
	50歳代	125	44.8	9.6	4.0	63.2	36.0	10.4	6.4	0.0	16.0
	60歳代	143	35.7	8.4	4.9	51.0	25.9	7.0	5.6	0.0	13.3
	70歳以上	192	32.3	5.7	15.1	35.9	24.0	6.8	8.3	0.5	9.4
職業別	自営業(農家等含む)・会社経営	85	42.4	7.1	7.1	50.6	29.4	3.5	8.2	1.2	11.8
	正社員・正職員	212	37.7	7.1	6.6	54.7	37.3	12.3	4.7	3.3	23.1
	パートタイム・アルバイト	87	31.0	9.2	10.3	50.6	29.9	16.1	3.4	6.9	21.8
	派遣社員・契約社員	24	41.7	12.5	4.2	58.3	33.3	4.2	4.2	0.0	12.5
	家事専従	102	37.3	8.8	11.8	50.0	26.5	4.9	8.8	9.8	14.7
	学生	10	50.0	10.0	10.0	40.0	30.0	0.0	0.0	0.0	30.0
地域別	無職(家事専従・学生のぞく)	183	32.2	7.7	10.9	42.6	24.6	6.0	4.9	0.0	9.8
	山地部	60	43.3	1.7	21.7	36.7	13.3	1.7	13.3	0.0	16.7
	丘陵部	93	25.8	7.5	14.0	48.4	33.3	8.6	4.3	8.6	17.2
	周辺部1	118	39.0	4.2	7.6	52.5	36.4	14.4	5.9	5.9	16.1
	中心部	288	37.2	10.1	6.3	48.3	27.4	9.7	4.9	3.1	18.1
	周辺部2	137	36.5	9.5	6.6	56.9	35.0	7.3	5.1	0.7	13.9

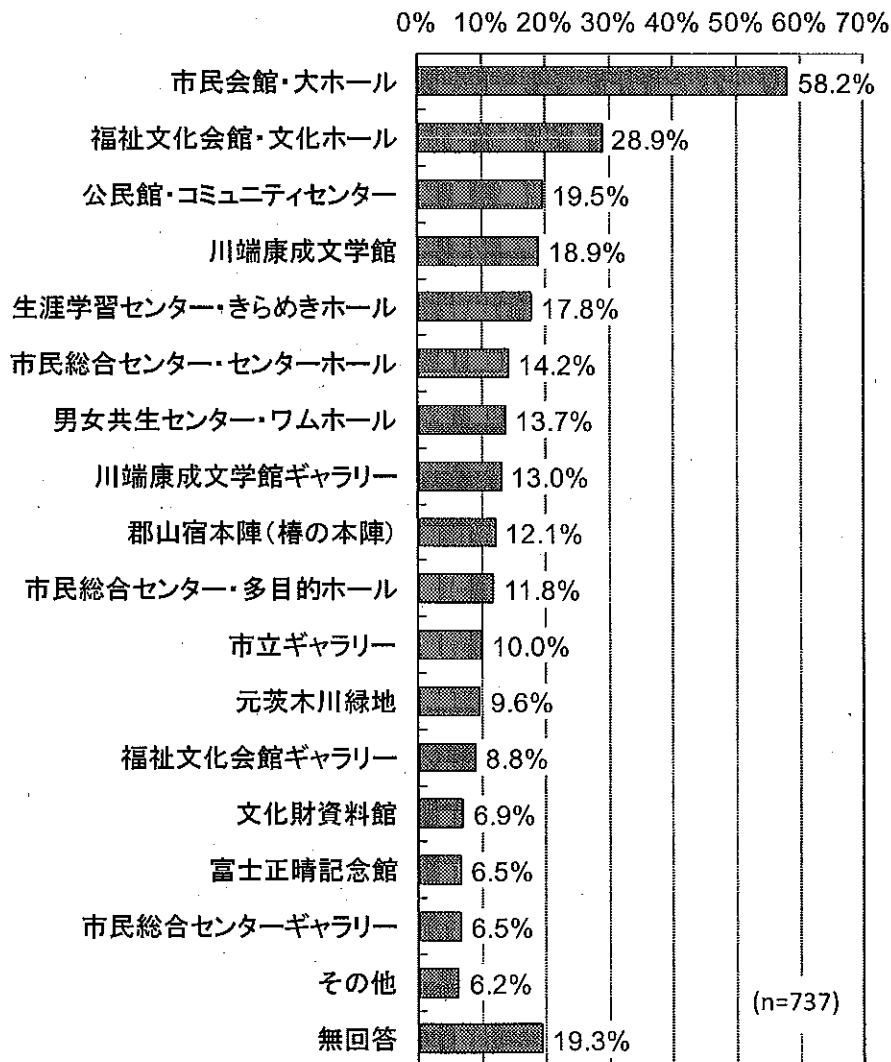
		仲間と一緒に鑑賞を楽しむ	その他	特にな	無回答
	全 体	9.9	3.1	13.4	3.8
年齢別	20歳代	11.6	2.9	7.2	1.4
	30歳代	6.7	2.2	8.9	0.0
	40歳代	9.8	4.3	8.7	3.3
	50歳代	6.4	4.0	5.6	2.4
	60歳代	9.1	3.5	18.9	4.9
	70歳以上	14.6	2.1	20.3	6.3
職業別	自営業(農家等含む)・会社経営	15.3	1.2	14.1	5.9
	正社員・正職員	7.1	3.8	9.4	0.5
	パートタイム・アルバイト	8.0	2.3	11.5	5.7
	派遣社員・契約社員	8.3	16.7	8.3	4.2
	家事専従	9.8	2.9	10.8	5.9
	学生	20.0	0.0	10.0	0.0
地域別	無職(家事専従・学生のぞく)	11.5	2.2	20.8	3.8
	山地部	23.3	0.0	16.7	6.7
	丘陵部	9.7	2.2	9.7	2.2
	周辺部1	5.1	1.7	12.7	2.5
	中心部	11.8	4.2	14.2	2.8
	周辺部2	5.1	3.6	11.7	5.8

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

6) 文化芸術鑑賞で利用した施設

文化芸術鑑賞で利用した施設として、「市民会館・大ホール」(58.2%)が最も多く、「福祉文化会館・文化ホール」(28.9%)、「公民館・コミュニティセンター」(19.5%)が続く。

図表 II-39 文化芸術鑑賞で利用した施設(複数回答)



年齢別にみると、20歳代では全ての施設利用の割合が市全体より低くなっている。

また地域別にみると、山地部では「男女共生センター・ウムホール」、丘陵部では「市民会館・大ホール」、「福祉文化会館・文化ホール」の割合が低くなっている。

図表 II-40 文化芸術鑑賞で利用した施設(属性別)

		調査数	市民会館・大ホール	福祉文化会館・文化ホール	市民総合センター・センターホール	市民総合センター・多目的ホール	生涯学習センター・きらめきホール	男女共生センター・ウムホール	川端康成文学館	富士正晴記念館	市立ギャラリー
全 体		737	58.2	28.9	14.2	11.8	17.8	13.7	18.9	6.5	10.0
年 齢 別	20歳代	69	23.2	4.3	5.8	4.3	5.8	5.8	5.8	2.9	1.4
	30歳代	90	41.1	26.7	13.3	7.8	16.7	14.4	17.8	4.4	5.6
	40歳代	92	65.2	26.1	10.9	7.6	16.3	14.1	9.8	2.2	8.7
	50歳代	125	68.0	33.6	17.6	18.4	20.0	16.0	21.6	6.4	13.6
	60歳代	143	60.8	31.5	14.7	11.2	25.2	19.6	25.9	10.5	15.4
	70歳以上	192	67.7	37.0	16.7	15.1	16.7	9.9	22.4	6.8	9.4
職 業 別	自営業（農家等含む）・会社経営	85	57.6	30.6	16.5	9.4	12.9	8.2	18.8	3.5	12.9
	正社員・正職員	212	48.1	23.6	12.7	12.3	14.6	12.7	11.8	5.2	6.1
	パートタイム・アルバイト	87	59.8	32.2	13.8	9.2	23.0	21.8	18.4	4.6	10.3
	派遣社員・契約社員	24	62.5	37.5	20.8	20.8	25.0	20.8	29.2	8.3	8.3
	家事専従	102	66.7	32.4	14.7	13.7	24.5	15.7	17.6	2.9	17.6
	学生	10	30.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	20.0	10.0	10.0
地 域 別	無職（家事専従・学生のぞく）	183	65.0	32.8	13.7	11.5	18.0	12.0	28.4	10.9	8.7
	山地部	60	65.0	26.7	10.0	10.0	11.7	1.7	13.3	1.7	3.3
	丘陵部	93	36.6	17.2	11.8	8.6	15.1	8.6	15.1	6.5	10.8
	周辺部1	118	58.5	31.4	15.3	12.7	14.4	11.9	19.5	9.3	11.0
	中心部	288	63.5	32.6	15.6	14.2	24.0	19.4	22.6	7.3	11.5
	周辺部2	137	62.0	30.7	13.9	9.5	13.1	12.4	18.2	3.6	8.8

		福 祉 文 化 会 館 ギ ャ ラ リ	市 民 総 合 セ ン タ ー ギ ャ ラ リ	川 端 康 成 文 学 館 ギ ャ ラ リ	公 民 館 ・ コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー	郡 山 宿 本 陣 （ 橋 の 本 陣 ）	文 化 財 資 料 館	元 茨 木 川 緑 地	そ の 他	無 回 答
全 体		8.8	6.5	13.0	19.5	12.1	6.9	9.6	6.2	19.3
年 齢 別	20歳代	0.0	0.0	2.9	5.8	2.9	1.4	0.0	10.1	56.5
	30歳代	2.2	4.4	12.2	18.9	5.6	6.7	3.3	6.7	26.7
	40歳代	4.3	4.3	5.4	25.0	7.6	4.3	7.6	5.4	20.7
	50歳代	14.4	8.8	18.4	24.0	7.2	5.6	14.4	5.6	11.2
	60歳代	9.8	11.2	15.4	21.0	18.2	6.3	10.5	6.3	10.5
	70歳以上	13.0	4.7	15.6	18.8	17.7	12.5	12.5	5.2	13.0
職 業 別	自営業（農家等含む）・会社経営	8.2	7.1	12.9	20.0	10.6	10.6	5.9	3.5	17.6
	正社員・正職員	5.2	4.7	9.4	13.7	6.6	4.2	8.5	6.1	25.9
	パートタイム・アルバイト	9.2	8.0	9.2	28.7	11.5	5.7	6.9	6.9	19.5
	派遣社員・契約社員	12.5	8.3	25.0	25.0	4.2	4.2	16.7	12.5	12.5
	家事専従	12.7	8.8	14.7	30.4	15.7	6.9	10.8	4.9	16.7
	学生	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	10.0	50.0
	無職（家事専従・学生のぞく）	10.9	6.0	16.9	16.4	17.5	10.4	12.0	6.6	12.6
地 域 別	山地部	13.3	1.7	6.7	13.3	13.3	6.7	3.3	8.3	13.3
	丘陵部	8.6	5.4	8.6	12.9	17.2	0.0	3.2	6.5	34.4
	周辺部1	5.9	6.8	10.2	17.8	16.1	3.4	6.8	7.6	20.3
	中心部	9.4	7.6	17.7	21.9	10.4	8.0	11.5	5.9	14.9
	周辺部2	7.3	5.8	12.4	24.8	6.6	13.9	13.9	3.6	16.1

（注）全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

7) 文化芸術を鑑賞する上で、市の文化芸術施設に満足している点(自由回答)

【立地、交通の便】

- ・施設が近くに集中していてよいと思う。駐車場も多くよい。
- ・市役所周辺に施設が多く便利である。

【施設、事業内容】

(市民会館)

- ・駐車場の充実(市民会館)。子ども用の鑑賞部屋(ワムホール)。
- ・子どもでも鑑賞できる人形劇など市民会館・大ホールで行われ、どの席でもよく見ることができてよかった。

(川端康成文学館)

- ・川端康成文学館・富士正晴記念館の運営、共に頑張っていると思う。中央図書館は館員の対応も蔵書も充実して、茨木の誇れるものだと思う。
- ・川端康成文学館は、日本や世界に誇れる施設だと思う。茨木市に住んでいて自慢できる。
- ・川端康成文学館は満足できる施設と思うが、他の市町村の方にはあまり知られていないのでは。また、川端康成館と富士正晴記念館は統合してはどうか。
- ・川端康成文学館ギャラリーは落ち着いて鑑賞でき満足である。

(図書館)

- ・図書館が充実している。
- ・文化芸術(小説)鑑賞として、市内各所にある図書館は大変満足している。
- ・中央図書館や生涯学習センター、男女共生センターは大変よい。市民会館は催物が多くてよいですが、新築してよい設備にすべき。

(ワムホール)

- ・ワムホールは小さなコンサートなどにちょうどよい。市民会館等、立派なグランドピアノがおいであるのがよい。
- ・ワムホールでの無料映画上映会は、いい映画を上映してくれるので、よく利用している。

(その他施設)

- ・福祉文化会館のギャラリーが見やすい。
- ・元茨木緑地は他市に自慢の出来る茨木市の文化だと思う。
- ・ロサビア内での市立ギャラリーは観やすくてよい。
- ・郡山本陣を保存して期間限定ではあるものの公開しているのは素晴らしい。歴史を大切にする姿勢が好き。
- ・キリスト教の歴史など、知るための施設などは、とても充実している。不便なのが難点。
- ・クリエイトセンター1Fのホールにスタインウェイ(記憶が合っているか自信はありませんが)のロングピアノがあるのはよい。

【その他】

- ・兵庫芸術センターのような施設があれば、市内外から利用があり、文化芸術のレベルが上がると思う。
- ・イオンシネマは映画を鑑賞できるので、よく利用する。
- ・書道家金沢さん親子の講演がよかった。著名な方をもっと身近で話せるようにしてほしい。
- ・満足している所はない。

8) 文化芸術を鑑賞する上で、市の文化芸術施設に不足を感じる点(自由回答)

【立地、交通の便】

- ・市の文芸施設を回るシャトルバスを出してほしい(有料でも可)。
- ・場所が分かりにくいところがある。そこに行っても案内が少ないため、断念したことがある。
- ・高槻市のように阪急駅近くに鑑賞する場所あればと思う。
- ・一つ一つ施設が離れているため、よっぽど時間に余裕がない限り行こうという気が起きない。京都までとは言わないけど、もっと集めてほしい。
- ・子供連れでも行ける所をもっと増やしてほしい。車でも気軽に行けるようにしてほしい。
- ・最も多く利用するのが、駅(阪急・JR)なので、駅の出入口や近くに案内のポスターがあると分かりやすい。文化芸術には興味があるので、ぜひとも茨木市の施設で発展していただけると嬉しい。

【施設、事業内容】

(市民会館)

- ・費用が高い。子ども用トイレがあったら行きやすい(市民会館)。
- ・市民会館大ホールは古くなったので新しいものを建ててほしい。JR 茨木から北西にかけて文化芸術を鑑賞する施設が少ないので、新しく作ってほしい(JR～エキスポロードあたりに)。
- ・市民会館が老朽化している。駐車場が若干遠い。もっと車で来やすくして欲しい。大ホールも特に舞台が少し小さい気がする。
- ・市民会館大ホールが使いにくい。特に高齢の方にとって、階段や2階(?)3階はきつすぎる。トイレも使いにくい。
- ・同じ施設の名前が正式な名前と、もう一つあってわかりにくいときがある。(例:市民会館のことをユーアイホールといたりする。)
- ・ユーアイホールでは、舞台と座席が遠いと感じる。
- ・ユーアイホールは車いす利用者が使いにくい。階段が多く不便。
- ・市民会館・・・エレベーターがない。座席が窮屈。楽屋やステージに至る通路が複雑で危険。
- ・市民会館大ホールのキャバが最大で、それ以上の大きなホールがないことは、高槻現代劇場にオーケストラ公演その他の 1500 以上の規模の公演をもって行かれる大きな理由となっている。
- ・市民会館大ホールはよいホールであるが、長時間座っているとおしりが痛くなる。グランド下の駐車場から雨にぬれずに入れるようにする。車イスでの入場をしやすくするなど改築は必要だが、噂になっているような全面建替えは必要ない。
- ・市民会館や川端康成文学館等は駐車場の場所がわかりにくく、開館しているかどうかもわかりにくいので、鑑賞させたい気持ちがあると思えない。来館者への標識等にもっと力を入れてほしいです。

(川端康成文学館)

- ・川端康成文学館は、自転車置場が地下のため入りにくい。

(図書館)

- ・図書館の有料駐車は足が遠のく。
- ・図書館はいつもいっぱい座れない。喫煙室を作してほしい。入口を入ると、たばこの煙やにおいがしてイヤな気分になる。前は喫茶店があったのに無くなった。採算が取れないのかもしれないが味気なくなった。

(その他施設)

- ・施設内部が皆古い。
- ・美術や芸能(特に歌舞伎などの古典的なもの)を鑑賞できる施設がない。
- ・よく「高槻の施設はよい」と耳にする。「呼ばれる芸能人・タレントの格・質も高槻の方が高い」とも。
- ・施設は十分すぎるほどあると思います。要望はありません。
- ・生涯学習センター・きらめきホールはいつもガラ空きの感じがして、実にもったいないハコモノで税の無駄遣い。建設を企画した段階の為政者の無責任さに怒りさえ覚えるが、出来たものは仕方ない。せめて施設の有効活用に関わる(現在の関係者が)、活動の一端でも見せて頂きたい。
- ・どこの施設も時間を気にしたり、ゆったりする空間がない。せめて施設使用にのみ割引など考えてほしい。
- ・どこに文化施設があるか、30年以上住んでいるがほとんど知らない。図書館ぐらいしか利用することがない。
- ・生涯学習センターは茨木市の税金で建てているにもかかわらず、一部の人しか利用できていないと思う。食堂を使ったら駐車場代を無料にするなど考えてほしい。教室に通っていないと駐車場代が要る。
- ・文学館、記念館等は、その施設しかない、人を集めやすい施設(図書館等)にあるべき。
- ・クリエイティブセンター多目的室は使い勝手のよい部屋ではあるが、公演等で使われる時は前からの出入りになり使いにくい。きらめきホールへの公共交通機関の充実が必要。
- ・きらめきホール・・・交通の便がとても悪い上にパーキングが少ない。ホールによいピアノが入っているわりに、多目的に作られているからコンサートに不向き。スタッフは会場ではスーツを着用すべき。運動靴など問題外。食堂施設のレベルが低すぎる。わざわざ行きたくなるセンスと味のよいcafeを作るべき。
- ・生涯学習センター、きらめきホールの交通の便が悪い。

【その他】

- ・宣伝不足のように感じる。
- ・市の施設で、もっととどろんタイムリーな芸術を鑑賞できるようにしてほしい。
- ・文化芸術施設はたくさんあるが、魅力的な催しが少ないように思う。
- ・イベント・催し物の情報をもっと多岐にわたってやってほしい。さびしい感がある。
- ・地域の公民館を次々に使いにくくして、人員配置をしないことは、生涯学習に逆行している。高齢化社会では公民館こそ充実させるべきです。
- ・一つの市だけで、各種施設を持つことは無理なので、吹田・茨木・高槻(JRで結ばれている)にそれぞれ専門の施設を分担してもよいのではないかと(吹田はコンサートホール、茨木は演劇、高槻は能舞台のように)。
- ・茨木市にこだわりすぎている。茨木市に関わりのないものでも鑑賞できるようにしてほしい。
- ・音響のよいコンサートホールがほしい。
- ・ほとんどが昼間の時間帯及び平日のみで、夜・日曜希望します。
- ・茨木市に美術館がない事に不満を感じる。
- ・茨木市にも美術館があれば、大阪市・京都市に行くことも少なく、市としても活性化するのではないのでしょうか。
- ・Zeep Nanbaぐらいのライブハウス、そこまでいかなくとも小さめのライブハウスとかあればいいなあと思ったけど難しそうですね。
- ・あれもこれもではなく、現在の世相を厳しく批判する催しがあるといい。

- ・近來南茨木駅付近の人口が増加しているのに、そういう施設はほとんどない。
- ・音楽専用の施設がないので、催しがよいものであっても設備不足で物足りない内容に感じる。
- ・施設には何の問題もないと感ずます。参加するための意識向上とアクセスが必要かもしれません。
- ・外見ではわかりにくいかもしれませんが、訪問者の中には若くても聴力が弱い人がいることがあると頭の片隅にでもおいてくださると嬉しいでず。
- ・茨木市の山間部を有効利用した施設が欲しい。
- ・茨木市にも多くの美術家がおられると思うが、我々がその人の名前とか作品がわかりません。美術館が必要と考えます。
- ・他市の大ホールのイベントの紹介チラシが入ることがありますが、歌手のコンサート・演劇など有名なものがありますが、茨木のイベントにはあまりない。
- ・税金を使用して文化芸術をどの程度充実させていくかの議論が必要と思う。
- ・文化施設等の従業員の対応が悪く、二度と行こうとは思わない。施設の駐車場も少ない。

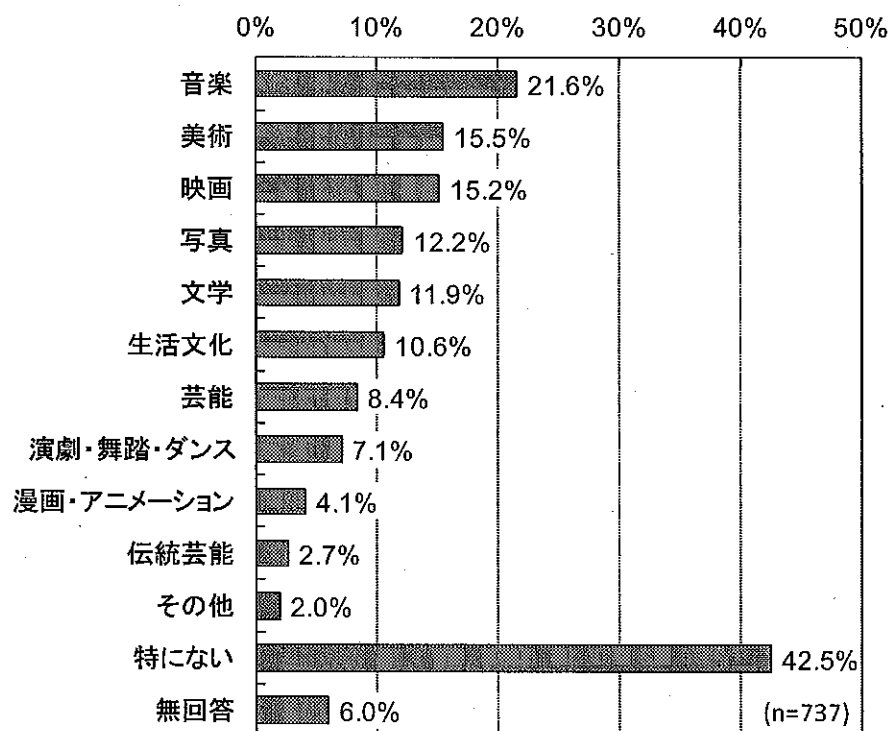
④ 文化芸術の実践

文化芸術の実践については、「音楽」、「美術」の割合が「最近実践したもの」、「今後実践したいもの」とともに割合が高くなっている。実践するにあたっての課題としては、「文化芸術活動団体の情報が少ない」が最も多かった。茨木市内の施設では「市民会館・大ホール」が最も利用されている。

1) 文化芸術の実践分野

最近実践した文化芸術の分野として、「音楽」(21.6%)が最も多く、「美術(15.5%)」、「映画(15.2%)」が続く。

図表 II-41 文化芸術の実践分野(複数回答)



年齢別にみると、50歳代・60歳代では「映画」の割合が市全体より高くなっている。一方、20歳代・40歳代では「特になし」の割合が半数を超えている。

図表 II-42 文化芸術の実践分野(属性別)

	調査数	文学（小説・随筆・俳句・詩など）	音楽	美術（絵画・彫刻・工芸など）	写真	演劇・舞踏・ダンス	映画	漫画・アニメーション	芸能（歌・舞・演奏・文楽など）	芸能（講談・落語・漫談・漫才・歌謡曲など）
全 体	737	11.9	21.6	15.5	12.2	7.1	15.2	4.1	2.7	8.4
年 齢 別										
20歳代	69	8.7	20.3	8.7	17.4	8.7	11.6	7.2	1.4	2.9
30歳代	90	6.7	25.6	13.3	8.9	11.1	12.2	7.8	0.0	1.1
40歳代	92	8.7	20.7	6.5	8.7	3.3	8.7	8.7	3.3	1.1
50歳代	125	19.2	26.4	17.6	17.6	10.4	26.4	4.8	2.4	11.2
60歳代	143	9.8	21.7	25.2	14.7	9.1	17.5	2.1	3.5	10.5
70歳以上	192	15.1	17.2	13.5	9.4	3.6	12.5	0.5	4.2	14.1
職 業 別										
自営業（農家等含む）・会社経営	85	10.6	21.2	15.3	20.0	5.9	8.2	5.9	3.5	12.9
正社員・正職員	212	11.8	26.4	9.4	15.6	9.4	16.5	6.1	1.4	3.3
パートタイム・アルバイト	87	11.5	23.0	19.5	5.7	10.3	20.7	3.4	2.3	5.7
派遣社員・契約社員	24	8.3	45.8	25.0	20.8	8.3	33.3	8.3	8.3	16.7
家事専従	102	9.8	17.6	21.6	9.8	8.8	12.7	2.9	2.0	11.8
学生	10	0.0	30.0	10.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0
無職（家事専従・学生のぞく）	183	16.9	14.2	15.8	8.7	2.7	14.8	2.2	3.8	10.4
地 域 別										
山地部	60	3.3	10.0	8.3	5.0	3.3	3.3	0.0	0.0	21.7
丘陵部	93	7.5	20.4	17.2	15.1	8.6	9.7	4.3	1.1	4.3
周辺部1	118	11.9	15.3	12.7	19.5	5.1	22.9	3.4	3.4	7.6
中心部	288	13.5	24.0	15.6	8.3	8.0	15.3	4.5	3.5	6.9
周辺部2	137	15.3	26.3	19.7	14.6	8.8	19.7	4.4	3.6	10.2

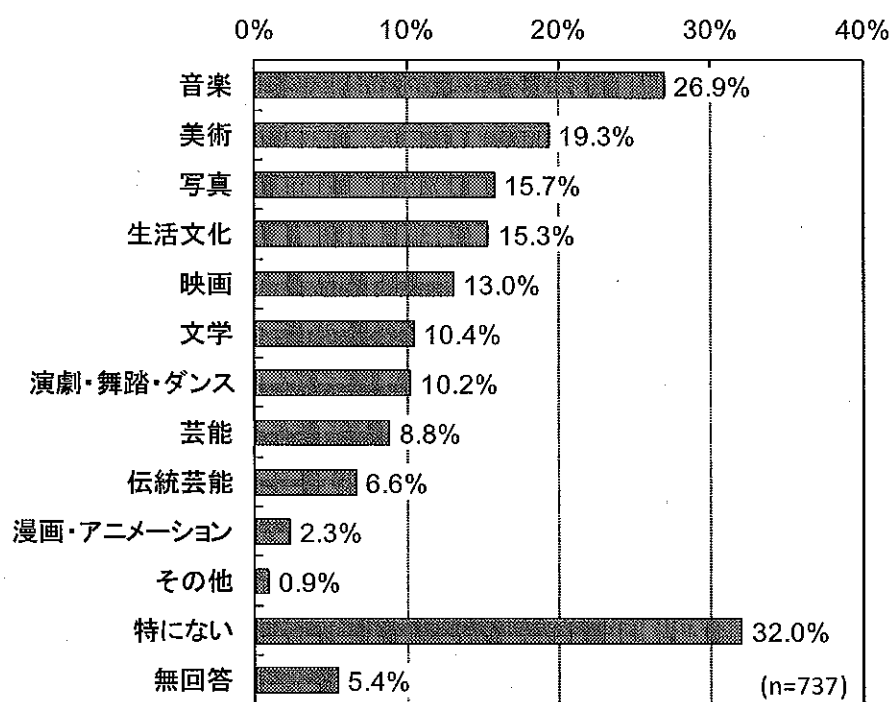
		道・生活文化（茶道・華道・書道など）	その他	特にない	無回答
全 体		10.6	2.0	42.5	6.0
年齢別	20歳代	4.3	1.4	55.1	1.4
	30歳代	6.7	2.2	45.6	3.3
	40歳代	12.0	0.0	53.3	1.1
	50歳代	13.6	2.4	40.0	5.6
	60歳代	13.3	2.1	32.9	9.1
	70歳以上	9.9	3.1	40.1	7.8
職業別	自営業（農家等含む）・会社経営	10.6	2.4	34.1	9.4
	正社員・正職員	7.1	1.9	46.2	3.8
	パートタイム・アルバイト	12.6	0.0	44.8	4.6
	派遣社員・契約社員	20.8	0.0	45.8	0.0
	家事専従	17.6	2.9	35.3	7.8
	学生	20.0	0.0	40.0	0.0
	無職（家事専従・学生のぞく）	7.1	2.7	44.8	6.0
地域別	山地部	13.3	5.0	41.7	13.3
	丘陵部	14.0	1.1	51.6	5.4
	周辺部1	4.2	2.5	45.8	4.2
	中心部	12.5	2.4	42.0	4.9
	周辺部2	8.8	0.7	35.0	5.8

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜字、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

2) 今後実践したい文化芸術分野

今後実践したい文化芸術分野として、「音楽」(26.9%)と最も多く、「美術」(19.3%)、「写真」(15.7%)が続く。

図表 II-43 今後実践したい文化芸術分野(複数回答)



年齢別にみると、20歳代では「写真」の割合が市全体より高くなっている。

職業別では、派遣社員・契約社員が「音楽」、「伝統芸能」、「芸能」の割合が高いのに対し、学生は「音楽」、「映画」の割合が低くなっている。

図表 II-44 今後実践したい文化芸術分野(属性別)

	調査数	俳句・文学(小説・随筆・詩など)	音楽	工芸(美術・絵画・彫刻など)	写真	演劇・舞踏・ダンス	映画	漫画・アニメーション	雅楽・伝統芸能(歌舞伎・文楽など)	唱歌・流行歌・落語・漫才・歌謡・芸能(講談・落語・漫才・歌謡・芸能)
全 体	737	10.4	26.9	19.3	15.7	10.2	13.0	2.3	6.6	8.8
年齢別										
20歳代	69	5.8	21.7	14.5	26.1	13.0	8.7	4.3	5.8	2.9
30歳代	90	10.0	26.7	20.0	24.4	11.1	10.0	5.6	2.2	4.4
40歳代	92	8.7	25.0	15.2	16.3	12.0	8.7	5.4	4.3	2.2
50歳代	125	10.4	28.0	25.6	15.2	16.8	21.6	1.6	9.6	9.6
60歳代	143	9.1	30.8	26.6	10.5	11.9	10.5	0.0	9.8	8.4
70歳以上	192	14.6	26.6	13.0	12.0	3.1	15.1	1.0	6.8	16.1
職業別										
自営業(農家等含む)・会社経営	85	15.3	23.5	21.2	22.4	10.6	10.6	2.4	3.5	12.9
正社員・正職員	212	8.0	27.8	17.9	22.6	14.6	13.2	3.3	5.2	6.1
パートタイム・アルバイト	87	9.2	27.6	20.7	9.2	13.8	16.1	1.1	5.7	5.7
派遣社員・契約社員	24	12.5	45.8	25.0	20.8	12.5	20.8	4.2	16.7	20.8
家事専従	102	5.9	31.4	21.6	8.8	10.8	12.7	3.9	8.8	8.8
学生	10	10.0	10.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0
無職(家事専従・学生のぞく)	183	14.8	23.5	16.9	11.5	3.8	13.1	0.5	7.7	10.9
地域別										
山地部	60	8.3	23.3	13.3	10.0	8.3	8.3	0.0	1.7	26.7
丘陵部	93	6.5	23.7	18.3	19.4	14.0	11.8	3.2	10.8	4.3
周辺部1	118	11.0	22.9	16.1	16.1	10.2	15.3	4.2	9.3	6.8
中心部	288	9.7	26.0	19.8	14.2	10.8	11.8	1.4	6.9	6.6
周辺部2	137	14.6	36.5	23.4	19.0	8.8	19.0	1.5	5.1	11.7

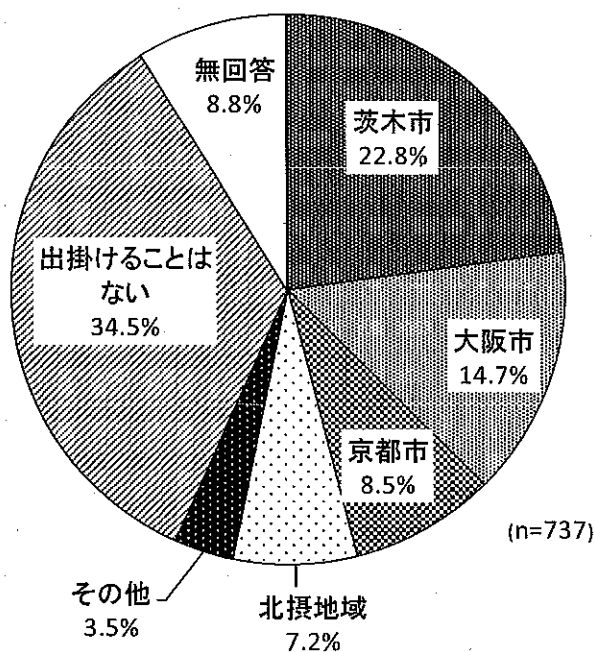
	道・生活文化(茶道・華道・書道など)	その他	特にない	無回答
全 体	15.3	0.9	32.0	5.4
年齢別				
20歳代	18.8	0.0	36.2	0.0
30歳代	20.0	1.1	27.8	3.3
40歳代	14.1	0.0	41.3	0.0
50歳代	18.4	1.6	27.2	2.4
60歳代	14.7	0.7	25.9	8.4
70歳以上	10.9	1.6	35.4	8.9
職業別				
自営業(農家等含む)・会社経営	7.1	1.2	34.1	5.9
正社員・正職員	16.5	0.9	30.2	1.9
パートタイム・アルバイト	23.0	0.0	32.2	2.3
派遣社員・契約社員	16.7	0.0	37.5	0.0
家事専従	24.5	1.0	26.5	6.9
学生	20.0	0.0	40.0	0.0
無職(家事専従・学生のぞく)	9.3	1.6	35.0	8.7
地域別				
山地部	18.3	0.0	38.3	6.7
丘陵部	22.6	1.1	32.3	4.3
周辺部1	16.1	1.7	33.1	4.2
中心部	12.2	0.7	34.0	5.2
周辺部2	16.1	1.5	22.6	5.1

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

3) 文化芸術を実践する地域

文化芸術を実践する地域として、「茨木市」が最も多く(22.8%)、「大阪市」(14.7%)、「京都市」(8.5%)が続く。

図表 II-45 文化芸術を実践する地域



(注) 北摂地域とは、高槻市、吹田市、摂津市、箕面市、池田市、豊中市を指す。

職業別にみると、「茨木市」の割合は家事専従が高くなっているのに対し、派遣社員・契約社員、学生は低くなっている。

また「出かけることはない」の割合は、年齢別にみると20歳代が高くなっており、職業別では学生が高くなっている。

図表 II-46 文化芸術を実践する地域(属性別)

		調査数	茨木市	大阪市	北摂地域	京都市	その他	出かけることはない	無回答
全 体		737	22.8	14.7	7.2	8.5	3.5	34.5	8.8
年 齢 別	20歳代	69	20.3	10.1	4.3	8.7	4.3	50.7	1.4
	30歳代	90	18.9	13.3	8.9	8.9	4.4	38.9	6.7
	40歳代	92	20.7	10.9	7.6	5.4	5.4	42.4	7.6
	50歳代	125	24.8	17.6	8.0	7.2	3.2	29.6	9.6
	60歳代	143	25.2	16.8	8.4	8.4	3.5	25.2	12.6
	70歳以上	192	24.0	15.6	6.3	11.5	2.1	31.8	8.9
職 業 別	自営業（農家等含む）・会社経営	85	18.8	16.5	7.1	4.7	3.5	36.5	12.9
	正社員・正職員	212	18.4	14.2	8.5	8.0	6.1	38.2	6.6
	パートタイム・アルバイト	87	28.7	13.8	9.2	9.2	2.3	28.7	8.0
	派遣社員・契約社員	24	8.3	29.2	4.2	12.5	0.0	33.3	12.5
	家事専従	102	38.2	8.8	6.9	10.8	0.0	26.5	8.8
	学生	10	10.0	20.0	10.0	0.0	0.0	60.0	0.0
	無職（家事専従・学生のぞく）	183	21.3	15.8	5.5	10.9	3.3	33.9	9.3
地 域 別	山地部	60	30.0	11.7	6.7	8.3	1.7	28.3	13.3
	丘陵部	93	24.7	8.6	10.8	6.5	2.2	38.7	8.6
	周辺部1	118	24.6	13.6	7.6	9.3	4.2	32.2	8.5
	中心部	288	21.2	17.4	4.5	8.7	4.9	37.5	5.9
	周辺部2	137	21.9	16.8	10.9	8.0	2.2	28.5	11.7

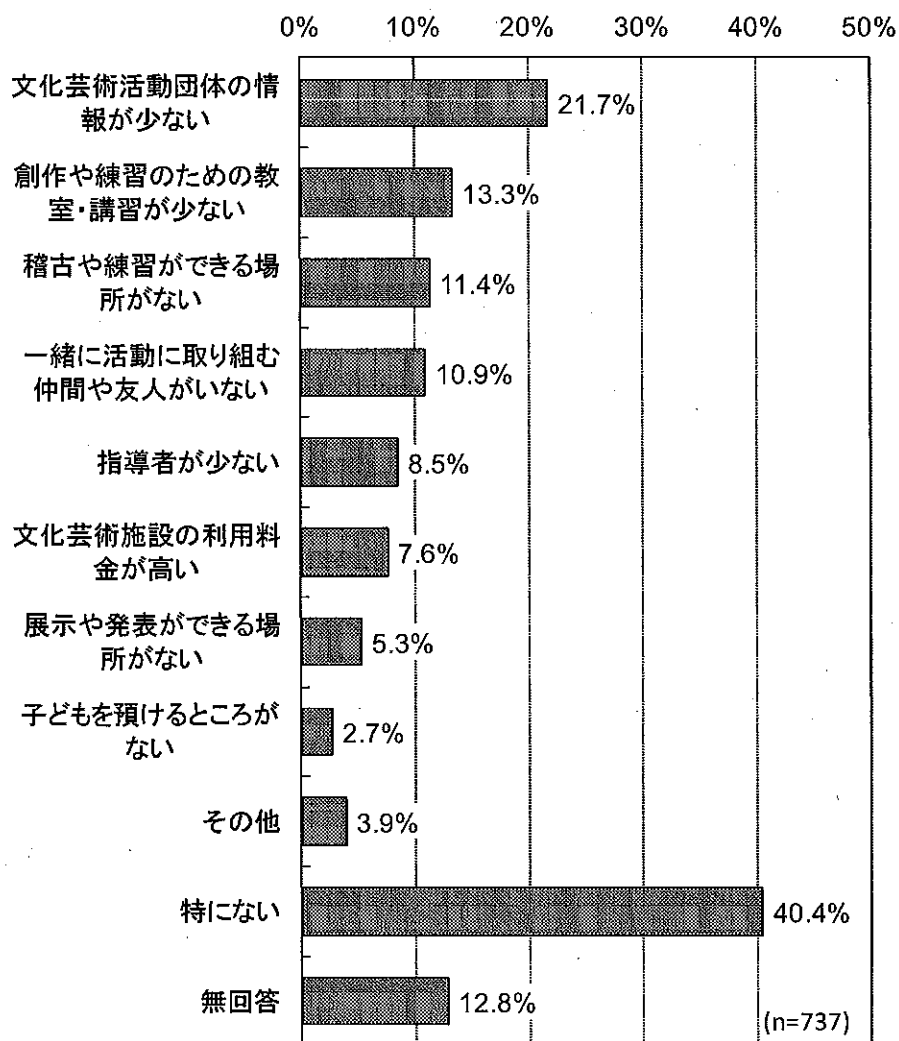
（注）全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜字、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

（注）北摂地域とは、高槻市、吹田市、摂津市、箕面市、池田市、豊中市を指す。

4) 文化芸術実践にあたっての課題

文化芸術を実践するにあたっての課題として、「文化芸術活動団体の情報が少ない」(21.7%)が最も多く、「創作や練習のための教室・講習が少ない」(13.3%)、「稽古や練習ができる場所がない」(11.4%)が続く。

図表 II-47 文化芸術実践にあたっての課題(複数回答)



職業別にみると、派遣社員・契約社員では「文化芸術活動団体の情報が少ない」の割合が高くなっており、学生では「展示や発表できる場所がない」の割合が高い。

図表 II-48 文化芸術実践にあたっての課題(属性別)

	調査数	場所 展示や 発表が できる	場所 稽古や 練習が できる	料金 文化 芸術 施設 の 利用	指導 者が 少ない	情報 文化 芸術 活動 団体 の	教室 創作 や 練習 が 少 ない	む 仲 一 緒 に 活 動 に 取 り 組 む 人 が い ない	ろ が な い 子 ど も を 預 け る と こ	そ の 他
全 体	737	5.3	11.4	7.6	8.5	21.7	13.3	10.9	2.7	3.9
年齢別										
20歳代	69	7.2	5.8	5.8	2.9	23.2	13.0	18.8	11.6	7.2
30歳代	90	3.3	15.6	6.7	5.6	26.7	18.9	15.6	11.1	7.8
40歳代	92	5.4	17.4	7.6	12.0	18.5	18.5	14.1	1.1	7.6
50歳代	125	9.6	15.2	7.2	8.8	25.6	20.8	8.0	0.0	4.8
60歳代	143	2.8	8.4	10.5	9.8	23.8	9.8	6.3	0.0	1.4
70歳以上	192	4.7	7.8	6.8	8.9	18.2	6.8	10.4	0.5	1.0
職業別										
自営業（農家等含む）・会社経営	85	4.7	15.3	5.9	14.1	23.5	9.4	15.3	0.0	4.7
正社員・正職員	212	8.0	15.1	6.6	9.0	23.6	16.5	13.7	2.4	7.1
パートタイム・アルバイト	87	1.1	8.0	6.9	11.5	21.8	23.0	9.2	5.7	3.4
派遣社員・契約社員	24	4.2	16.7	16.7	12.5	41.7	16.7	8.3	4.2	8.3
家事専従	102	3.9	11.8	12.7	5.9	20.6	14.7	7.8	7.8	2.0
学生	10	20.0	20.0	0.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0	0.0
無職（家事専従・学生のぞく）	183	4.4	4.9	5.5	4.4	20.2	6.6	8.2	0.0	1.6
地域別										
山地部	60	5.0	13.3	6.7	10.0	23.3	10.0	15.0	0.0	0.0
丘陵部	93	7.5	6.5	9.7	6.5	22.6	12.9	15.1	7.5	6.5
周辺部1	118	3.4	6.8	5.1	6.8	23.7	12.7	10.2	5.9	2.5
中心部	288	5.2	13.2	10.4	8.7	19.1	12.8	7.6	1.7	4.5
周辺部2	137	5.8	13.9	3.6	10.9	27.7	17.5	13.9	0.0	4.4

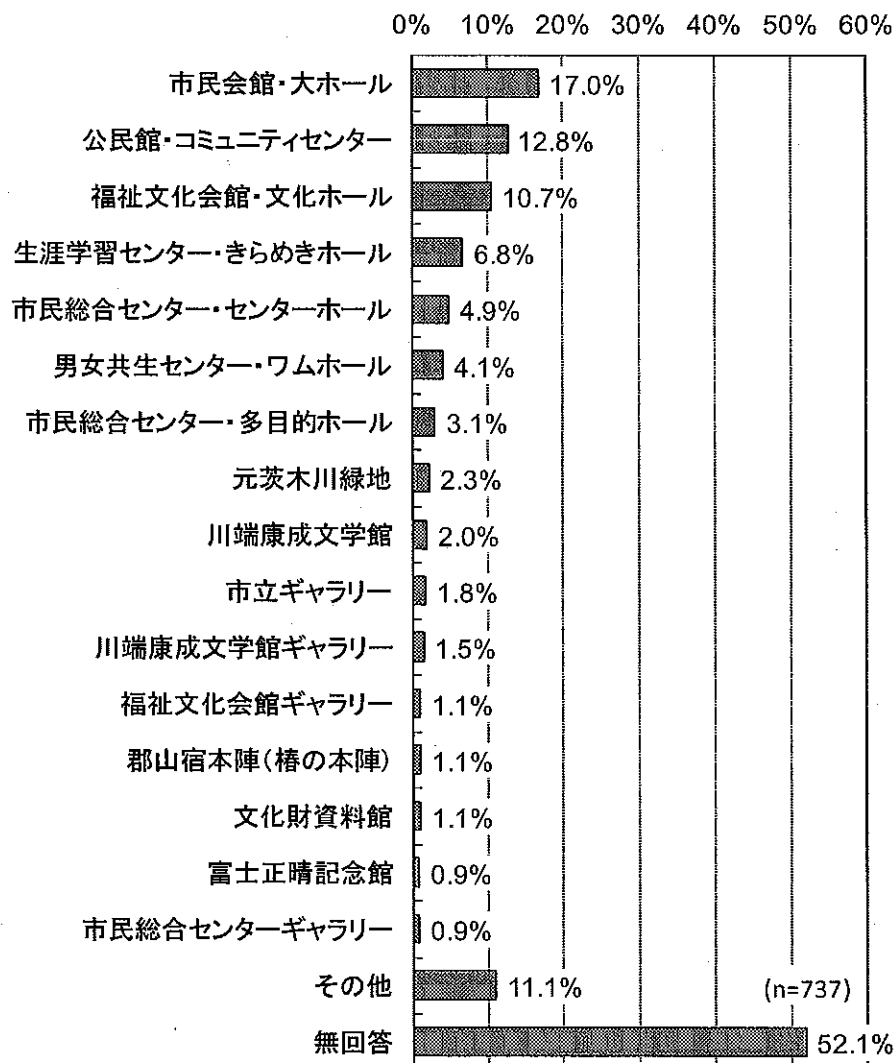
	特 に ない	無 回 答
全 体	40.4	12.8
年齢別		
20歳代	40.6	5.8
30歳代	31.1	7.8
40歳代	42.4	4.3
50歳代	35.2	10.4
60歳代	38.5	19.6
70歳以上	49.0	16.1
職業別		
自営業（農家等含む）・会社経営	36.5	12.9
正社員・正職員	40.6	5.7
パートタイム・アルバイト	44.8	9.2
派遣社員・契約社員	29.2	12.5
家事専従	31.4	15.7
学生	50.0	0.0
無職（家事専従・学生のぞく）	47.0	19.1
地域別		
山地部	40.0	18.3
丘陵部	33.3	12.9
周辺部1	42.4	13.6
中心部	43.1	10.4
周辺部2	38.0	11.7

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

5) 文化芸術の実践で利用した施設

文化芸術の実践で利用した施設として、「市民会館・大ホール」(17.0%)が最も多く、「公民館・コミュニティセンター」(12.8%)、「福祉文化会館・文化ホール」(10.7%)が続く。

図表 II-49 文化芸術の実践で利用した施設(複数回答)



文化芸術の実践での施設利用については、最も利用割合の高かった「市民会館・大ホール」では「家事専従」の割合が最も高く、「学生」の割合が最も低かった。

図表 II-50 文化芸術の実践で利用した施設(属性別)

	調査数	市民会館・大ホール	福祉文化会館・文化ホール	市民総合センター・セクターホール	多目的ホール	生涯学習センター・きらめきホール	男女共生センター・ウムホール	川端康成文学館	富士正晴記念館	市立ギャラリー
全体	737	17.0	10.7	4.9	3.1	6.8	4.1	2.0	0.9	1.8
年齢別										
20歳代	69	8.7	1.4	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0
30歳代	90	12.2	7.8	6.7	2.2	4.4	3.3	1.1	1.1	2.2
40歳代	92	14.1	6.5	3.3	1.1	6.5	6.5	3.3	1.1	0.0
50歳代	125	17.6	11.2	8.0	4.0	7.2	5.6	0.8	0.8	2.4
60歳代	143	15.4	11.2	1.4	0.7	10.5	4.9	2.8	0.7	2.8
70歳以上	192	24.0	16.7	6.8	6.3	7.3	3.1	3.1	1.6	1.6
職業別										
自営業（農家等含む）・会社経営	85	16.5	15.3	4.7	5.9	4.7	3.5	2.4	2.4	1.2
正社員・正職員	212	12.7	9.0	5.2	3.8	5.2	4.7	0.9	0.6	0.9
パートタイム・アルバイト	87	16.1	8.0	1.1	0.0	8.0	6.9	1.1	0.0	2.3
派遣社員・契約社員	24	20.8	12.5	8.3	4.2	8.3	8.3	4.2	0.0	0.0
家事専従	102	21.6	8.8	6.9	2.0	10.8	3.9	1.0	1.0	5.9
学生	10	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職（家事専従・学生のぞく）	183	19.1	11.5	4.9	2.7	7.1	2.7	4.4	1.6	0.5
地域別										
山地部	60	26.7	20.0	5.0	6.7	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0
丘陵部	93	8.6	6.5	3.2	2.2	5.4	3.2	1.1	1.1	3.2
周辺部1	118	14.4	7.6	4.2	4.2	6.8	3.4	0.8	0.8	1.7
中心部	288	19.4	11.1	6.3	2.8	8.7	6.6	2.4	1.4	1.7
周辺部2	137	16.1	11.7	3.6	1.5	5.8	2.2	2.9	0.7	1.5

	市立ギャラリー	市民総合センター	川端康成文学館ギャラリー	市民総合センター・コミュニティセンター	郡山宿本陣（樺の本陣）	文化財資料館	元茨木川緑地	その他	無回答
全体	1.1	0.9	1.5	12.8	1.1	1.1	2.3	11.1	52.1
年齢別									
20歳代	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	15.9	72.5
30歳代	1.1	0.0	1.1	11.1	0.0	0.0	1.1	5.6	58.9
40歳代	1.1	1.1	2.2	16.3	1.1	0.0	1.1	14.1	56.5
50歳代	1.6	1.6	1.6	12.0	0.0	0.8	1.6	9.6	53.6
60歳代	0.0	2.1	1.4	11.9	1.4	0.7	2.8	12.6	49.0
70歳以上	2.1	0.5	2.1	16.7	2.6	3.1	4.7	10.9	39.1
職業別									
自営業（農家等含む）・会社経営	3.5	1.2	0.0	15.3	1.2	1.2	4.7	7.1	49.4
正社員・正職員	0.5	0.5	0.9	7.5	0.0	0.5	1.9	13.7	56.6
パートタイム・アルバイト	0.0	3.4	0.0	14.9	1.1	0.0	1.1	9.2	55.2
派遣社員・契約社員	4.2	4.2	8.3	12.5	0.0	0.0	0.0	20.8	50.0
家事専従	1.0	0.0	1.0	20.6	0.0	1.0	1.0	5.9	48.0
学生	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	70.0
無職（家事専従・学生のぞく）	1.1	0.5	2.7	13.1	3.3	2.7	3.3	12.6	47.0
地域別									
山地部	3.3	0.0	1.7	10.0	1.7	1.7	3.3	11.7	41.7
丘陵部	0.0	0.0	0.0	8.6	1.1	0.0	3.2	10.8	62.4
周辺部1	0.8	2.5	1.7	10.2	1.7	0.0	2.5	9.3	59.3
中心部	1.0	0.7	1.7	14.9	1.4	1.0	2.1	12.2	46.9
周辺部2	1.5	1.5	1.5	16.8	0.0	2.2	1.5	10.9	49.6

（注）全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

6) 文化芸術を実践する上で、茨木市の文化芸術施設に満足している点(自由回答)

【施設、事業内容】

(市民会館)

- ・子どもの吹奏楽の発表会で利用させてもらっていた。名称がわかりやすい愛称であるユーアイホールなど、近いところで子どもの演奏が楽しめてよかった。

(ワムホール)

- ・ワムホールは照明設備がよい。

(その他施設)

- ・生涯学習のための施設設備がよく整っている。
- ・生涯学習センター・きらめきホールはきれいで音響がよい。
- ・きらめきホールで行なわれている講習等は興味あるものが多い。
- ・コミュニティセンターは新しく、食べ物などを作る環境は整っている。ホールもあり、音楽関係もダンス関係も利用できる。
- ・公民館が安価な費用で借りることができる。
- ・生涯学習センターを利用している。教室の種類も多く、先生方がプロまたは教授達で内容も満足している。ただ一つ場所が市内中央では無理だろうか。サブセンターくらいでもできないか。
- ・上中条青少年センターのセンターホール等も芸術の実践に利用するのにとても便利である。多目的に使える。
- ・小学校区に公民館またはコミセンがあるので、近くて安価な施設は充実していると感じる。
- ・講師の方の指導がとてもよいと感じる。施設も美しく、とても満足している(生涯学習センター・きらめきホール)。
- ・公民館写真講座のレベルが低い。同じ講師で同じ生徒ばかり。写真展も他市から応募しても入選しない、できないと有名な話。マンネリ化。民間機関、企業との連携などトータルで市が活性するようにしてほしい。

【その他】

- ・舞台袖がもう少し広かったら道具の出し引きがやりやすい。きれいで広々(舞台が)でよい。
- ・利用料金が比較的安く、利用しやすい。
- ・公民館ぐらいの広さでおしゃれなひとときを共に共有できるスペース。コミュニティを中心にあたたかい空間があれば…。

7) 文化芸術を実践する上で、茨木市の文化芸術施設に不足を感じる点(自由回答)

【立地、交通の便】

- ・ 交通費が高く、時間がないので車で行くが、駐車代がとても高いように思う。

【施設、事業内容】

(市民会館)

- ・ 市民会館・大ホールは費用が高い(もっと利用したいが...)。
- ・ 市民会館大ホール舞台上手へ入る辺り薄暗い折、足元が危険を覚える。高齢者用に市民会館大ホールへの外部階段にエスカレーターを設置出来ないか。
- ・ ユーアイホールではフルオーケストラは演奏できるのだろうか。

(図書館)

- ・ 図書館を充実させて頂きたい。佐賀県の武雄市にある図書館のように、大規模ではあるが、一日過ごしても楽しい空間があったらいいと思う。

(ワムホール)

- ・ ワムホールは舞台と距離が近いが裏側が狭い。大ホールは移動階段が狭い。
- ・ ワムホールの一室を利用したが、イスにシミが多く汚い。

(その他施設)

- ・ 生涯学習センターの水彩画講座の設置・充実。
- ・ 市立ギャラリーは価格が高く、申し込みにくい。
- ・ 庄栄コミセンなどで書道などがあれば行ってみたい。
- ・ 施設自体の設備(音楽室)の充実が不十分。近隣住民の苦情対応、苦情が出ないためのルールが不明瞭、施設によって対応が異なり利用しづらい(コミュニティセンターなど)。
- ・ 公民館の担当者の方が非常に厳しかった。子供たちが騒ぐときつく叱られ、気分を害した(天王公民館)。
- ・ 上中条青少年センターに行く公共交通機関が無いのが残念。
- ・ ロサビア内の市立ギャラリーの貸り費用は高額なので、もう少し低額にしてほしい。
- ・ 市民総合センター・センターホール・多目的ホール・きらめきホールの用途が名称から推定しにくい。
- ・ 施設が多すぎる。利用していない施設をやめ総合的に利用できる施設を建設し全てが行える施設にしてほしい。従業員の数も少なくでき、無駄な費用をなくすようにしてほしい。

【その他】

- ・ 使用料、駐車料金が高い。
- ・ 土日にたくさん講習等があれば、平日が仕事の方でも参加できると思う。
- ・ 生涯学習センターでは、オープンで気軽に音楽が聴ける機会があるように思うが遠くて行けない。いつでも気軽に立ち寄って聴けるような音楽の集いがあればいい。
- ・ 人数的に多くの人が入れるところがない。入れ替え制とかをとらなければ利用しにくい。
- ・ 立派なホールやセンターが多くあるのに、はっきりとした使用目的がない。多目的ホール、センターとは、具体的に目的がないのと変わりなく、何を、どうするのか、市民を巻き込んではっきりした方がよい。
- ・ ピアノを練習したくともピアノが家にないために練習できない方が知り合いにいますが、そういう人のためにピアノや施設を開放する日や時間があれば、市の文化レベルの向上の一助になるかと思う。
- ・ プライドがあるのか、職員さんが何か冷たい感がある。

- ・無料で使える施設を増やしてほしい。和太鼓を遠慮無く使える部屋を増やしてほしい。
- ・紫明園、南春日丘地区が使いやすい公民館がないため、気軽に実践したくても遠くに行かなくてはならず不便である。年をとると移動が大変である。夜、勤め先から帰ってきて楽器を練習する防音の施設が近くにないため、寒い中、遠くに行かなくてはならず不便を感じている。
- ・京都や神戸の街と違って街の中に文化的な感じがない。街のシンボリックな建物もない。施設を使用するのに利用方法がよくわからない。大学も郊外にあって点在しているので、街の中心地は住宅地とか工場とかのイメージが強くて文化の香りはしない。
- ・音楽をする上で、音出し可能な施設が少ないし、料金も高い。施設があったとしても、吹奏楽などの規模の大きい練習などをする際、それに応じた施設がほとんど無い。人数が入りきらないことも多々ある。練習はしたいが、茨木市内だと収容人数も少ない上に料金が安い、しかも施設の数が少ないとなると他市に出向いて練習するという事もしばしばある。基本的に拠点は茨木市なので、茨木市内で安価で利用できる「多目的ホール」や「文化ホール」などの施設が増えることを願っている。
- ・どの施設でも同じような講座があったり、他の施設の講座内容が地域外だと告知されていないと感じる。
- ・各文化芸術施設とその施設の作品内容を市民に分かるようにPR集を作ってもらいたい。
- ・土日の教室を増やしてほしい。
- ・高槻市は、コミュニティセンターで習ったダンス、カラオケや高校のブラスバンド等、近くの小学校で11月3日の文化祭の折、発表させてもらえるのですが、茨木市ではそのような話はあまり聞かない。小学校の講堂は、その様な利用はさせてないのか。
- ・華道・フラワーアレンジ等をやってみたいと思うが、一般のところだと値段が高い。花の鮮度が悪かったりする。書道もやってみたい。時間等合いにくい。
- ・練習室が足りない。
- ・施設の利用料が高く、皆で出し合っているが、人数によっては高くなってしまふ。
- ・出演者を公募して、何ヶ月か芝居のワークショップ＆稽古を重ねた後に一つの芝居を上演するという企画を他市でしていたので、茨木市でもやってほしい。
- ・小さい子どもを預かってくれるシステムが余りないので、若い夫婦だけで出かけることが困難。芸術の広がりがあるように思う。市内の保育園の一時預かりなどが利用できるようにすればどうだろうか。
- ・対応される職員が芸術文化に無関心なので、伝わらない事柄が多い。熱意を感じられない。
- ・自分の学生時代に楽器の練習スタジオやライブハウスが地元があればと思ったことはあった。
- ・指導を受けながら陶芸などが出来る施設があればいいと思う。
- ・茨木市主催の障がい者(児)の音楽会があれば参加したい。
- ・能、雅楽、文楽が楽しめる、本格的な施設(いわゆる多目的ホールではない)があればよい。山間部に造ったらよいのではないか。山間で夜、屋外でも演じられるようにする。大阪市内よりよっぽどいいと思う。
- ・芸術には費用がかかるので、まずは市出身の音楽家などに協力してもらい、比較的安い費用で実践してもらい、文化の雰囲気を広げていくのはどうだろうか。
- ・きっかけがあれば協力してもらえるチームがあればいい！アドバイスをしてもらえたりできたらもっと積極的にとりくみたい。

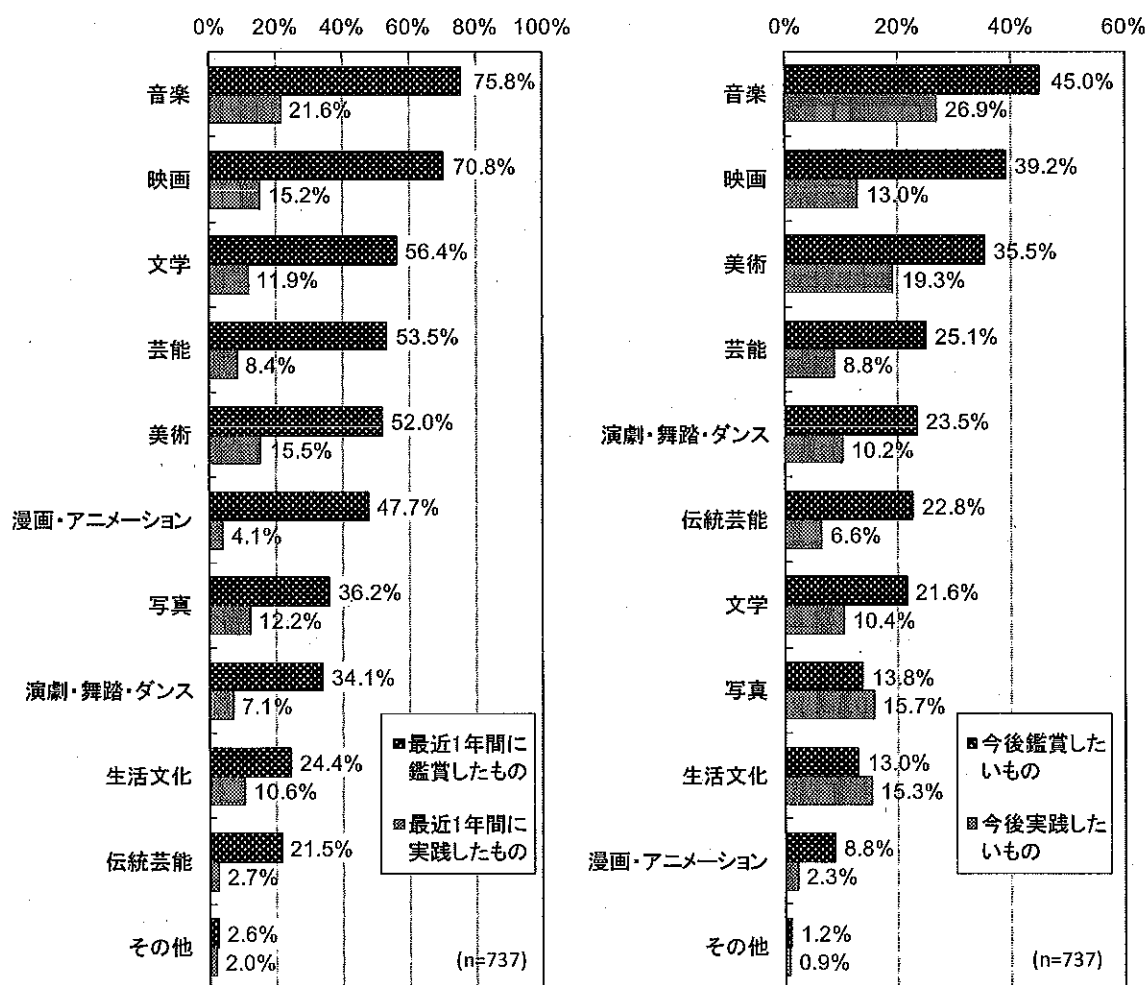
⑤ 文化芸術活動における「鑑賞と実践」、「現状と今後」の比較

文化芸術活動の今後鑑賞したいもの、今後実践したいものの割合を比べると、ほとんどの分野で「鑑賞」が「実践」を上回っているが、「写真」・「生活文化」については、「鑑賞」より「実践」の割合の方が高い。また、現状と今後の状況を比べると、「伝統芸能」が唯一、今後鑑賞したい割合が最近1年間で鑑賞した割合を上回っている。

1) 文化芸術の「鑑賞と実践」比較

最近1年間の文化芸術活動をみると、どの分野も「鑑賞」が「実践」を大きく上回っているが、今後行いたい文化芸術活動をみると、ほとんどの分野で「鑑賞」が「実践」を上回っているものの、「写真」・「生活文化」については「実践」が上回っている。ほとんどの分野で「鑑賞」が好まれているが、「写真」・「生活文化」については今後は「鑑賞」よりも「実践」をしたいと思います。

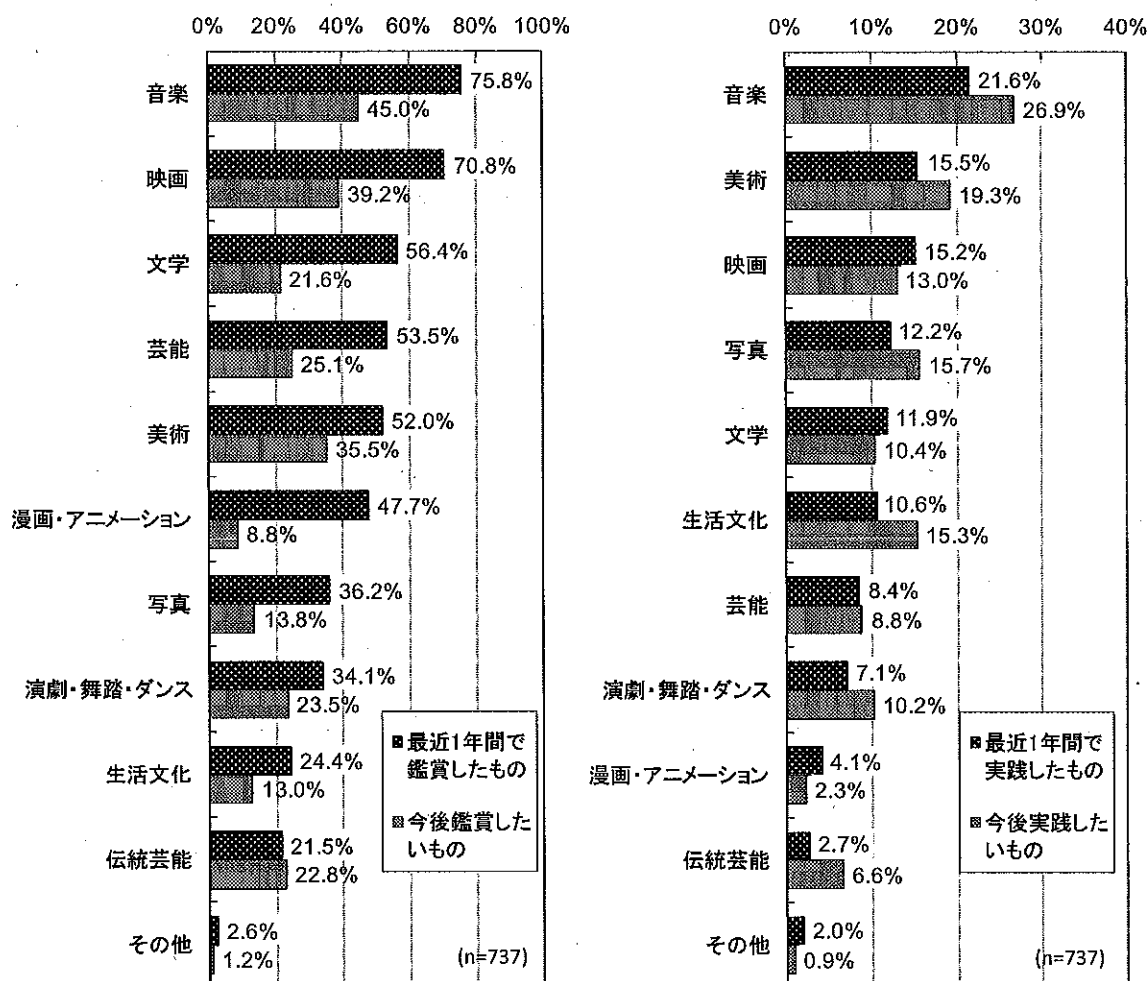
図表 II-51 「鑑賞と実践」比較



2) 文化芸術の鑑賞・実践の「現状と今後」比較

「鑑賞」の現状と今後の状況をみると、「伝統芸能」を除いた全ての分野で「今後鑑賞したいもの」が「最近 1 年間で鑑賞したもの」を下回っている。「実践」については、逆に多くの分野で「今後実践したいもの」が上回っており、「実践」については最近 1 年間で実践されていない方でも今後実践してみたいと思われている方がいる。

図表 II-52 「現状と今後」比較



⑥ 茨木市の文化芸術振興の状況・施策

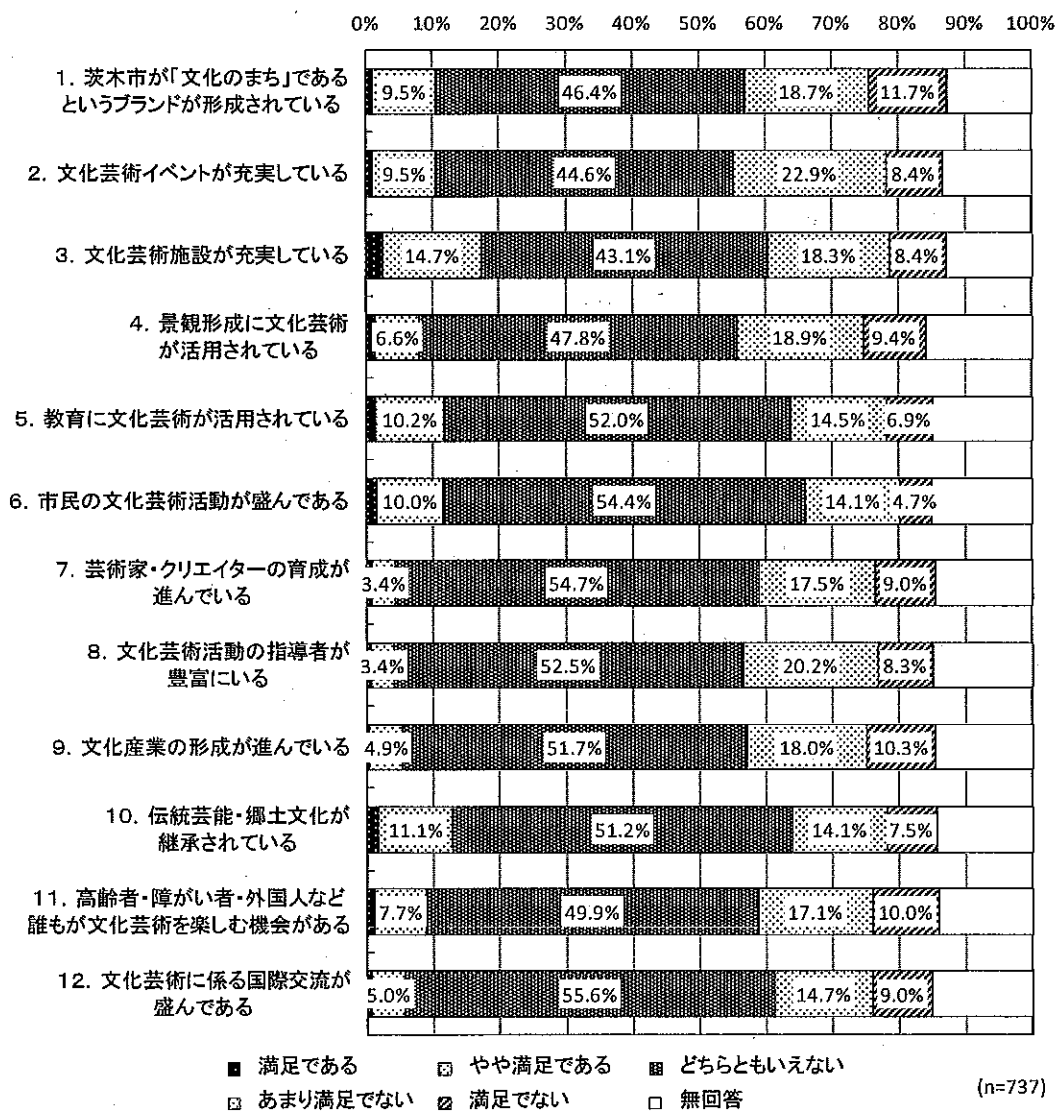
文化振興の満足度・重要度を見ると、「文化芸術施設が充実している」が最も満足度が高い。一方、「高齢者・障がい者・外国人など誰もが文化芸術を楽しむ機会がある」は最も重要度が高いが、満足度は相対的に低い。今後開催してほしいイベントとしては、「演奏を鑑賞できる演奏会」の割合が最も高い。

1) 市の文化振興の満足度

市の文化振興の満足度（「満足である」＋「やや満足である」の計）について見ると、すべての分野の満足度は4%～18%の間にある。また、全体的に「どちらともいえない」という回答が半数程度を占めている。

満足度の最も大きな分野は「文化芸術施設が充実している」（17.3%）であり、最も小さな分野は「文化芸術活動の指導者が豊富にいる」（4.1%）である。

図表 II-53 文化振興の満足度

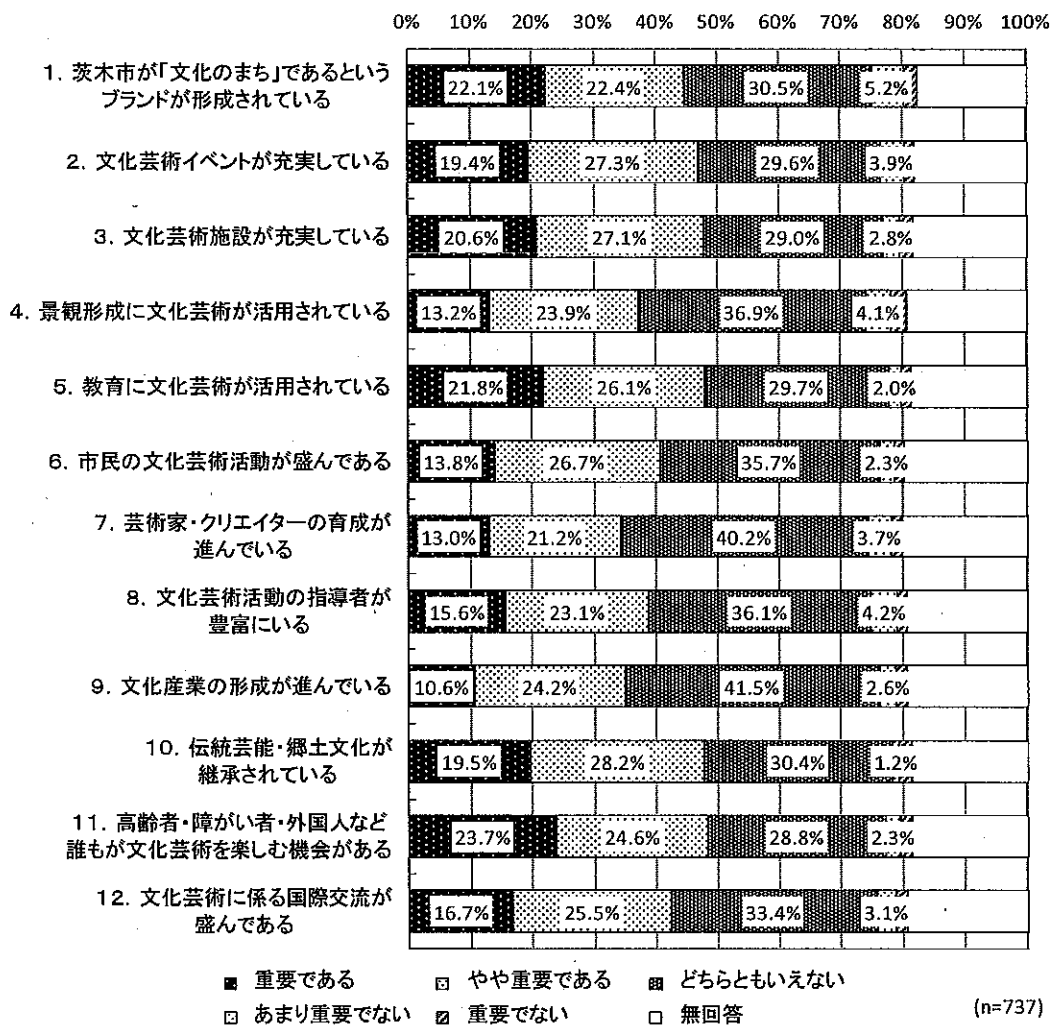


2) 市の文化振興の重要度

市の文化振興の重要度(「重要である」+「やや重要である」の計)について見ると、すべての分野の重要度は34%～49%の間にある。

重要度の最も大きな分野は「高齢者・障がい者・外国人など誰もが文化芸術を楽しむ機会がある」(48.3%)であり、最も小さな分野は「芸術家・クリエイターの育成が進んでいる」(34.2%)である。

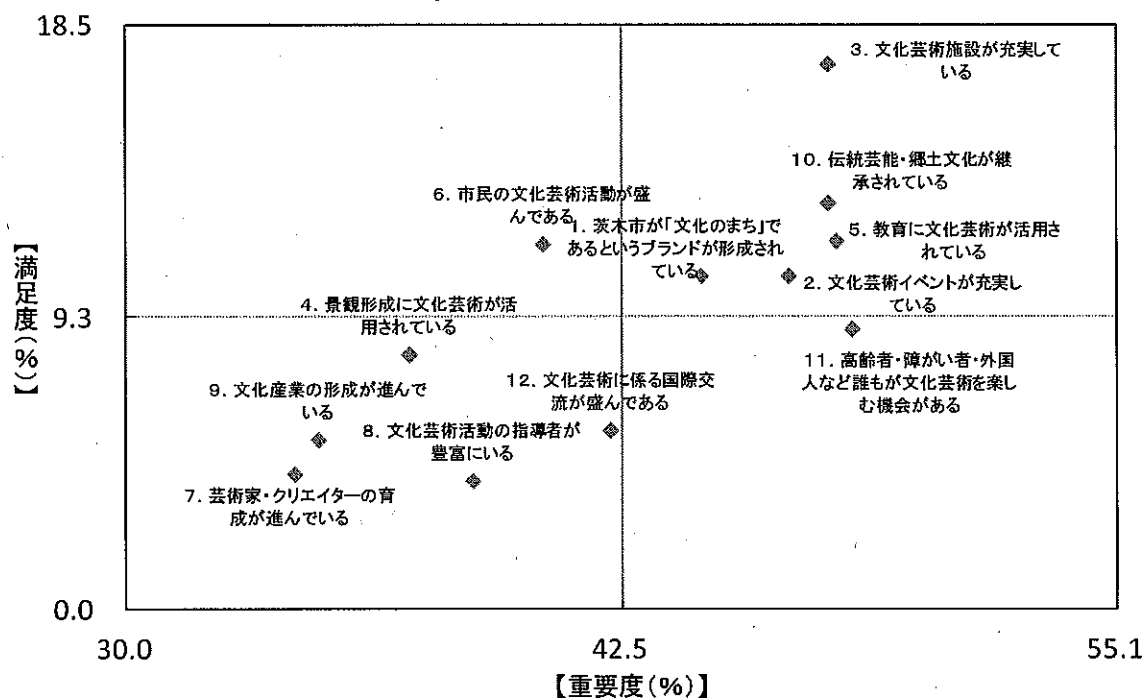
図表 II-54 文化振興の重要度



3) 文化振興の満足度－重要度の関係

市の文化振興に関する満足度－重要度の関係について見ると、重要度が大きく、満足度が小さい分野として、「高齢者・障がい者・外国人など誰もが文化芸術を楽しむ機会がある」がある。

図表 II-55 文化振興の満足度－重要度関係

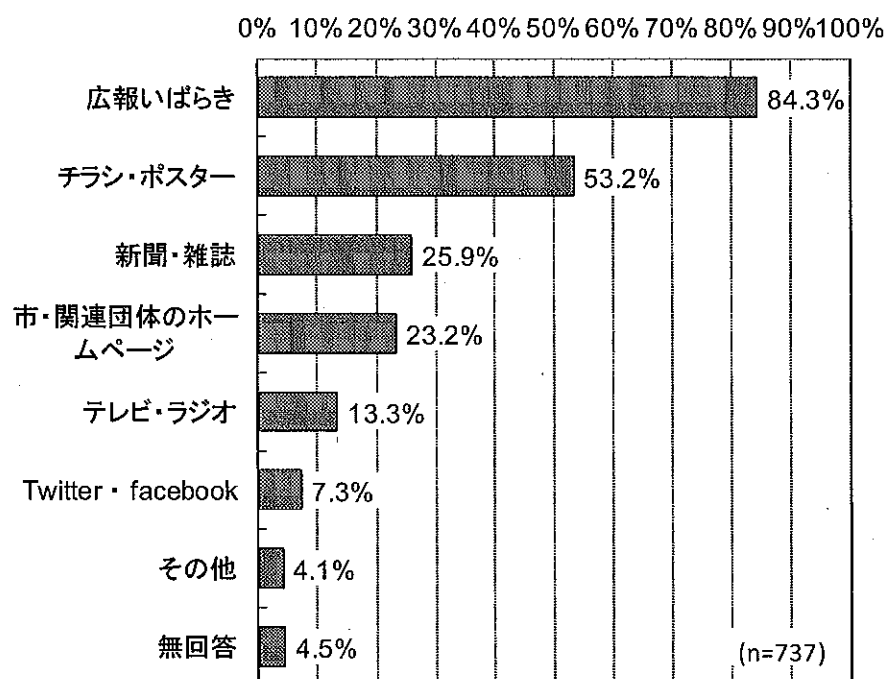


(注) 図表中央で交差する補助線はそれぞれ満足度・重要度の平均値である。

4) 希望する文化芸術情報の発信方法

希望する文化芸術情報の発信方法として、「広報いばらき」(84.3%)が最も多く、「チラシ・ポスター」(53.2%)、「新聞・雑誌」(25.9%)が続く。

図表 II-56 希望する文化芸術情報の発信方法(複数回答)



年齢別にみると、20 歳代では「広報いばらき」、「新聞・雑誌」の割合が市全体より低くなっている。また、70 歳以上では「市・関連団体のホームページ」の割合が市全体より低くなっている。

職業別では、「広報いばらき」の割合が家事専従は高いのに対し、学生は低くなっている。

また、「Twitter・Facebook」の割合は、年齢別では 20 歳代が高く、職業別では学生が高くなっている。

図表 II-57 希望する文化芸術情報の発信方法(属性別)

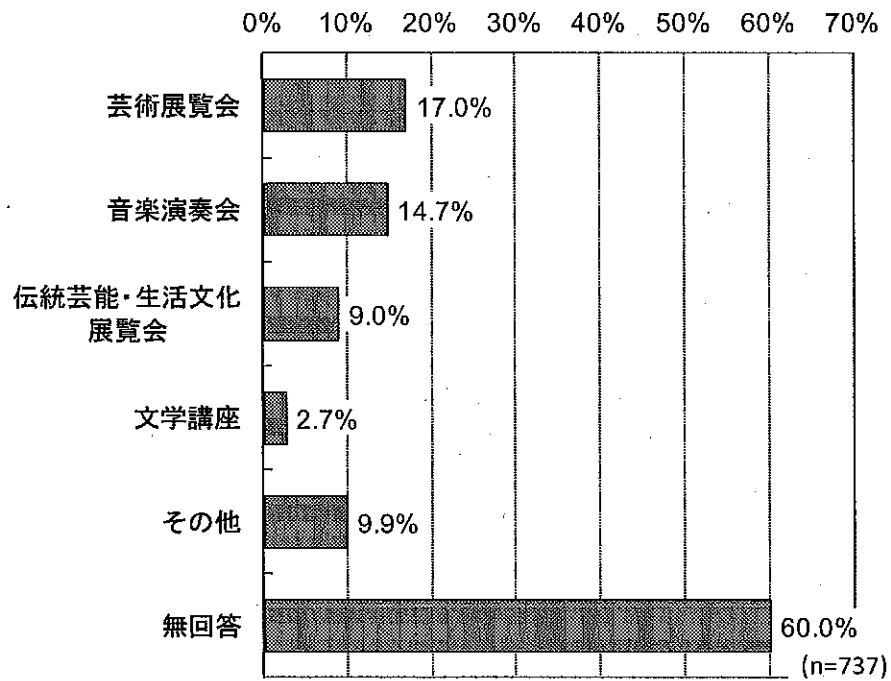
		調査数	広報いばらき	チラシ・ポスター	市・関連団体のホームページ	Twitter・Facebook	新聞・雑誌	テレビ・ラジオ	その他	無回答
全 体		737	84.3	53.2	23.2	7.3	25.9	13.3	4.1	4.5
年齢別	20 歳代	69	69.6	55.1	23.2	36.2	13.0	18.8	2.9	1.4
	30 歳代	90	83.3	66.7	37.8	8.9	15.6	14.4	7.8	3.3
	40 歳代	92	80.4	53.3	22.8	12.0	26.1	8.7	6.5	1.1
	50 歳代	125	81.6	56.8	25.6	5.6	34.4	20.0	4.0	5.6
	60 歳代	143	93.0	53.8	33.6	1.4	22.4	6.3	4.9	2.1
	70 歳以上	192	88.5	44.8	9.9	0.5	31.8	12.0	1.6	6.8
職業別	自営業（農家等含む）・会社経営	85	82.4	37.6	25.9	7.1	32.9	16.5	3.5	4.7
	正社員・正職員	212	76.4	55.2	29.2	11.3	27.8	15.6	7.5	3.8
	パートタイム・アルバイト	87	89.7	62.1	32.2	6.9	13.8	6.9	2.3	2.3
	派遣社員・契約社員	24	87.5	62.5	29.2	12.5	41.7	8.3	8.3	0.0
	家事専従	102	95.1	61.8	15.7	5.9	19.6	13.7	2.0	2.9
	学生	10	60.0	60.0	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	無職（家事専従・学生のぞく）	183	88.5	49.7	17.5	1.6	28.4	11.5	2.7	4.9
地域別	山地部	60	88.3	43.3	13.3	0.0	26.7	10.0	1.7	8.3
	丘陵部	93	86.0	49.5	28.0	9.7	17.2	16.1	4.3	4.3
	周辺部 1	118	79.7	56.8	26.3	11.0	25.4	11.0	6.8	3.4
	中心部	288	84.4	55.6	25.0	7.3	27.8	13.9	3.5	3.1
	周辺部 2	137	89.1	54.7	22.6	5.8	26.3	10.9	5.1	3.6

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

5) 市の演奏会・美術展等への参加経験

市の主催する演奏会・美術展等への参加経験として、「芸術展覧会」(17.0%)が最も多く、「音楽演奏会」(14.7%)、「伝統芸能・生活文化展覧会」が続く。

図表 II-58 市の演奏会・美術展等への参加経験(複数回答)



年齢別にみると、「芸術展覧会」の割合は60歳代以上では市全体よりも高くなっているのに対し、20歳代は最も低くなっている。

図表 II-59 市の演奏会・美術展等への参加経験(属性別)

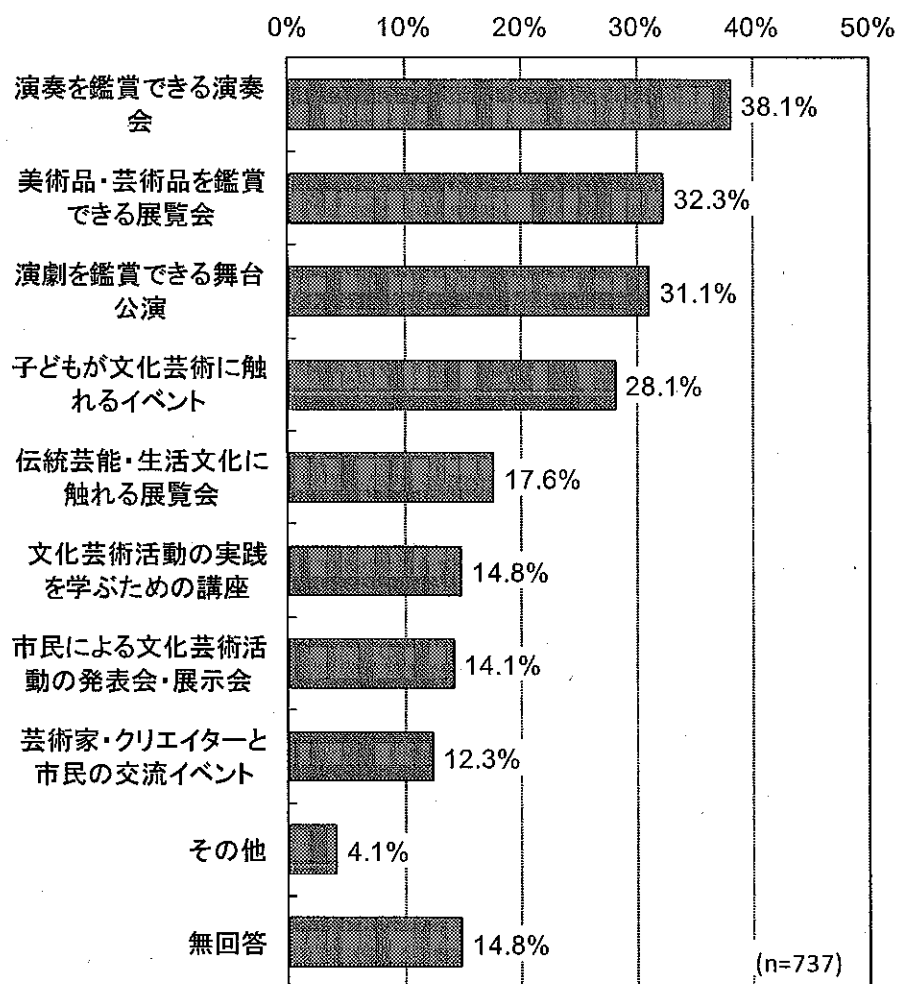
		調査数	芸術展覧会	展覧会 伝統芸能・生活文化	音楽演奏会	文学講座	その他	無回答
全 体		737	17.0	9.0	14.7	2.7	9.9	60.0
年 齢 別	20歳代	69	2.9	0.0	5.8	0.0	11.6	81.2
	30歳代	90	13.3	4.4	8.9	0.0	6.7	72.2
	40歳代	92	10.9	5.4	10.9	0.0	8.7	70.7
	50歳代	125	10.4	6.4	12.8	1.6	13.6	59.2
	60歳代	143	28.0	12.6	22.4	2.8	9.1	48.3
	70歳以上	192	22.4	15.6	17.7	6.3	9.9	51.0
職 業 別	自営業（農家等含む）・会社経営	85	22.4	14.1	15.3	4.7	7.1	52.9
	正社員・正職員	212	8.5	4.7	9.9	0.5	11.3	69.8
	パートタイム・アルバイト	87	13.8	9.2	11.5	1.1	10.3	64.4
	派遣社員・契約社員	24	20.8	8.3	37.5	4.2	16.7	37.5
	家事専従	102	23.5	9.8	12.7	2.0	5.9	57.8
	学生	10	0.0	0.0	10.0	0.0	30.0	60.0
地 域 別	無職（家事専従・学生のぞく）	183	22.4	12.0	18.6	4.9	9.8	54.1
	山地部	60	21.7	16.7	6.7	3.3	13.3	58.3
	丘陵部	93	11.8	5.4	17.2	2.2	8.6	65.6
	周辺部1	118	16.1	11.0	11.9	0.0	5.1	66.1
	中心部	288	18.1	8.7	15.6	3.8	11.8	55.9
	周辺部2	137	18.2	8.0	16.8	2.2	10.2	57.7

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

6) 開催を希望するイベント

今後開催してほしいイベントとして、「演奏を鑑賞できる演奏会」(38.1%)が最も多く、「美術品・芸術品を鑑賞できる展覧会」(32.3%)、「演劇を鑑賞できる舞台公演」(31.1%)が続く。

図表 II-60 開催を希望するイベント(複数回答)



年齢別にみると、「美術品・芸術品を鑑賞できる展覧会」の割合は50歳代・60歳代が高くなっている。一方、「子どもが文化芸術に触れるイベント」では20歳代・30歳代が高くなっているのに対し、50歳代以上は市全体より低くなっている。

図表 II-61 市の演奏会・美術展等への参加経験(属性別)

	調査数	美術品・芸術品を鑑賞できる展覧会	伝統芸能・生活文化に触れる展覧会	演奏会・演奏を鑑賞できる演奏	台公演・演劇を鑑賞できる舞	活動の市民による文化芸術発表会・展示会	文化芸術活動の実践を学ぶための講座	子どもが文化芸術に触れるイベント	アーティスト・市民の交流イベント	その他	無回答
全 体	737	32.3	17.6	38.1	31.1	14.1	14.8	28.1	12.3	4.1	14.8
年 齢 別											
20歳代	69	17.4	11.6	42.0	29.0	7.2	13.0	53.6	13.0	4.3	7.2
30歳代	90	21.1	10.0	27.8	38.9	12.2	25.6	53.3	20.0	1.1	6.7
40歳代	92	25.0	10.9	44.6	37.0	12.0	18.5	31.5	12.0	3.3	12.0
50歳代	125	43.2	17.6	43.2	40.8	9.6	17.6	20.8	12.8	7.2	10.4
60歳代	143	43.4	22.4	42.7	27.3	20.3	9.8	16.8	14.0	2.8	14.0
70歳以上	192	31.8	22.4	32.8	23.4	17.2	10.4	18.2	7.3	4.7	24.5
職 業 別											
自営業（農家等含む）・会社経営	85	30.6	21.2	24.7	21.2	18.8	18.8	22.4	11.8	1.2	22.4
正社員・正職員	212	29.7	17.0	41.0	37.7	9.9	18.4	31.6	13.2	4.7	9.4
パートタイム・アルバイト	87	29.9	13.8	36.8	40.2	9.2	17.2	31.0	14.9	2.3	9.2
派遣社員・契約社員	24	37.5	12.5	50.0	41.7	25.0	16.7	37.5	16.7	8.3	12.5
家事専従	102	35.3	15.7	48.0	31.4	21.6	7.8	34.3	9.8	3.9	14.7
学生	10	20.0	10.0	40.0	20.0	10.0	10.0	30.0	20.0	20.0	10.0
無職（家事専従・学生のぞく）	183	35.5	20.8	36.6	24.6	14.2	12.0	18.6	10.4	4.4	19.1
地 域 別											
山地部	60	23.3	25.0	18.3	28.3	18.3	6.7	15.0	15.0	6.7	28.3
丘陵部	93	29.0	14.0	39.8	31.2	16.1	16.1	35.5	9.7	4.3	9.7
周辺部1	118	33.1	15.3	36.4	34.7	10.2	11.9	33.9	15.3	4.2	13.6
中心部	288	35.4	18.4	41.0	32.6	14.6	16.7	27.4	12.2	4.5	10.8
周辺部2	137	33.6	17.5	43.1	31.4	14.6	15.3	26.3	10.9	1.5	17.5

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜き、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

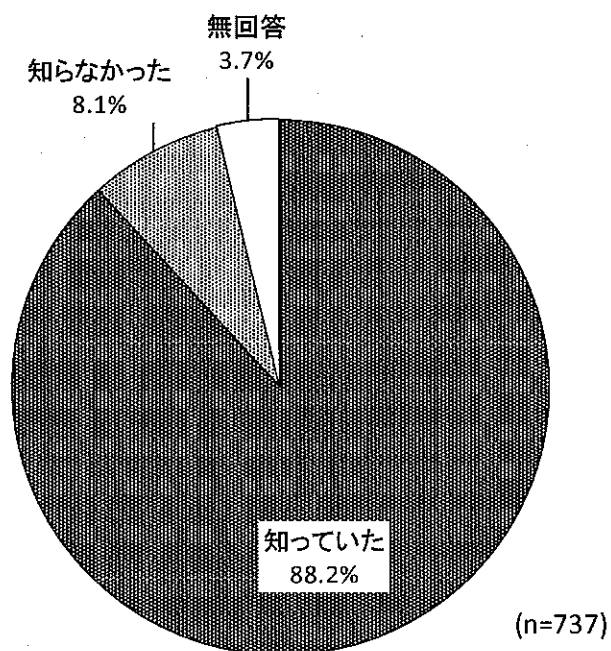
⑦ 茨木市の文化芸術に関する地域資源

茨木市が川端康成ゆかりの地であることは約9割の方が認知し、約7割の方が川端作品の読書経験があった。南茨木駅前に設置しているサン・チャイルドについては、約半数の方は見たことがあると回答したが、名称を含めて知っている方は2割強に留まった。

1) 川端康成ゆかりの地であることの認知度

茨木市が川端康成のゆかりの地であることについて、88.2%の回答者が認知していた。

図表 II-62 川端康成のゆかりの地であることの認知度



「知らなかった」の割合は、年齢別にみると20歳代が高く、職業別にみると学生が高くなっている。

図表 II-63 川端康成のゆかりの地であることの認知度(属性別)

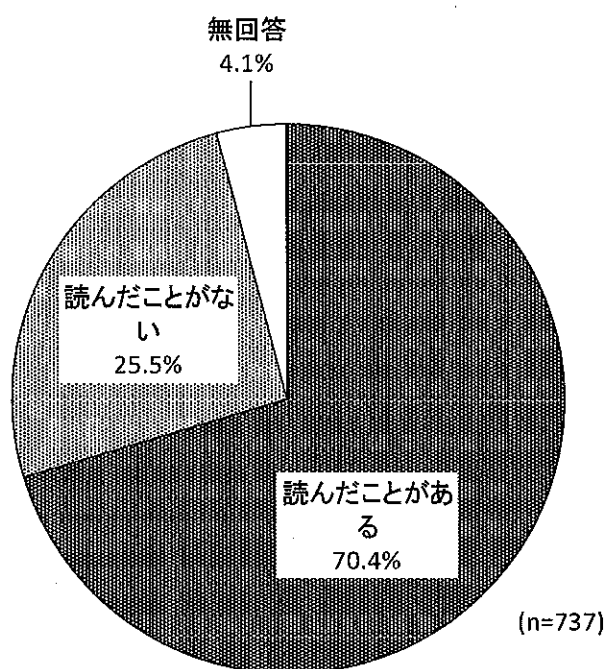
		調査数	知っていた	知らなかった	無回答
	全 体	737	88.2	8.1	3.7
年 齢 別	20歳代	69	66.7	33.3	0.0
	30歳代	90	91.1	8.9	0.0
	40歳代	92	95.7	4.3	0.0
	50歳代	125	95.2	4.0	0.8
	60歳代	143	97.2	2.8	0.0
	70歳以上	192	89.1	7.8	3.1
職 業 別	自営業(農家等含む)・会社経営	85	89.4	7.1	3.5
	正社員・正職員	212	90.1	9.9	0.0
	パートタイム・アルバイト	87	94.3	5.7	0.0
	派遣社員・契約社員	24	87.5	12.5	0.0
	家事専従	102	94.1	5.9	0.0
	学生	10	40.0	60.0	0.0
	無職(家事専従・学生のぞく)	183	91.8	6.0	2.2
地 域 別	山地部	60	86.7	10.0	3.3
	丘陵部	93	84.9	15.1	0.0
	周辺部1	118	88.1	11.0	0.8
	中心部	288	93.4	5.6	1.0
	周辺部2	137	96.4	3.6	0.0

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜字、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

2) 川端作品の読書経験

川端康成の作品について、70.4%の回答者に読書経験があった。

図表 II-64 川端作品の読書経験



年齢別にみると、「読んだことがある」の割合が 40 歳代以上では市全体よりも高くなっている。

図表 II-65 川端作品の読書経験(属性別)

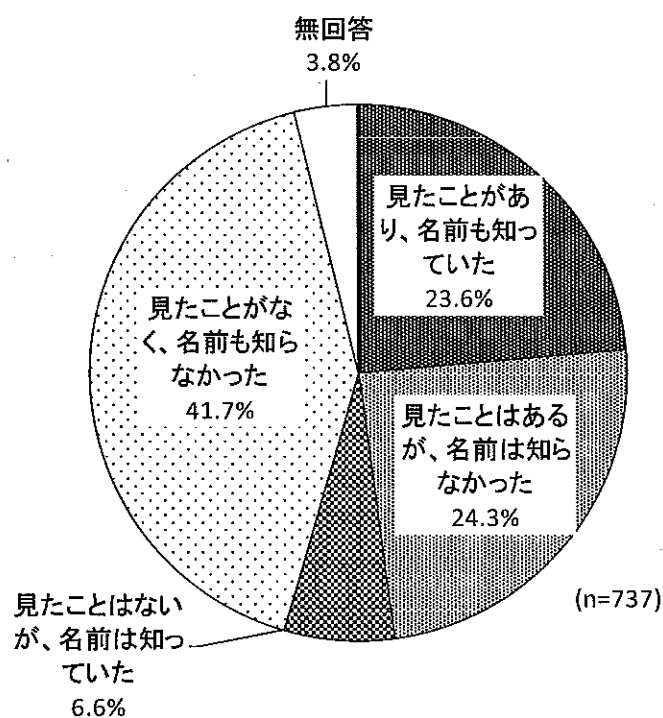
		調査数	読んだことがある	読んだことがない	無回答
全 体		737	70.4	25.5	4.1
年 齢 別	20歳代	69	37.7	62.3	0.0
	30歳代	90	63.3	36.7	0.0
	40歳代	92	73.9	26.1	0.0
	50歳代	125	82.4	16.0	1.6
	60歳代	143	81.1	18.2	0.7
	70歳以上	192	74.5	21.9	3.6
職 業 別	自営業（農家等含む）・会社経営	85	67.1	28.2	4.7
	正社員・正職員	212	68.4	31.6	0.0
	パートタイム・アルバイト	87	75.9	23.0	1.1
	派遣社員・契約社員	24	75.0	25.0	0.0
	家事専従	102	77.5	21.6	1.0
	学生	10	30.0	70.0	0.0
	無職（家事専従・学生のぞく）	183	76.5	21.3	2.2
地 域 別	山地部	60	65.0	30.0	5.0
	丘陵部	93	67.7	31.2	1.1
	周辺部1	118	72.9	26.3	0.8
	中心部	288	76.0	22.6	1.4
	周辺部2	137	73.7	26.3	0.0

（注）全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜字、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

3) サン・チャイルドの認知度

南茨木駅前に設置されているヤノベケンジ氏の作品「サン・チャイルド」について、見たことがある（「見たことがあり、名前も知っていた」＋「見たことはあるが、名前は知らなかった」の計）回答者は 47.9%であった。

図表 II-66 サン・チャイルドの認知度



年齢別にみると、見たことがある(「見たことがあり、名前も知っていた」+「見たことはあるが、名前は知らなかった」の計)割合は40歳代が69.5%と最も高く、見たことがない(「見たことはないが、名前は知っていた」+「見たことがなく、名前も知らなかった」の計)割合は70歳以上が65.1%と最も高い。

図表 II-67 サン・チャイルドの認知度(属性別)

		調査数	前も見たことがあり、名前も知っていた	名前も知っていたが、見たことはあるが、名前を知らなかった	名前も知っていないが、見たことはあるが、名前を知らなかった	前も見たことがなく、名前も知らなかった	無回答
	全 体	737	23.6	24.3	6.6	41.7	3.8
年 齢 別	20歳代	69	20.3	26.1	8.7	44.9	0.0
	30歳代	90	27.8	41.1	3.3	27.8	0.0
	40歳代	92	38.0	31.5	6.5	23.9	0.0
	50歳代	125	33.6	20.0	2.4	43.2	0.8
	60歳代	143	23.8	22.4	7.0	46.2	0.7
	70歳以上	192	12.0	19.8	10.9	54.2	3.1
職 業 別	自営業(農家等含む)・会社経営	85	27.1	20.0	10.6	37.6	4.7
	正社員・正職員	212	29.2	27.4	3.3	40.1	0.0
	パートタイム・アルバイト	87	33.3	29.9	4.6	32.2	0.0
	派遣社員・契約社員	24	45.8	16.7	0.0	37.5	0.0
	家事専従	102	20.6	24.5	10.8	43.1	1.0
	学生	10	30.0	0.0	10.0	60.0	0.0
地 域 別	無職(家事専従・学生のぞく)	183	12.6	25.1	9.3	51.9	1.1
	山地部	60	8.3	10.0	10.0	66.7	5.0
	丘陵部	93	16.1	26.9	10.8	46.2	0.0
	周辺部1	118	15.3	22.9	8.5	53.4	0.0
	中心部	288	26.7	28.8	5.6	38.2	0.7
	周辺部2	137	42.3	27.0	5.1	24.8	0.7

(注) 全体よりも10ポイント以上高い回答を網掛け白抜字、10ポイント以上低い回答を薄い網掛けとしている。

⑧ 自由意見

(文化芸術施策の方針)

- ・先に能、雅楽、文楽を挙げましたが…。茨木市といえば〇〇と言われるような、施設と文化活動があればよいと思います。能などを挙げたのは、上方の文化として危機的な状態にあると聞くからです。担い手の育成期間や市民への啓発機関を設けることも必要に思います。あれこれ手を出すのは、(例えば)お隣の高槻市等にまかせては…?
- ・気軽に文化芸術に親しめるようにしていただきたいと思う。施設に行くのではなく、街の道路や壁に貼るだけでもよいと思う。また、子供の時から親しめるようにしないといけないのではないかなと思う。私の娘が小学時代は、文化芸術の情報に関わっていたが、小学校を卒業し、茨木市外の中学・高校・大学へ行くようになってから、茨木市の情報に疎くなりました。現在、摂津の公民館を利用する機会があるが、摂津市の方がいろいろなイベントをやっていると感じる。茨木市は格式にこだわりすぎる印象を受ける。
- ・文化芸術(スポーツ等も含む)に関心を抱くには、超一流に触れる機会を作り、本当の驚きと感動することが大切だと思う。それなりに費用は発生すると思うが、少しでも手軽に触れる機会を作っていただければと思う。
- ・ホールの建設・活動・行事のことは専門家と話し合っ、て、よりよい物を作っ、て下さい。できれば世界的に活躍されている建築家や芸術家の意見を！茨木市民だけで頭をつきあわせていてもだめだと思います。それから小さいうちからレベルの高い芸術教育をしていくことが、茨木の文化水準を上げることになると思います。わざわざ他市から足を運んでもらえるくらいの文化施設を作ることが市民の利益にもつながると思います。一方で、レベルの低い中途半端な文化芸術の振興ならいらないと思っています。幸い茨木は30分もあれば京都・大阪市内・神戸などで質の高い芸術に出会える施設に出かけられますから。もっと別のこと(市民の安全を守ることがら)に力を入れていただく方がよいです。
- ・せっかく「茨木」の名の市なのだから、古典の「茨木」に関する資料・研究を充実させ、さらに関連地域との文化交流を図り、古典芸能の保存から、現代でのリメイク創作へと展開するなど本腰で文化芸術振興に取り組んでほしい。子供向けの「茨木童子」のキャラクターを作っても、「茨木童子」そのものにまで踏み込めていない。現代にも通ずるテーマなので、充分文化発信のテーマとなりうると思う。具体例として「茨木賞」を創設して、すぐれた研究を支援したり、市内の高校・大学の演劇関連のクラブなどにアピールして、創作と能の対比公演をしたり、色々と展開できると思います。
- ・茨木市の雰囲気から、高尚な芸術よりも生活に根ざす文化という形ですすめるのが費用の面でも市民の満足の点でもよいのではないかと思います。
- ・問2と問11と問12は「漫画・アニメーション」にチェックしましたが、漫画とアニメーションにはあまり手を出さない方がよいのではないかと思います。東京や大阪市内で優れたイベントが山のようにあるので、そういった方面に興味がある人は、どうしてもそちらに流れてしまいますし。
- ・文化芸術施策・施設ともにすべて中途半端だと思います。文化芸術を政策として行うのであれば、単独の市町村ではなく、近隣の自治体が協定を結んで取り組んだほうが効率的で効果があると思います。茨木市だけで何とかしようという考えは無駄な経費がかかるだけだと思います。

(文化芸術施設、施設運営)

- ・将来に残す必要性のある文化もあると思うが、収支の運営も大切だと感じている。

- ・無駄な施設が多すぎる。子供が多い中、自由に文化に親しめる施設が少ない。市の従業員の対応が悪すぎるため、リピートで来る人が少ない。吹田、摂津、高槻などに行く人が多く、茨木の中で行っている人は少ない。無駄な費用を使いすぎ(サン・チャイルドも何の目的であるのか分からない。)(名前よりも目的である)

(事業内容)

- ・若い年代の人達や子どもが興味を持てるようなイベントをしてほしい。
- ・市美術展など、参加者が高齢者ばかりという感がある。もっと若い人に参加してもらうための施策が必要と思う。
- ・催しを行う時は、出かけやすい平日 10～16 時の間にしていだければと思う。でないと行きたくても、あきらめないといけない。
- ・演劇のワークショップの講座を開いてほしい。市が開催している文化に関する講座は平日の日中ばかりで、普段働いている人は行きたくても行けない。だから、土・日とか、平日でも夜間にするとか、もっと時間を考えてほしい。
- ・私は、音楽や演劇など鑑賞することや実践することが好きです。なので、いつも茨木市の広報やチラシをチェックしています。けれど取り扱っている文化の幅が狭く、なかなか興味をもてるものに出会えず、残念に思っています。近くでは、吹田メシアターや高槻現代劇場に出向くことが多く、これ(内容)が茨木であつたらなあと思うことも多いです。また、メシアターのように、月の予定などが一覧になってインターネットなどで見れると、興味のあるものを見に行けるなどと思います。また、茨木市内の文化団体も長い目で育ててもらえるような制度があればと思う。
- ・学校の先生に負担をかけない形で、地域在住の人と小中高生が一緒になって取り組める様なイベントをしてもらいたいことと、そのイベントに文化芸術性があれば予算の援助がほしい。
- ・施設に期待している。若者も参加できるイベントを多くしてほしい。
- ・茨木市民会館を今後どうされますか。公演・コンサートをしてほしいと思います。
- ・市民も参加できる(発表とか)施設になれば地域の活性化につながると思う。同じ趣味同士が集まって活動できるようにしたいと思う。そういう場を提供することも大事だと思う。
- ・季節に応じたイベントがあり、充実感があります。ただ市民会館大ホール等の活用が、やや少ない気がするので、少しでも増やしたらどうかな?と思います。
- ・絵を自由にかける場所の充実。例:公園・名所の中にイス・机等があればよいのではないか。
- ・JR 茨木駅前に川端康成の銅像を設置するという発想はどうですか。元茨木川の緑地を更に整備して彫刻などを設置し、野外美術館風にするという発想はどうですか。
- ・たまに広報紙に行ってみたい文化講座などがある。しかし、平日の昼間に設定されていることが多く、役所は老人・子供・主婦を相手にだけ仕事をしているのかと思う。社会人にももっと門戸を広げていただきたい。あと、野外彫刻は趣味が悪いと思う。つくらない方がよかった。
- ・陶芸・手芸・押し花・書道・絵画・生花・茶道・着付等の講座の充実。それらを発表するイベント開催。川端康成さん等の企画展。建物等を巡るツアー。私は平日が仕事なので、週末にも講座・イベントをしてほしいです(アンケートは、1つだけとか、3つだけとか、アンケートしづらかったです)。
- ・文化芸術等にふれる“きっかけ”が欲しい。
- ・小さな子供も参加して楽しめる施設があればと思う。冬のイルミネーションはきれいと思うが、数年前のハスの花はさすがにどうかと思った。

- ・市の全ての施設を利用したことはありませんが、ある催しをやった折、託児コーナーのスペースがもう少し欲しいとか、貴重品の管理で人が要らない様なロッカーがあればと思ったことがあります。
- ・近來南茨木駅付近の人口が増加しているのに、そういう施設はほとんどない。
- ・文化芸術施策・文化芸術施設等も大切かもしれないが、生活や福祉を充実させてほしい。
- ・中学生のブラバンなどがバラ園や夏祭りで演奏していてとても心温まります。いろんな大学や他の地域からも呼んで、違ったメンバーやジャズなども屋外で無料で聞ける「町かどコンサート」みたいなのを増やしてほしい！！

（サン・チャイルド）

- ・南茨木駅前サン・チャイルドは大きすぎて、あの場所には合わない。評判は良くない。せつかくの駅前が台無しとの意見が多い。
- ・子供達に本物の音楽や劇を見せてやりたいが、入場料が高いため、なかなか家族で参加しにくい。将来を担う子供達に芸術により感性を高めてほしいと思う。サン・チャイルドについては、駅の景観をかなり損ねて、車・タクシーのりばの見通しも悪くなり、事故が起きそうな時もある。放射能への…主旨はわかるが、何故駅前なのか。万博広場とか広いところなら良かったと思う。南茨木市民は誰も、もう見上げることなく、かなりうんざりしている。南茨木の方々はおとなしいので誰も批判することなく過ごされていると思う。設置場所に問題があると思う。ロータリーの見通し、見直して下さい。ターミナル場所に設置し、せつかくの文化的価値を喪失させていると思う。事故起こってからでは遅い。
- ・南茨木駅前の「サン・チャイルド」。文化に親しめる憩いの場とのこと。でも車が多く空気が悪く、とても憩いの場とは違うように思われる。ロータリーになっていて、どこで休めるのか疑問。
- ・南茨木駅前の「サン・チャイルド」はちっとも良くない。かわいくもない。他市の人からも「何あれ？」と疑問をぶつけられる。茨木童子を建ててくれた方がよっぽど良かった。意味がわからない。もっとかわいいキャラクターマスコット作って下さい。
- ・サン・チャイルドについて。これは面白く、よいことだと思います。
- ・「サン・チャイルド」は必要ない。芸術的なセンスが感じられない。見るたびに、どうしてこんな物が出来てしまったのか、以前の方が良かったと暗い気持ちになる。市民の税金で設置していると思うので、もっと誰にでも受け入れられるセンスのよい物にしてほしい。南茨木の品性が落ちてしまい、大変残念である。
- ・南茨木駅前の「サン・チャイルド」ですが、好みはあると思いますが、作家の名前だけで選んでいないでしょうか。お金をかけるのですから、市民がもっとよかったと思えるものがあつたのではないかと思います。

（他都市との比較など）

- ・文化・芸術施設のみだけでなく、病院、特に大学病院等の建物もなく、他の市よりも、特に高槻市・吹田市よりも劣っている。

（広報、PR）

- ・茨木市に関しての情報は回覧板と茨木広報のみ。遅れて回覧される場合もあった。
- ・広報にチラシを挟み込むなど、幅広い方に告知が必要。保育園・幼稚園・小学校への配布など、子供が芸術・文化・音楽に触れる機会を増やしてほしい。
- ・広報に力を入れて、施策や施設がよく伝わるようにされることを希望いたします。そうしていただくと市民の芸術文化に力を入れたいという雰囲気や気運が高まっていくように感じます。

- ・定年してから時間ができて、広報「いばらき」をじっくり読むようになり、色々と文化芸術活動を行っている事が認識できるようになりました。やりたいと意欲を持てば何でもできそうな施策・施設があり素晴らしいと思います。娘達はうまく利用しているみたいです。
- ・情報が少ない。駅前に施設があると、便利で多くの人に見てもらえる。市役所の玄関の展示を広くしてほしいです。
- ・私は90歳を超えた本人の子供の代理で、この回答を書かせていただきました。市民のために文化芸術等を発展させたい気持ちは伝わってきております。いろいろな施設、それを利用したイベントを多く行っておられる事を私が知らなかったです。こんなに素晴らしいことがあるならば、是非参加したいと思います。広く皆に知ってもらう方法を検討していただくようお願いします。
- ・働き始めてから茨木市に住んでいます。とても住みやすく、これからも住んでいきたいまちです。このアンケートが届き、文化芸術への取り組みを知り、市内施設へ様々な演奏会や展示会へと行ってみたいと興味を持ちました。広報で知らせていただいています、日程が先だとなつい行きそびれてしまいます。“ツイッターで知らせる”というのは、よく利用しているので分かりやすいです。

(その他)

- ・以前住んでいた所から5年ほど前に移り住んだが、まだ市の文化芸術に関する事に参加したことがない。若い世代も楽しめる様な感じになると、もっと参加しようと思う。
- ・生活の豊かさを反映すると思う。文化芸術など言っている場合ではない。毎日の生活がいっぱいいっぱいで、そんな余裕なんかない、という人達に対し、どのように考えているのか。このアンケートで何がわかるのか疑問。これに税金を使っているのですよね。
- ・介護しているため出かけられない。
- ・引っ越してきたばかりで、まだ知らない施設が多いことがわかったので、これから利用していきたい。衛生面は重要なので、お手洗い等が清潔かどうかで今後の利用頻度も変わると思う。
- ・人からよく聞かされるのが発表会・展示会等の選考者が知人・友人を選ぶ等、コネがあればお得という話です。事実かどうかより、あまりによく聞くその話のせいで制作意欲が失せる人も少なくないかも知れません。
- ・税金で充実させるのであれば必要だと思わない。
- ・現在は「動」スポーツを中心に活動。時々、映画を見聞している状況です。今後、才を取り「静」(文化芸術)の活動に変わると思います。アンケート結果の発表時期・媒体を広報で知らせて下さい。

3. 学校アンケート調査

(1) 実施概要

市内の児童・生徒の文化芸術活動の実施状況や、市の文化振興施策に対するニーズを把握し、文化振興ビジョン策定の基礎資料とするため、学校アンケート調査を実施する。

学校アンケート調査の実施概要は次の通りである。

図表 II-68 学校アンケート調査の実施概要

【調査対象】	茨木市内の小学5年生、中学2年生(計 1036 名) (小学校 10 校(520 名)・中学校 14 校(516 名))
【調査方法】	学校を通じて配布・回収
【調査項目】	市民アンケート調査項目と同様(ただし、表現・分量等は簡略化する)
【有効回答数】	970 票

(2) 調査結果

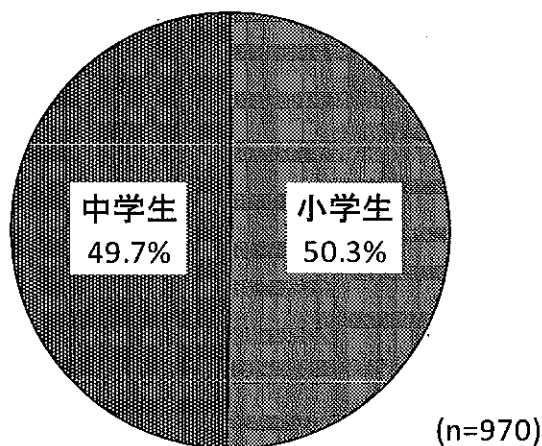
① 回答者の基本属性

学校アンケート調査回答者の基本属性は次の通りである。

1) 小学生・中学生の割合

小学生・中学生の割合は以下の通りである。

図表 II-69 小学生・中学生の割合



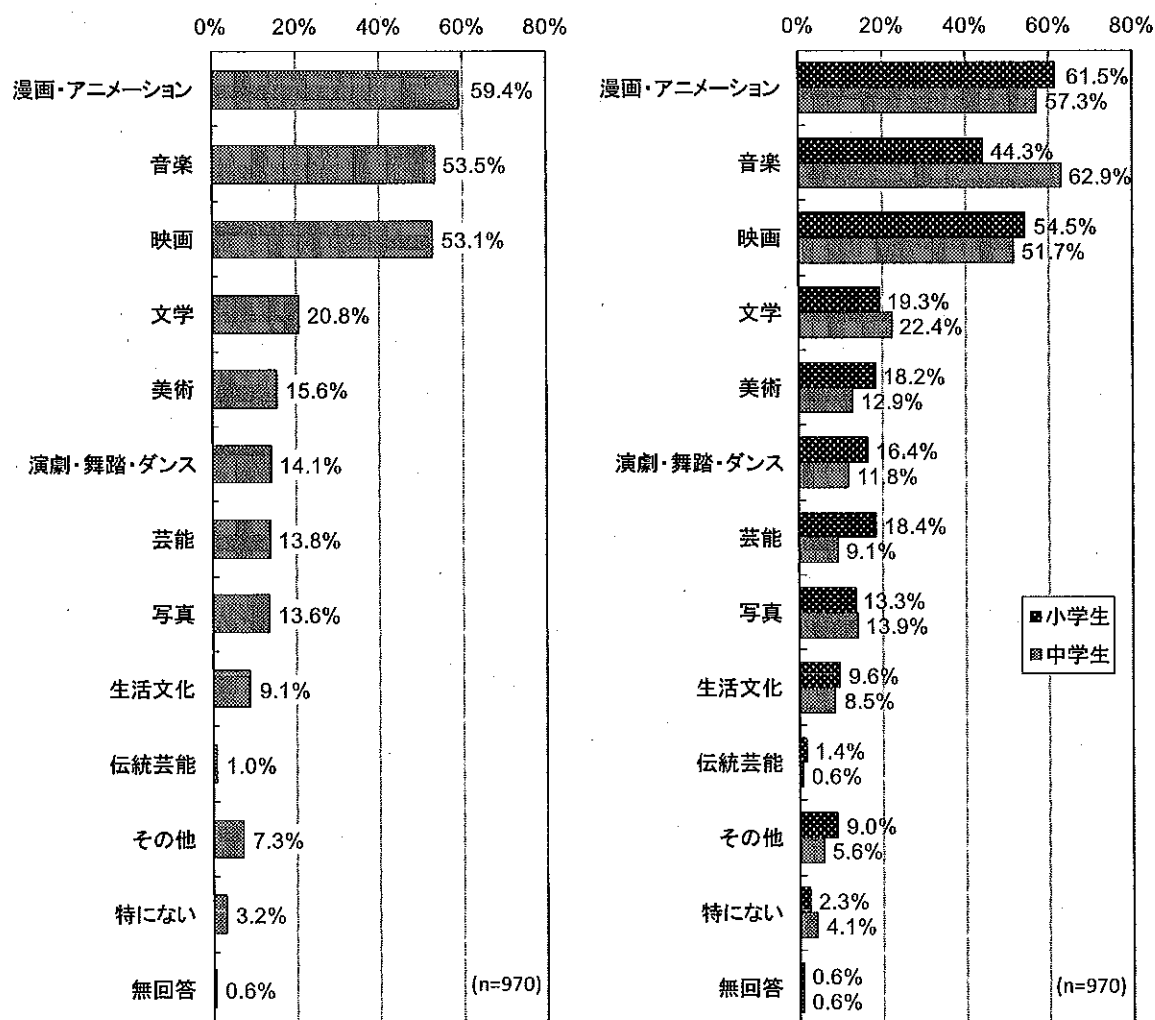
② 文化芸術全般

1) 関心のある文化芸術

関心のある文化芸術分野として、「漫画・アニメーション」(59.4%)が最も多く、「音楽」(53.5%)、「映画」(53.1%)、「文学」(20.8%)が続く。「特にない」という回答は 3.2%しかなく、児童・生徒のほとんどは何らかの文化芸術に関心を持っていると言える。

小学生・中学生別にみると、「音楽」で中学生の割合が小学生の割合を大きく上回っている。

図表 II-70 関心のある文化芸術分野(複数回答)



③ 文化芸術の鑑賞

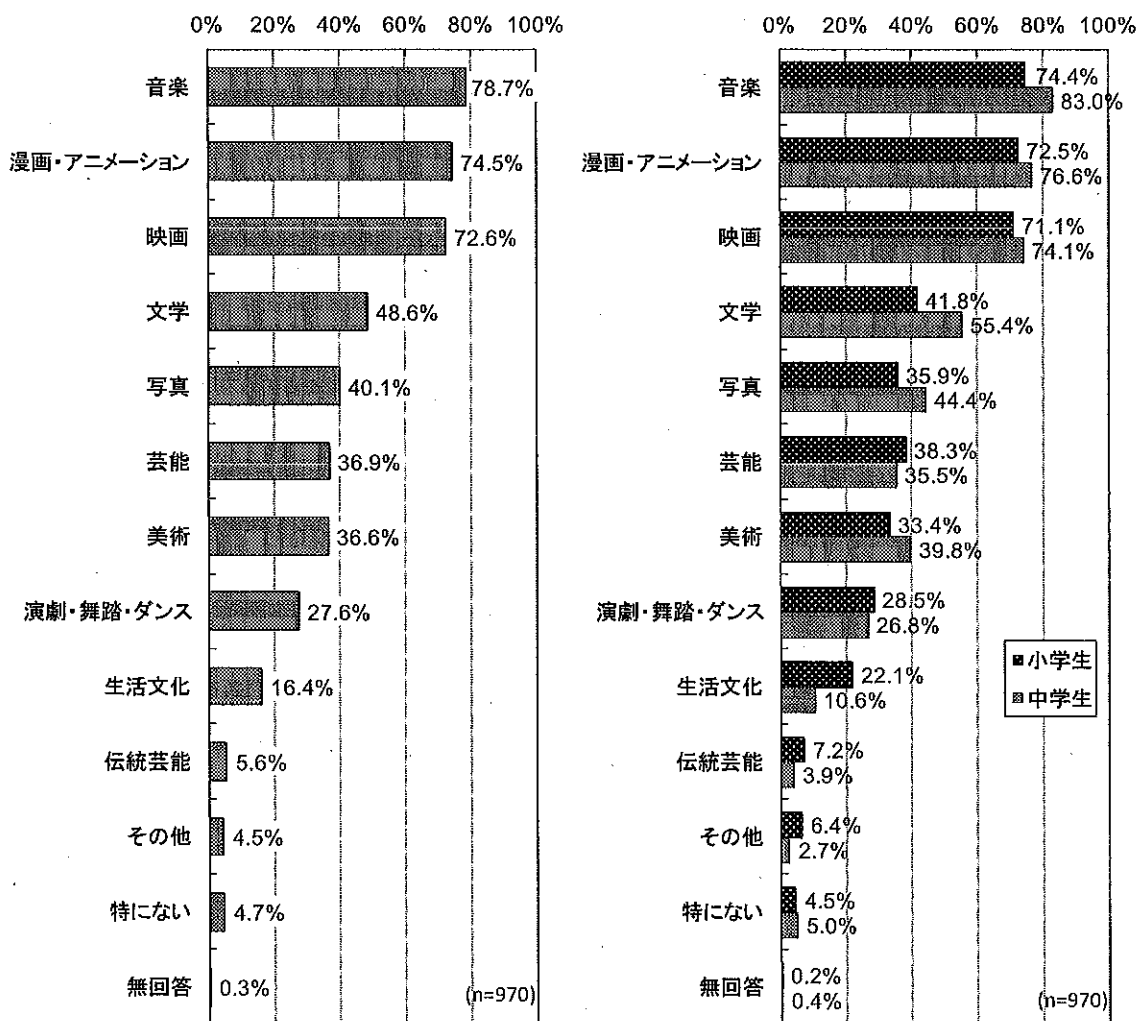
最近鑑賞した文化芸術の分野では「音楽」が最も高く、「漫画・アニメーション」・「映画」が続いている。また、今後鑑賞したい文化芸術分野では「映画」が最も高く、「音楽」・「漫画・アニメーション」が続いている。

1) 文化芸術の鑑賞分野

最近鑑賞した文化芸術の分野としては、「音楽」(78.7%)が最も多く、「漫画・アニメーション」(74.5%)、「映画」(72.6%)が続く。

小学生・中学生別にみると、「文学」で中学生の割合が小学生の割合を大きく上回っており、「生活文化」では逆に小学生の割合が中学生の割合を上回っている。

図表 II-71 文化芸術の鑑賞分野(複数回答)

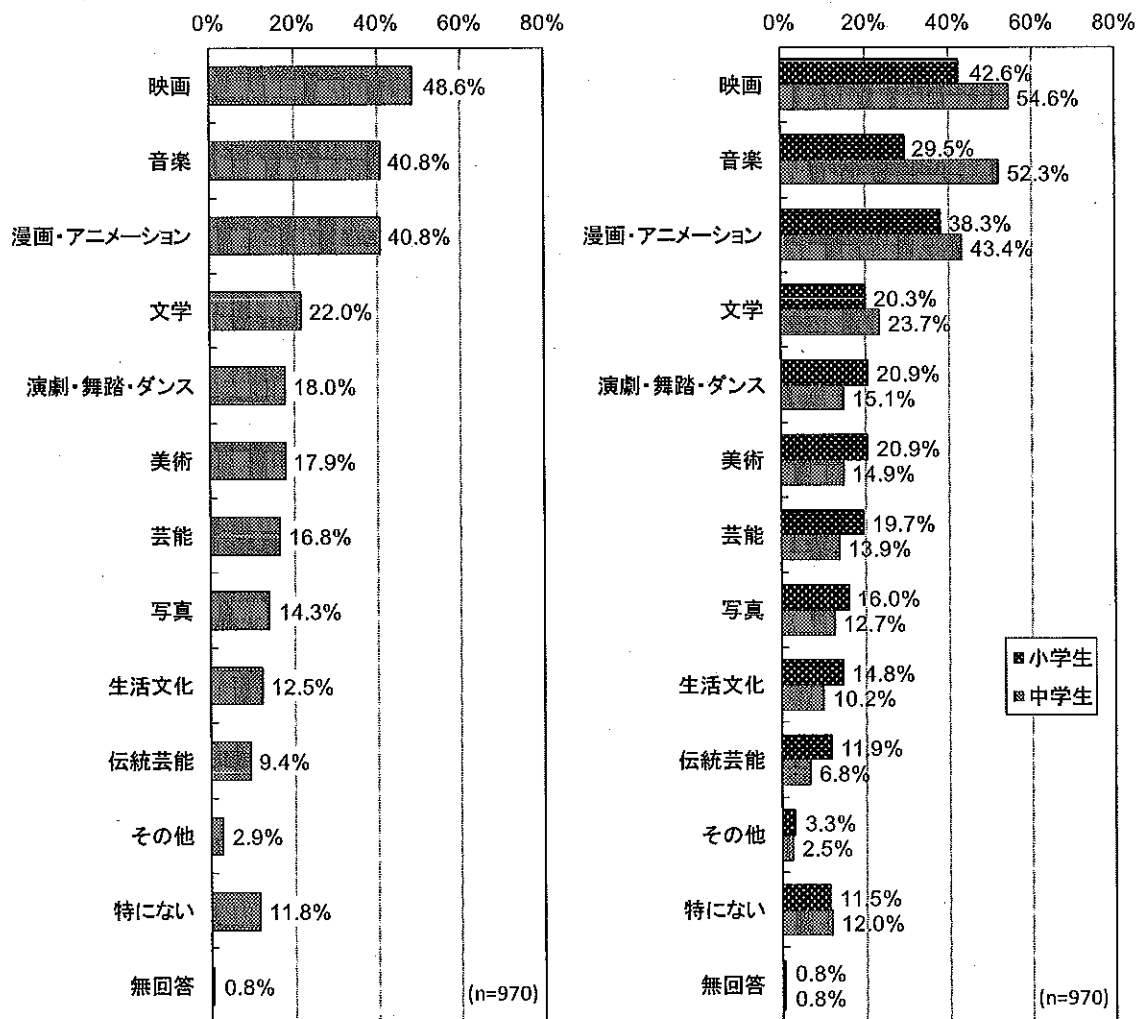


2) 今後鑑賞したい文化芸術分野

今後鑑賞したい文化芸術分野として、「映画」(48.6%)が最も多く、「音楽」「漫画・アニメーション」(ともに 40.8%)が続く。

小学生・中学生別にみると、「映画」、「音楽」で中学生の割合が小学生の割合を大きく上回っている。

図表 II-72 今後鑑賞したい文化芸術分野(複数回答)



④ 文化芸術の実践

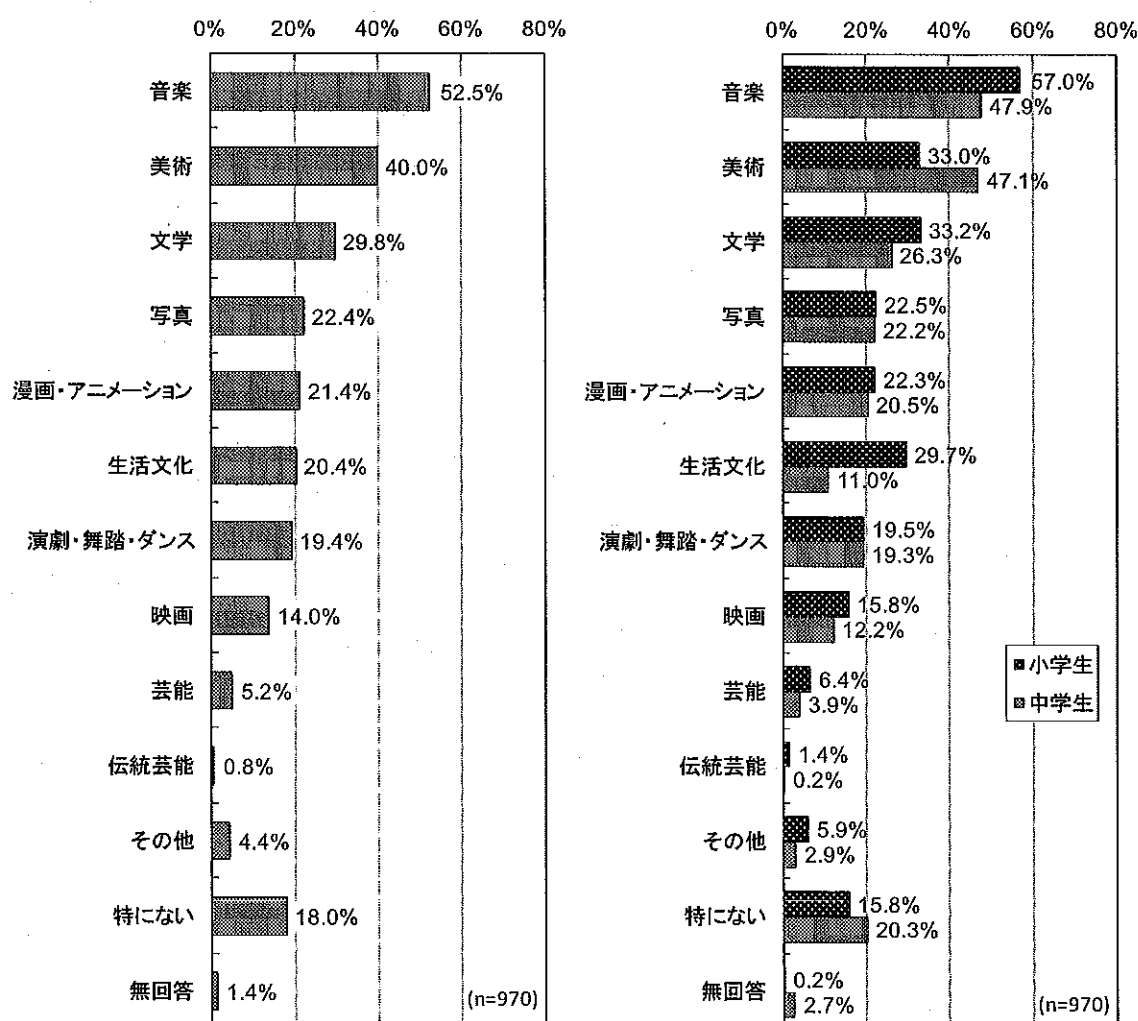
最近実践した文化芸術の分野としては「音楽」が最も多く、「美術」・「文学」が続いている。また、今後実践したい文化芸術分野では「音楽」が最も多く、「漫画・アニメーション」・「映画」が続いている。授業で実践したいものとしては「自分で文化的な活動をしたり、芸術作品を作りたい」が最も多く回答されている。

1) 文化芸術の実践分野

最近実践した文化芸術の分野として、「音楽」(52.5%)が最も多く、「美術」(40.0%)、「文学」(29.8%)が続く。

小学生・中学生別にみると、「音楽」では小学生の割合が中学生の割合を上回っているが、「美術」では中学生の割合が小学生の割合を上回っている。

図表 II-73 文化芸術の実践分野(複数回答)

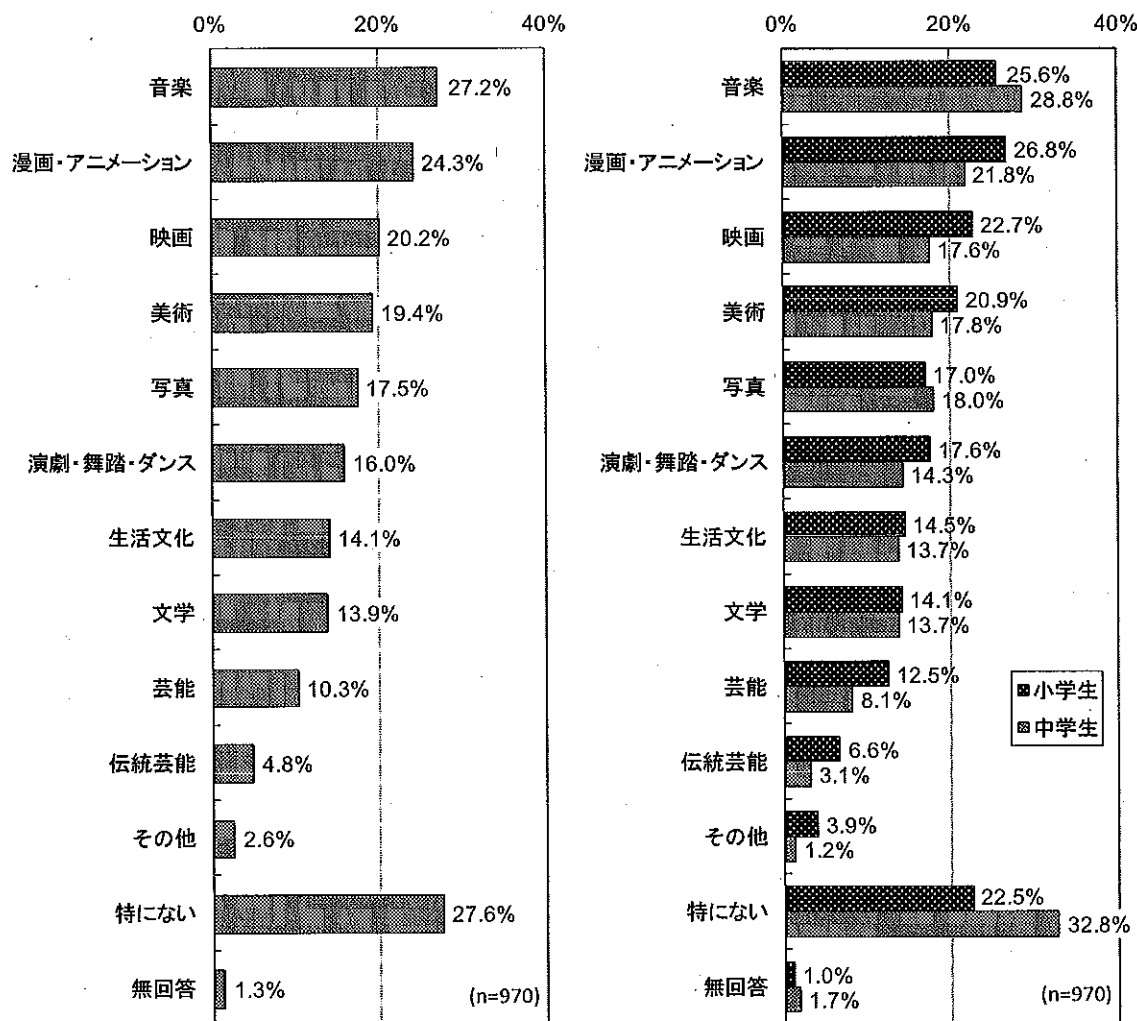


2) 今後実践したい文化芸術分野

今後実践したい文化芸術分野として、「音楽」(27.2%)が最も多く、「漫画・アニメーション」(24.3%)、「映画」(20.2%)が続く。

小学生・中学生別にみると、今後実践したい文化芸術分野として小学生・中学生に大きな違いはないが、「特にない」で中学生の割合が小学生の割合を大きく上回っている。

図表 II-74 今後実践したい文化芸術分野(複数回答)

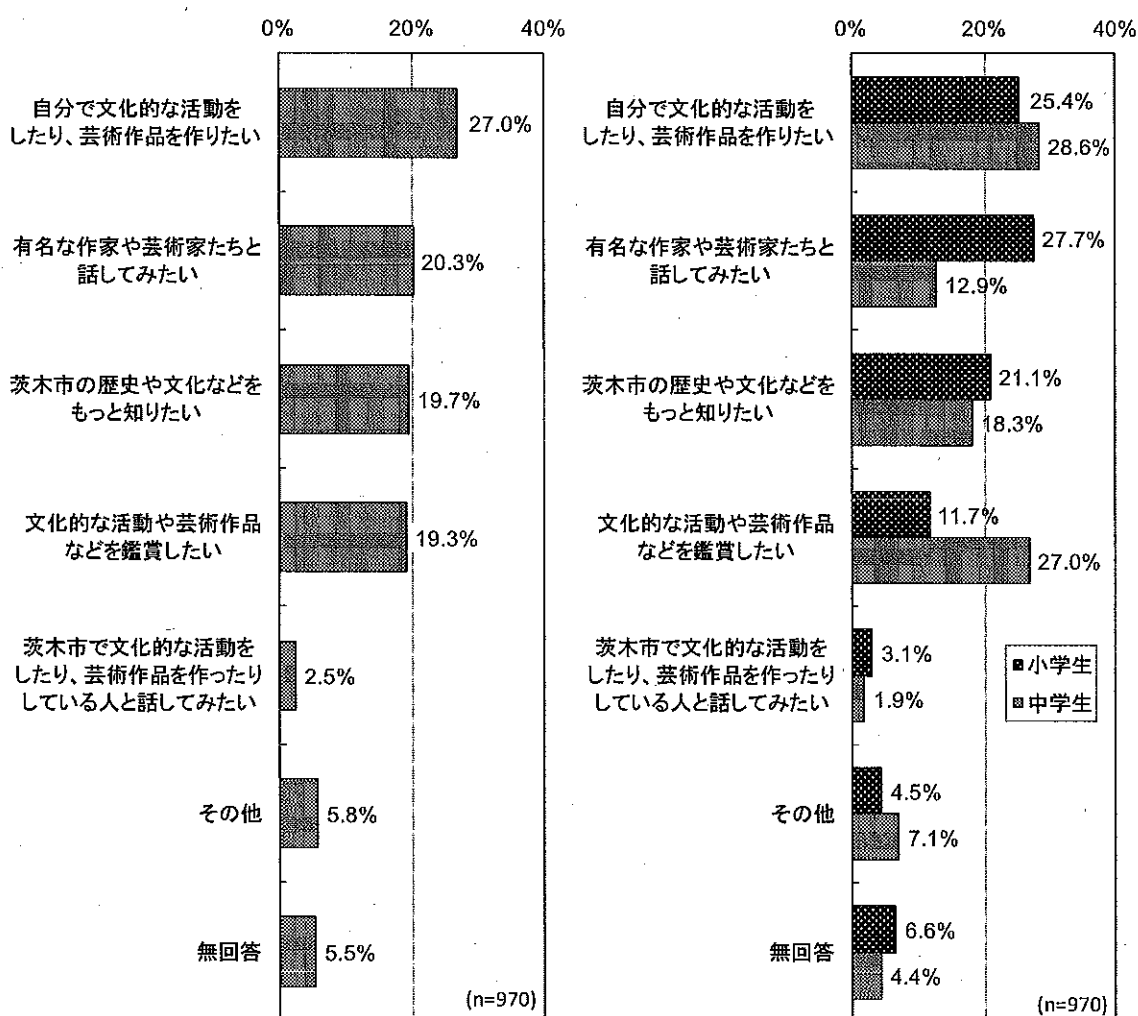


3) 今後授業で実践したい文化芸術分野

今後授業で実践したい文化芸術分野として、「自分で文化的な活動をしたり、芸術作品を作りたい」(27.0%)が最も多く、「有名な作家や芸術家たちと話してみたい」(20.3%)、「茨木市の歴史や文化などをもっと知りたい」(19.7%)が続く。

小学生・中学生別にみると、「有名な作家や芸術家たちと話してみたい」の割合では小学生が高く、「文化的な活動や芸術作品などを鑑賞したい」の割合では中学生が高くなっている。

図表 II-75 今後授業で実践したい文化芸術分野(複数回答)



⑤ 文化芸術活動における「鑑賞と実践」、「現状と今後」の比較

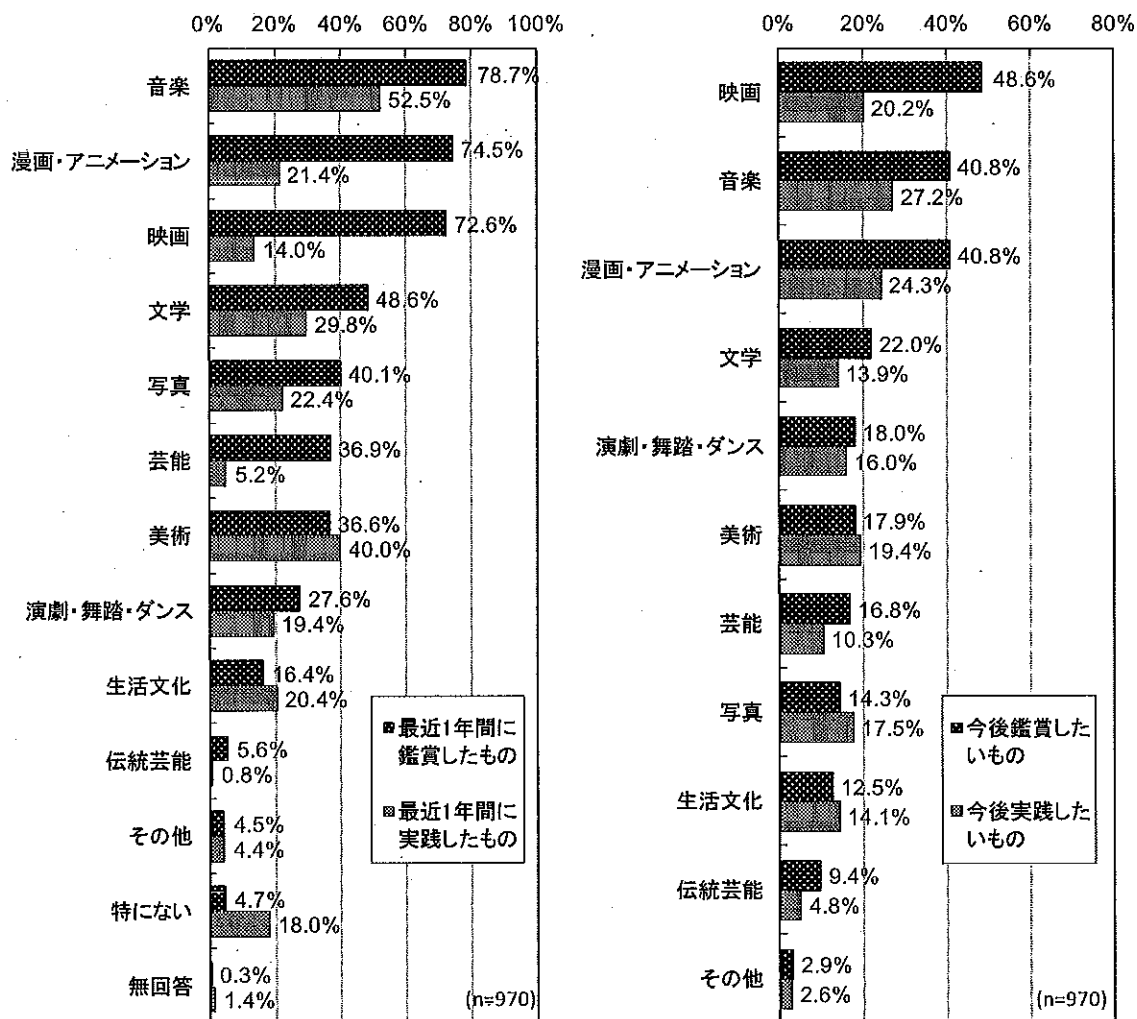
文化芸術活動の今後の「鑑賞」と「実践」の割合を比べると、ほとんどの分野で「鑑賞」が「実践」を上回っているが、「美術」・「生活文化」については、「鑑賞」より「実践」の割合の方が高かった。また、現状と今後の状況を比べると、「伝統芸能」が唯一、今後鑑賞したい割合が最近1年間で鑑賞した割合を上回っている。

1) 文化芸術の「鑑賞と実践」比較

最近1年間の文化芸術活動を見ると、ほとんどの分野で「鑑賞」が「実践」を上回っているが、「美術」、「生活文化」では「実践」が上回っている。今後行いたい文化芸術活動を見ると、「美術」、「写真」、「生活文化」について「実践」が上回っている。

また、学校の授業によるものと考えられるが、「最近1年間で実践したもの」の割合が全体的に市民アンケートより高く、「最近1年間で鑑賞したもの」を上回る分野もあり、「鑑賞」だけでなく「実践」も行われている。

図表 II-76 「鑑賞と実践」比較

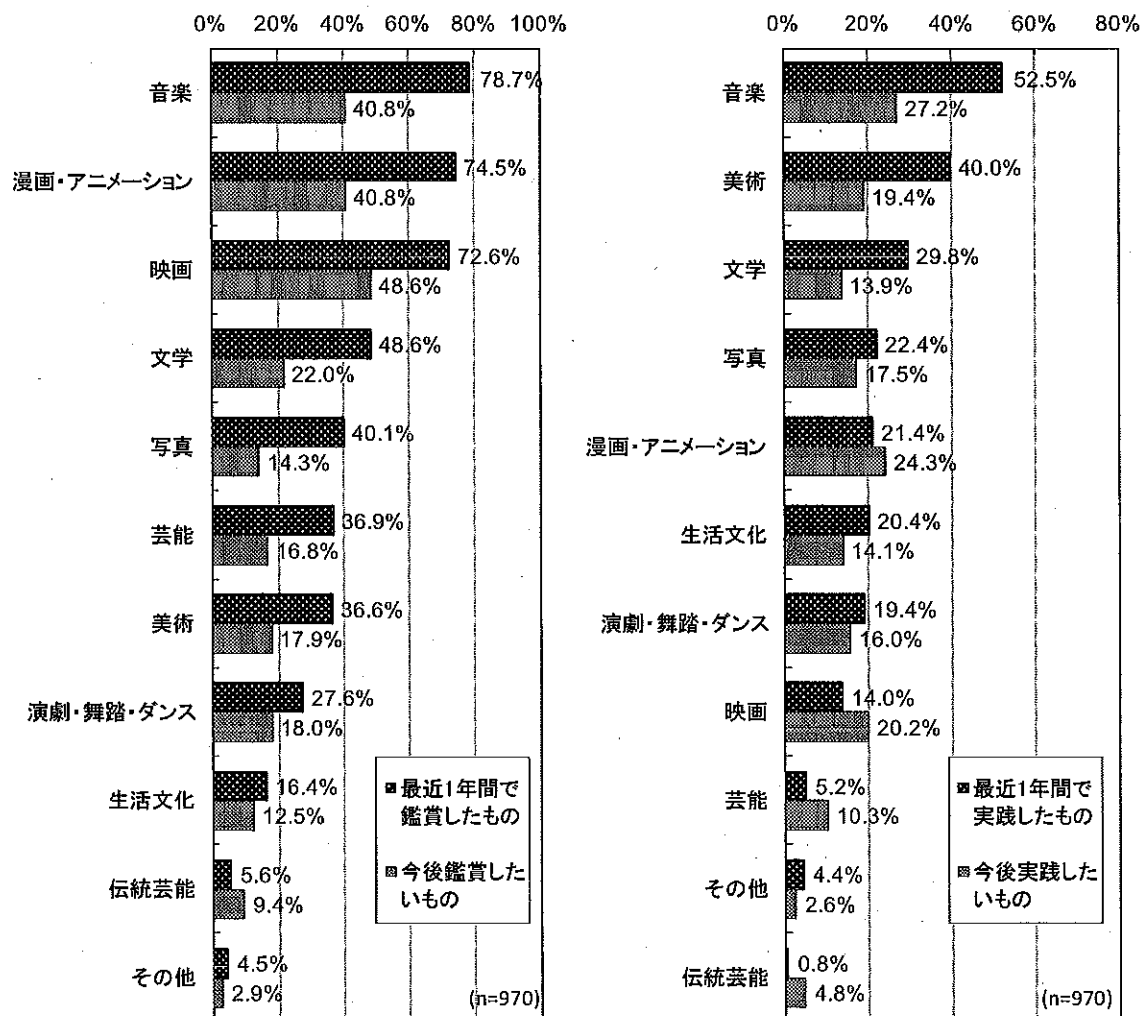


2) 文化芸術の鑑賞・実践の「現状と今後」比較

「鑑賞」については、「伝統芸能」を除いた全ての分野で「今後鑑賞したいもの」が「最近 1 年間で鑑賞したもの」を下回っている。「実践」については、「漫画・アニメーション」、「映画」、「芸能」、「伝統芸能」で「今後実践したいもの」が「最近 1 年間で実践したもの」を上回っている。

また、市民アンケートと比べると、「最近 1 年間で実践したもの」の割合は全体的に高いものの、今後も実践したいと思う割合は同程度となっている。

図表 II-77 「現状と今後」比較



⑥ 茨木市の文化芸術に関する地域資源

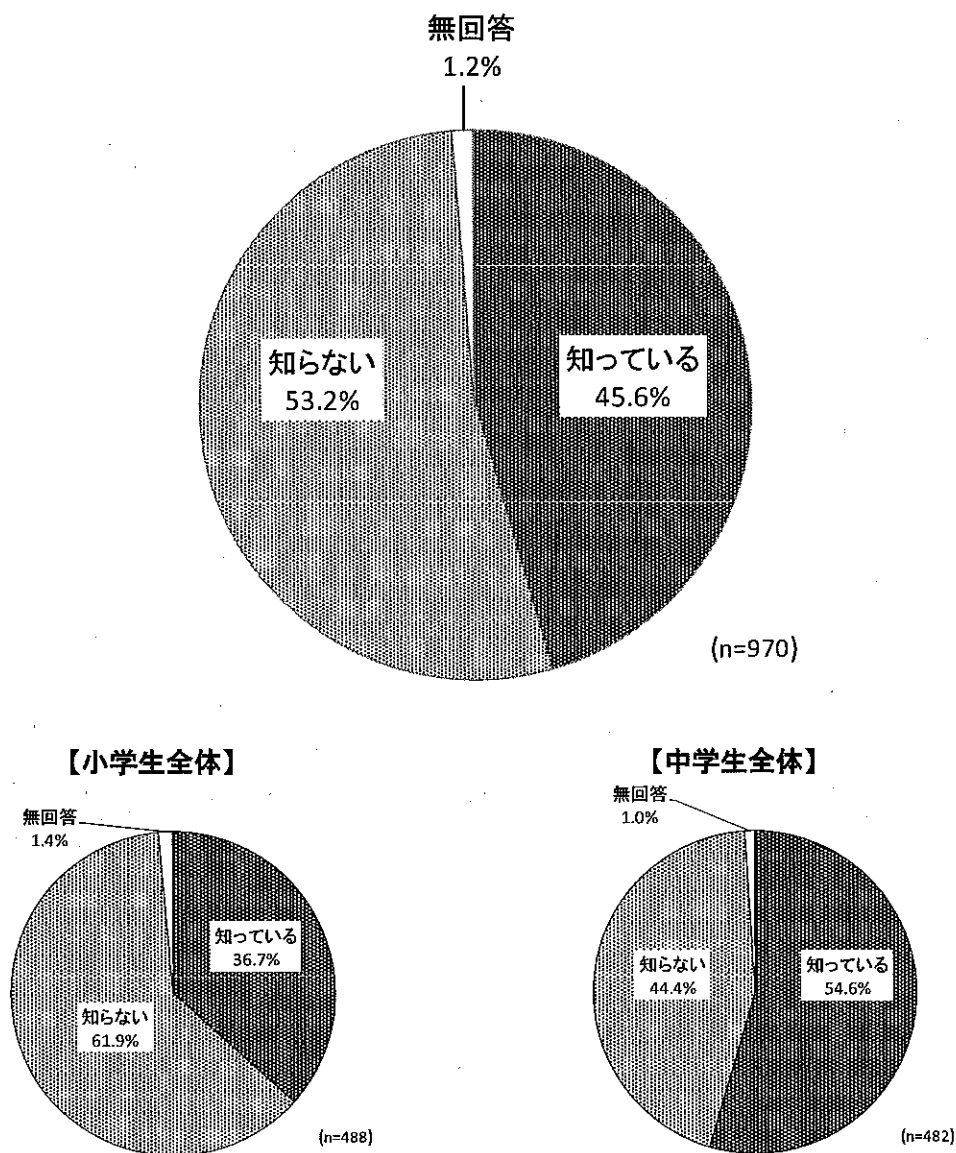
川端康成のことは半数弱の児童・生徒が知っていたが、茨木市が川端康成ゆかりの地であることは 7.1%しか知らなかった。また、川端作品の読書経験については 7.1%、川端康成文学館夏休み企画展に参加した児童・生徒は 1.8%となった。サン・チャイルドについては、6割弱の児童・生徒は見たことがあると回答したが、名前も知っている児童・生徒は 25.4%に留まった。

1) 川端康成の認知度

川端康成について、45.6%の児童・生徒が認知していた。

小学生・中学生別にみると、中学生の方が「知っている」の割合が高くなっている。

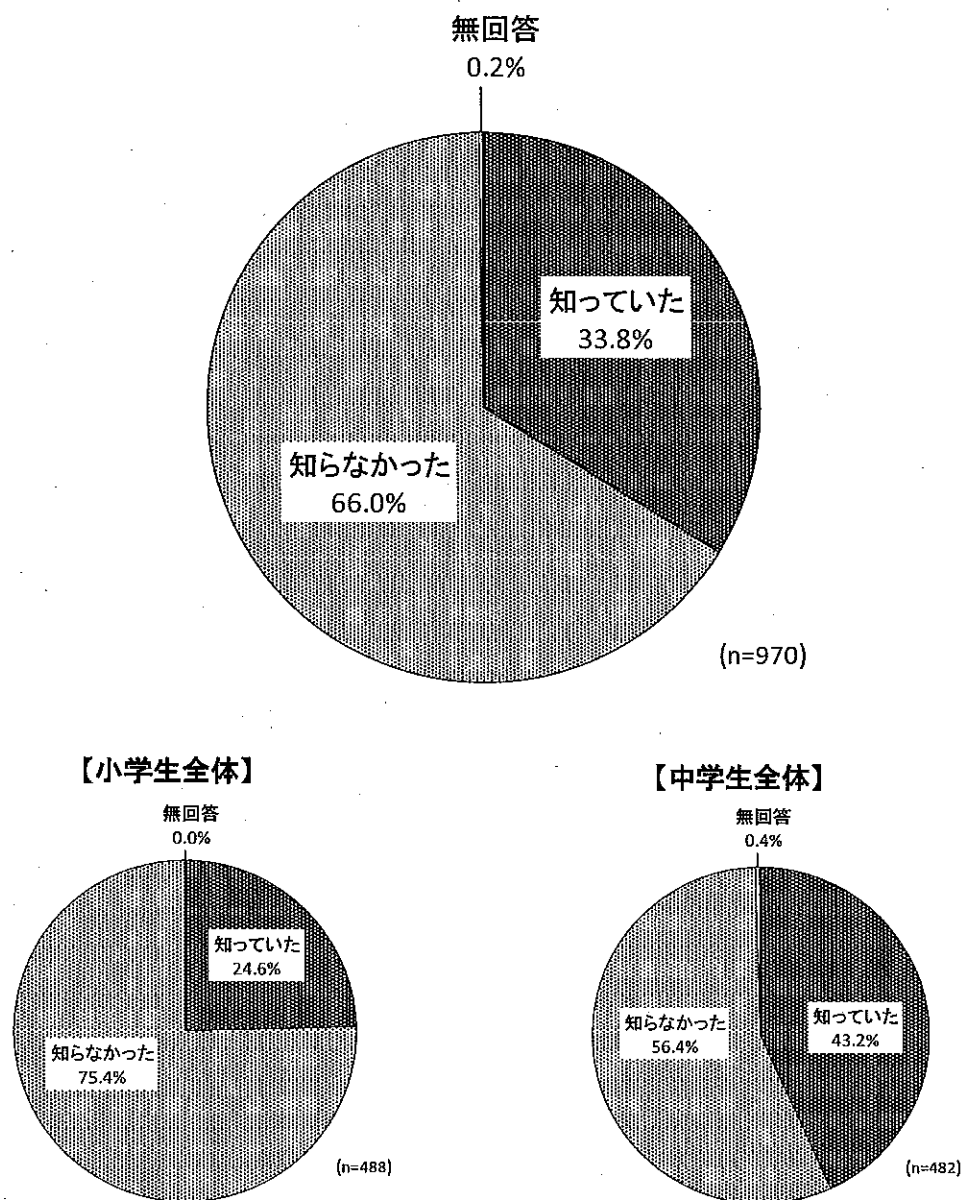
図表 II-78 川端康成の認知度



2) 川端康成ゆかりの地であることの認知度

茨木市が川端康成のゆかりの地であることについて、33.8%の児童・生徒が認知していた。
小学生・中学生別にみると、中学生の方が「知っていた」の割合が高くなっている。

図表 II-79 川端康成のゆかりの地であることの認知度

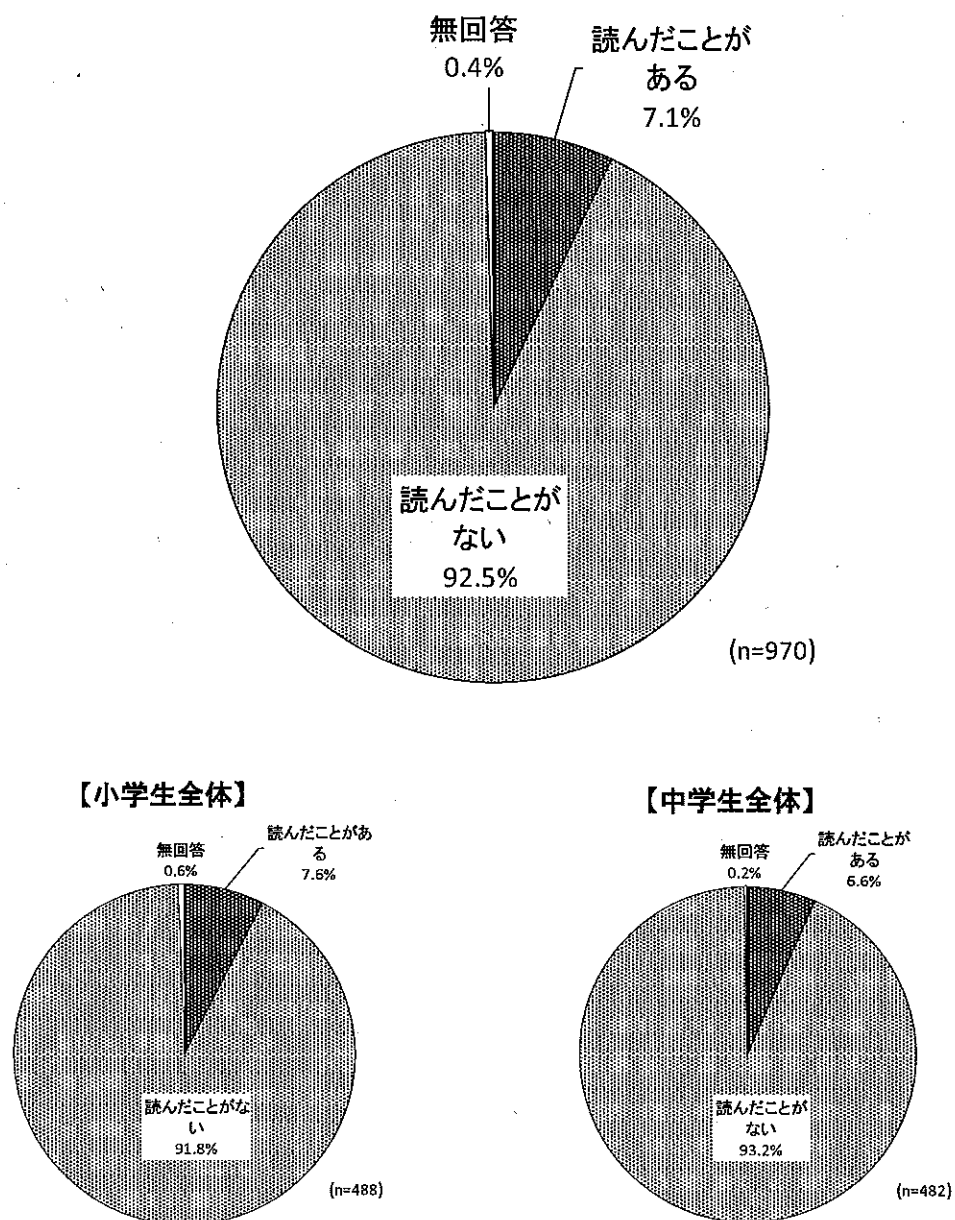


3) 川端作品の読書経験

川端康成の作品について、7.1%の児童・生徒に読書経験があった。

小学生・中学生別にみると、「読んだことがある」割合に大きな違いはない。

図表 II-80 川端作品の読書経験

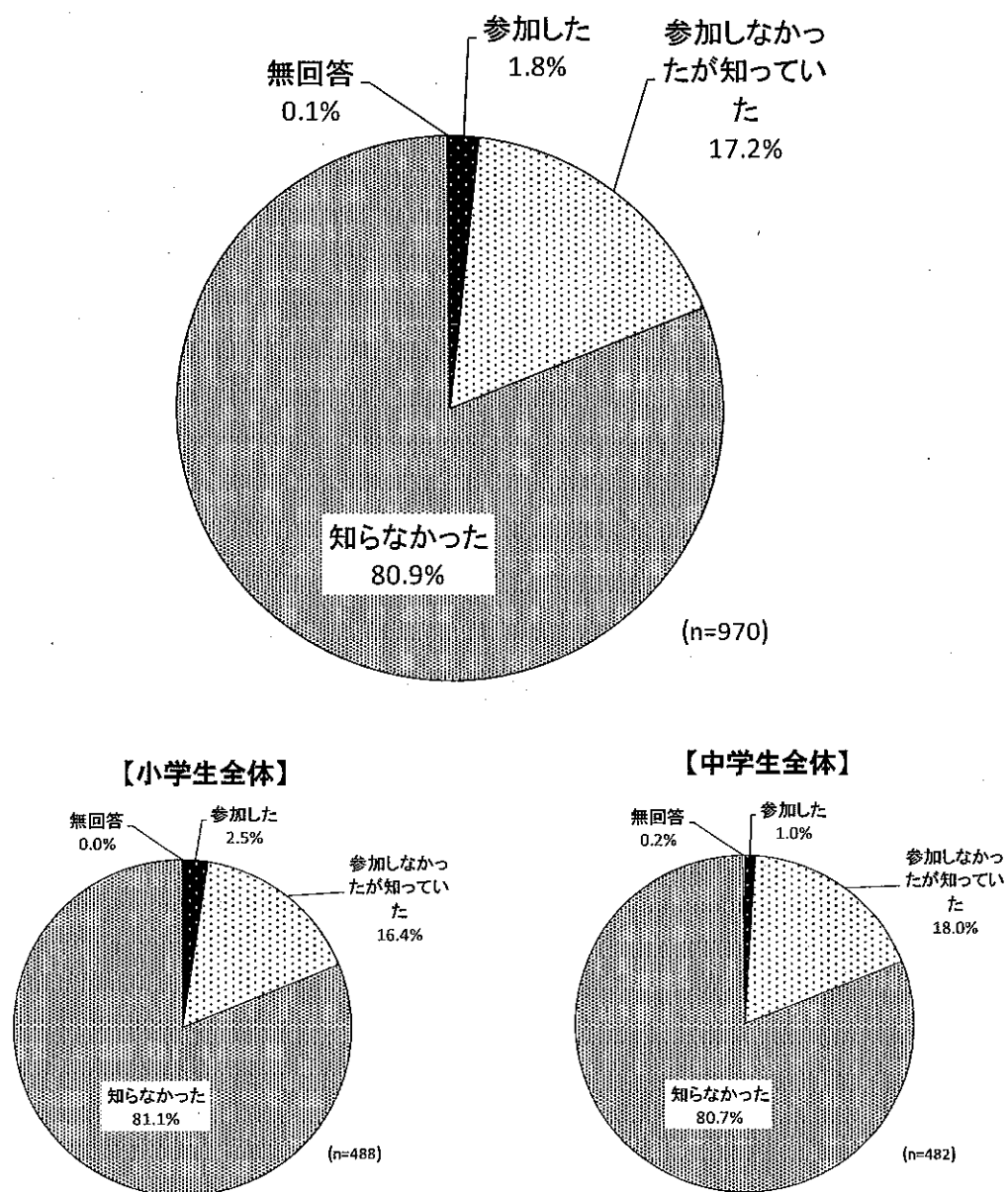


4) 川端康成文学館夏休み企画展の参加状況

2013 年度に実施された川端康成文学館夏休み企画展について、1.8%の児童・生徒が参加していた。

小学生・中学生別にみると、小学生・中学生ともに約 80%が「知らなかった」と回答した。

図表 II-81 川端康成文学館夏休み企画展の参加状況

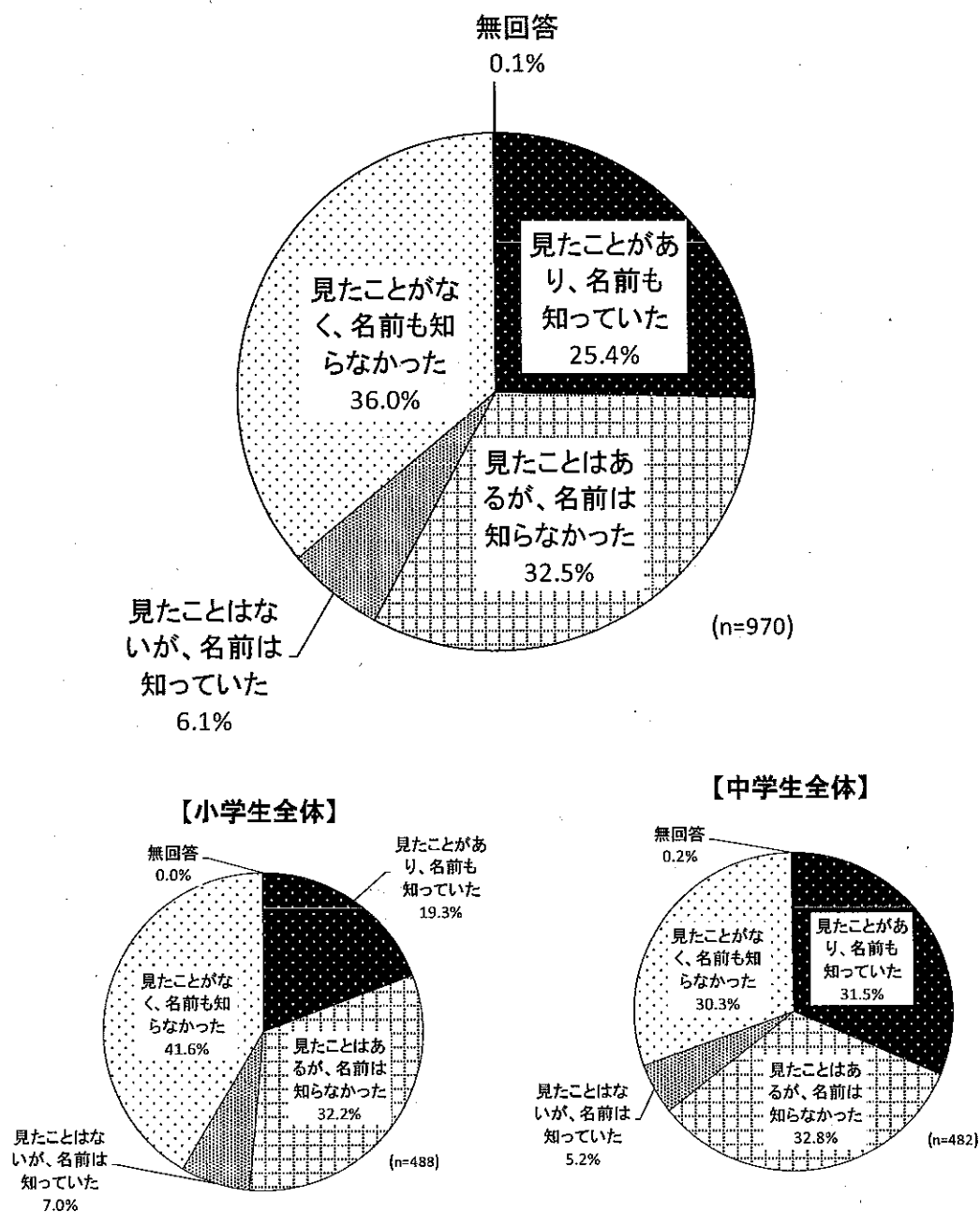


5) サン・チャイルドの認知度

南茨木駅前に設置されているヤノベケンジ氏の作品「サン・チャイルド」について、見たことがある（「見たことがあり、名前も知っていた」＋「見たことはあるが、名前は知らなかった」の計）児童・生徒は 57.9%であった。

小学生・中学生別にみると、「見たことがあり、名前を知っていた」の割合は中学生の方が高く、「見たことがなく、名前も知らなかった」の割合は小学生の方が高くなっている。

図表 II-82 サン・チャイルドの認知度



4. 市民活動団体等インタビュー調査

(1) 実施概要

文化芸術活動に取り組む市民活動団体の代表者等から、実際の活動にあたっての具体的な文化振興ニーズ等について把握することを目的として、インタビュー調査を実施した。

市民活動団体等インタビュー調査の実施概要は次の通りである。

図表 II-83 市民活動団体等インタビュー調査の実施概要

【調査対象】 市内文化芸術活動団体等 (茨木市吹奏楽団、茨木美術協会、茨木市音楽芸術協会、茨木市少年少女合唱団、茨木市三曲協会、茨木市合唱連盟、茨木市文化振興財団、川端康成文学館) 【調査方法】 団体代表者等へのインタビュー調査 【調査項目】 ①茨木市の文化芸術環境・施策の評価、②茨木市の文化振興施策への要望 など
--

(2) 調査結果の概要

市民活動団体等インタビュー調査結果の概要は次の通りである。

図表 II-84 市民活動団体等インタビュー調査結果の概要

調査項目	調査結果
1. 茨木市の文化芸術環境・施策の評価	【満足している点】 ・公民館の数が多く、練習環境が整っている。 ・市の行事で演奏をする機会があるのはありがたい。 ・新人演奏会が若手の登竜門となっている。今後も続けてほしい。 ・茨木市文化振興財団がとても協力的である。 【不満に感じている点】 ・公民館においてある楽器の調律がされていない、防音設備もないため、演奏の練習には使いにくい。 ・市民会館ホールが老朽化しており、音響が悪い。 ・補助金が年々削減されている。 ・練習場所の確保が確実ではない。 ・市と文化芸術団体との役割分担が不明確である。 ・文化に関する情報を集約して提供するセンター機能がない。 ・市内に文化芸術団体はたくさんあるが、それぞれが単独で活動していて連携できてない。団体間を繋ぐ役割が必要ではないか。
2. 茨木市の文化芸術施策への要望・意見	【要望】 ・市との共催による演奏会等の開催を継続するなど、活動を発表する機会を継続して提供してほしい。 ・市外から一流の演奏家を呼び込むことできるしっかりとしたホールが必要である。 ・補助金交付を事業ごとではなく団体ごとに交付してほしい。 【施策提案】 ・学校に演奏者などを派遣し、演奏会を行ってほしい。

調査項目	調査結果
	・市役所のスペースを開放してリレーコンサートなどを開催し、市役所を音楽の拠点としてはどうか。
3. (仮称)文化振興ビジョンへの要望・意見	・文化を発信して、より多くの方に茨木市をアピールできる機会を作りたい。 ・文化はすぐに結果が現れるものではない。継続的に文化活動を行えるようにしてほしい。また、地域に根ざした活動を大事にしてほしい。 ・文化芸術活動団体の存在、活動内容を広く市民に知ってもらえるようにしてほしい。 ・文化芸術は演奏などの活動をする人のものだけではなく、市民みんなのものであることがわかるビジョンにしてほしい。 ・これまでも何回か意見聴取があったが、一向に変化がない。具体的な変化を生むようなものにしてほしい。 ・特定の分野の文化芸術だけでなく、幅広い分野の文化芸術振興を進めてほしい。

Ⅲ. 国・大阪府・他都市の文化振興政策分析

1. 国の文化振興政策

(1) 文化芸術振興基本法の整理

① 文化振興基本法の概要

茨木市における文化振興ビジョンの策定にあたって、はじめに 2001 年 12 月 7 日に公布された文化芸術振興基本法について確認する。その概要は以下の通りである。

図表 Ⅲ-1 文化芸術振興基本法の概要

第一章 総則(第1条～第6条)	第二章 基本方針(第7条)
目的(第1条) 心豊かな国民生活と活力ある社会の実現 文化芸術振興の基本理念(第2条) ・芸術家等の自主性尊重 ・芸術家等の創造性尊重 ・国民の鑑賞・参加・創造の環境の整備 ・我が国及び世界の文化芸術の発展 ・多様な文化芸術の保護及び発展 ・地域の特色ある文化芸術の発展 ・国際的な交流及び貢献の推進 ・広く国民の意見の反映 国及び地方公共団体の責務(第3・4条) 国民の関心及び理解(第5条) 法制上の措置等(第6条)	文化芸術の振興に関する施策の総合的な推進を図るため、政府は基本方針を策定 (文部科学大臣が案を作成)
	第三章 基本的施策(第8条～第35条)
	・文化芸術の各分野の振興 ・地域における文化芸術の振興 ・国際文化交流の推進 ・人材の養成・確保 ・国語・日本語教育の充実 ・著作権等の保護・利用 ・国民の鑑賞等の機会の充実 ・学校教育における文化芸術活動の充実 ・文化施設の充実 ・情報通信技術の活用推進 ・民間の支援活動の活性化 ・政策形成の民意の反映 等

(資料)文化庁「我が国の文化行政(平成 24 年度)」

② 文化芸術の分野

文化芸術振興基本法において振興の対象として言及されている文化芸術の分野は以下の通りである。

図表 Ⅲ-2 文化芸術の分野

分野	該当する文化芸術の種類
芸術	文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊その他の芸術
メディア芸術	映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術
伝統芸能	雅楽、能楽、文楽、歌舞伎その他の我が国古来の伝統的な芸能
芸能	講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱その他の芸能
生活文化・国民娯楽・出版物等	生活文化(茶道、華道、書道その他の生活に係る文化)、国民娯楽(囲碁、将棋その他の国民的娯楽)、出版物及びレコード等
文化財等	有形及び無形の文化財並びにその保存技術

(資料)「文化芸術振興基本法」

(2) 文化芸術振興における重点戦略

国家戦略である新たな「文化芸術立国」の実現を目指し、文化庁では次の6つの重点戦略を強力に推進している。

図表 III-3 文化庁の6つの重点戦略

戦略	概要
【重点戦略1】 文化芸術活動に対する効果的な支援	◆文化芸術団体にとって、より経営努力のインセンティブが働くような助成方法や年間の創造活動への総合的な支援等新たな支援の仕組みを導入 ◆文化芸術への支援策をより有効に機能させるため、諸外国のアーティストカウンスルに相当する新たな仕組みを導入、早急に必要な調査研究、及び可能なところから試行的取組を実施 ◆地域の核となる文化芸術拠点への支援を充実 ◆劇場、音楽堂等の法的基盤の整備について早急に検討 ◆展覧会における美術品損害に対する政府補償制度を導入 ◆寄附文化の醸成や文化芸術資源の活用促進のためのインセンティブ設計を通じ、民間による支援活動を促進、NPO 等「新しい公共」による活動を支援 ◆国立の美術館、博物館や劇場の機能充実、より柔軟・効果的な運営の仕組みを整備
【重点戦略2】 文化芸術を創造し、支える人材の充実	◆新進芸術家の海外研修やその成果を還元する機会等の充実、顕彰制度の拡充等、若手をはじめとする芸術家の育成に関する支援を充実 ◆文化芸術活動や施設の運営を支える専門的人材の育成・活用に関する支援を充実 ◆無形文化財や文化財を支える技術・技能の伝承者に対する支援を充実
【重点戦略3】 子どもや若者を対象とした文化芸術振興策の充実	◆多彩な優れた芸術の鑑賞機会、伝統文化や文化財に親しむ機会を充実 ◆コミュニケーション教育をはじめ、学校における芸術教育を充実
【重点戦略4】 文化芸術の次世代への確実な継承	◆計画的な修復・防災対策等による文化財の適切な保存・継承 ◆文化財の積極的な公開・活用により、国民が文化財に親しむ機会を充実 ◆文化財の総合的な保存・活用、登録制度等の用により、文化財保護の裾野を拡大 ◆文化芸術分野のアーカイブ構築に向け、可能な分野から作品・資料等の所在情報の収集や所蔵作品の目録の整備、積極的活用
【重点戦略5】 文化芸術の地域振興、観光・産業振興等への活用	◆各地に所在する有形・無形の文化芸術資源を地域振興、観光・産業振興等に活用 ◆文化芸術創造都市の取組等新たな創造拠点の形成を支援、各地域における芸術祭、アーティスト・イン・レジデンス等による地域文化の振興を奨励

戦略	概要
	◆衣食住に係る文化をはじめ「くらしの文化」の実態を調査・把握、振興方策を検討
【重点戦略 6】 文化発信・国際文化交流の充実	◆舞台芸術、美術工芸品等の海外公演・出展、国際共同制作等への支援を充実 ◆中核的国際芸術フェスティバルの国内開催や海外フェスティバルへの参加、特色ある国際文化交流の取組を戦略的に支援、メディア芸術祭は世界的フェスティバルとして一層充実 ◆文化発信・交流の拠点として美術館、博物館や大学の活動・内容を充実 ◆海外の文化遺産保護等、文化財分野における国際協力を充実 ◆東アジア芸術創造都市(仮称)や大学間交流等、東アジアにおける国際文化交流を推進

(資料)文化庁「我が国の文化行政(平成 24 年度)」

2. 大阪府の文化振興政策

(1) 第3次大阪府文化振興計画の整理

① 第3次大阪府文化振興計画の構成

「第3次大阪府文化振興計画」の構成は次の通りである。

図表 III-4 第3次大阪府文化振興計画の構成

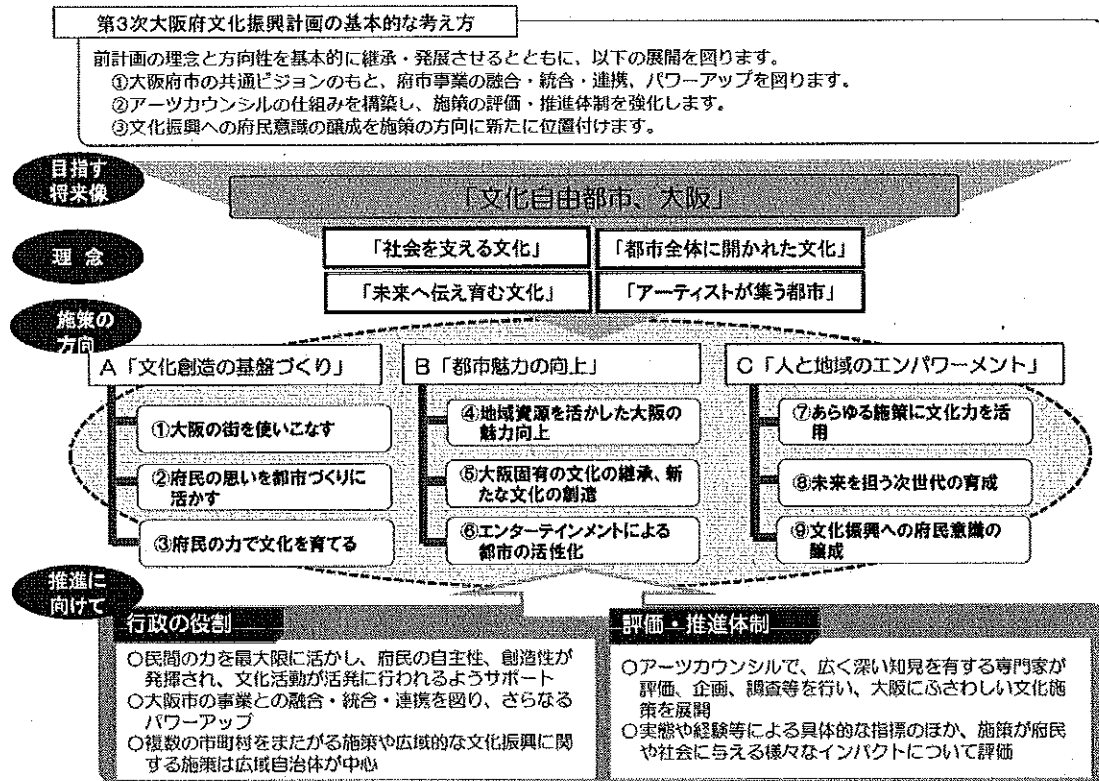
I 第3次大阪府文化振興計画について
(1)策定趣旨
(2)計画期間
(3)計画の構成(全体概要)
II 目指す将来像
III 理念
4つの理念
IV 施策の方向
3つの方向性
9つの施策
V 推進に向けて
行政の役割
推進・評価体制

(資料)大阪府「第3次大阪府文化振興計画」

② 第3次大阪府文化振興計画の施策体系

「第3次大阪府文化振興計画」の全体概要は次の通りである（なお、平成25年度から平成27年度までの3年を計画期間としている）。

図表 III-5 第3次大阪府文化振興計画の施策体系



（資料）大阪府「第3次大阪府文化振興計画」

(2) 大阪府による特徴的な施策・取り組み

① おおさかカンヴァス事業

大阪のまち全体を「カンヴァス」に見立てアーティストの発表の場として活用することにより、大阪の新たな都市魅力を創造・発信する。

② 「大阪ミュージアム構想」の推進

大阪のまち全体をミュージアムに見立て、魅力的な地域資源を活かした府民参加・地域主体のまちの魅力づくりを促進し、府民をはじめ、市町村・企業・地域団体とともに、大阪の魅力・集客力・地域力の向上をさらに進め、『「明るく」「楽しく」「わくわく」するまち・大阪』の実現を図る。

③ 大阪府文化資産デジタルアーカイブ事業

文化資産をデジタル画像データとして保存することにより、府民共有の貴重な文化資産を後世に残すとともに、研究者に向けた学術資料の公開、大阪の文化についての理解を深める情報発信源といった役割を果たしている。

④ 「人材バンク」「プログラム集」の整備、情報発信

地域や学校での取組みを促進するため、次世代育成に関するプログラムやアーティストの情報を整備し、文化課のホームページなどで広く発信する。

3. 近隣都市(北摂地域)の文化振興政策

(1)吹田市

①吹田市文化振興基本計画の概要

2006 年4月から市の文化振興の基本的な考え方を示した「吹田市文化振興基本条例」を施行し、2009 年に「吹田市文化振興基本計画」を策定した。

なお、同計画は「文化芸術振興基本法」、「吹田市文化振興基本条例」の基本理念や基本的施策を踏まえたものであり、1999 年策定の「吹田市文化振興ビジョン」、2004 年策定の「みんなで創る！歴史と文化のまちづくり」といった計画を継承したものである。

2009 年度から 2020 年度までの 12 年を計画期間としている。

②吹田市文化振興基本計画の構成

「吹田市文化振興基本計画」の構成は次の通りである。

図表 III-6 吹田市文化振興基本計画の構成

第1章 計画策定の背景

1. 計画策定にあたって
2. 吹田市の文化的特徴・吹田らしさ
3. 文化を取り巻く社会状況

第2章 計画の基本的な考え方

1. 計画の位置付け
2. 計画の期間
3. 計画の特徴

第3章 基本理念と基本方向

1. 基本理念
2. 基本方向

第4章 施策の内容

1. 施策の体系図
2. 5つのキーワード
3. 現状施策と今後の展開
4. 重点施策・事業

第5章 計画の推進

1. 庁内における推進体制
2. 計画の進行管理

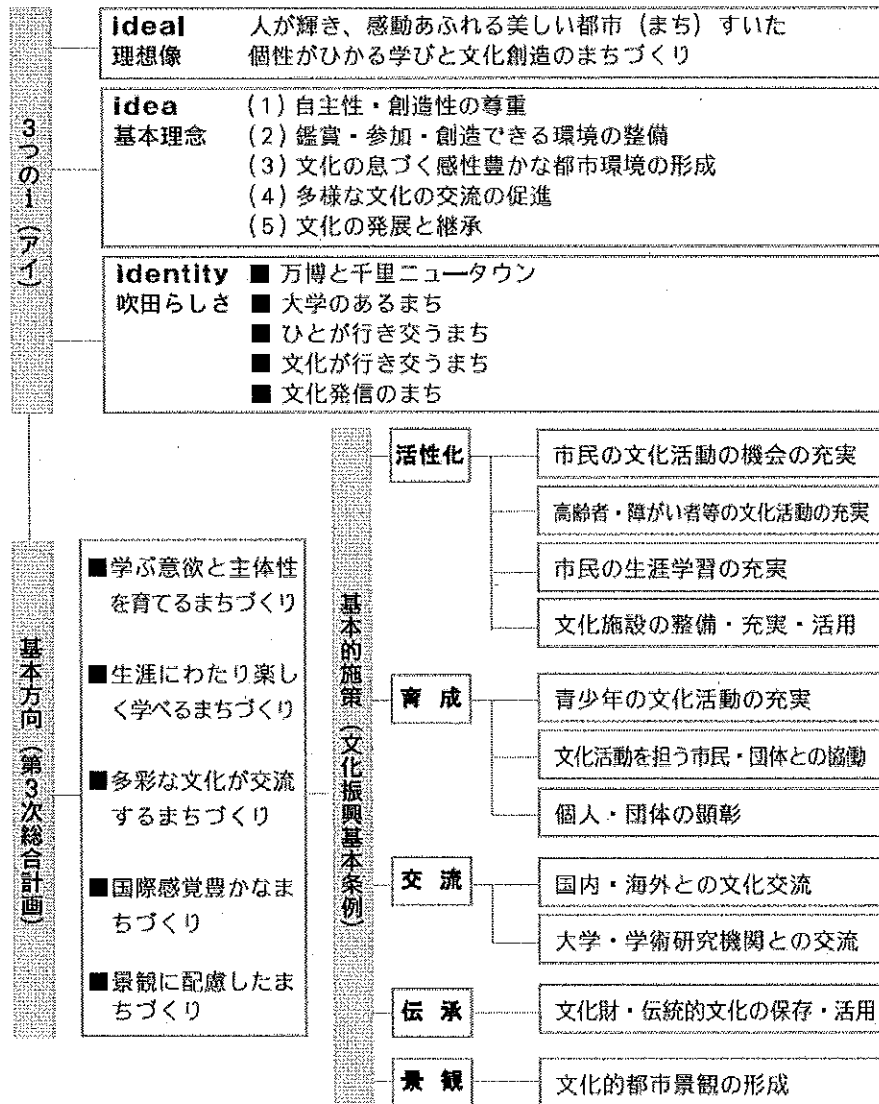
資料編

(資料)吹田市「吹田市文化振興基本計画」

③ 吹田市文化振興基本計画の施策体系

「吹田市文化振興基本計画」の施策体系は次の通りである。

図表 III-7 吹田市文化振興基本計画の施策体系



(資料)吹田市「吹田市文化振興基本計画」

(2) 豊中市

① 豊中市文化振興ビジョンの概要

「豊中市文化振興ビジョン」は、豊中市総合計画に示す「豊中文化創造プロジェクト」の実現と推進のために策定されたものである。

1992年に「豊中市文化行政懇話会」から受けた提言に基づいて「豊中市文化行政の課題」を整理し、文化のまちづくりについての「基本理念」を明らかにするとともに、「基本方向と施策展開」を「市民文化」「都市文化」「行政の文化化」を3つの柱とする体系によって示している。

② 豊中市文化振興ビジョンの構成

「豊中市文化振興ビジョン」の構成は次の通りである。

図表 III-8 豊中市文化振興ビジョンの構成

第Ⅰ章 文化振興の基本的な考え方
1. 文化振興ビジョンの策定にあたって
2. 豊中市文化行政の課題
3. 文化振興ビジョンの基本理念
4. 文化振興の視点
第Ⅱ章 市民文化・都市文化・行政の文化化(文化振興の基本方向と施策展開)
1. 市民文化の活性化の基本方向と施策展開
2. 都市文化の創造の基本方向と施策展開
3. 行政の文化化の基本方向と施策展開
第Ⅲ章 今後の豊中市文化振興の展開について
1. 文化振興推進体制の確立
2. 文化振興重点施策の策定と推進
資料編
(資料)豊中市「豊中市文化振興ビジョン」

③ 豊中市文化振興ビジョンの施策体系

「豊中市文化振興ビジョン」の基本方向と施策展開の体系は次の通りである。

図表 III-9 豊中市文化振興ビジョンの施策体系

柱	該当する文化芸術の種類
【市民文化】 市民主体の文化活動の活性化をめざして	(1)あらゆる市民への文化活動の場・機会の提供 (2)文化活動を担う人びとの拡大と文化活動の活性化 (3)交流の推進とネットワークの強化 (4)文化活動の創造への挑戦
【都市文化】 国際・文化都市「とよなか」をめざして	(1)都市環境の基礎的条件の整備 (2)市民参加による都市環境づくり (3)都市文化を創造する多様な交流の促進 (4)魅力ある都市の創造への挑戦
【行政の文化化】 文化行政を創造するしくみづくり、発想・実践	(1)行政の基本的な取り組み姿勢の確立 (2)文化振興を支える職員の意識の向上 (3)幅広い人材交流への取り組み (4)創造的な文化行政への挑戦

(資料)豊中市「豊中文化振興ビジョン」

(3) 高槻市、摂津市、箕面市

高槻市、摂津市、箕面市では、文化振興を主とした計画は策定されていない(高槻市については2013年現在「(仮称)高槻市文化振興ビジョン」を策定中)。

ただし、摂津市では「摂津市文化振興条例」、箕面市では「箕面市文化振興基金条例」といった文化振興に関する条例が策定されており、文化振興の取り組みが進められている。

4. 先進都市の文化振興政策

(1) 大津市

① 第2次大津市文化振興ビジョンの概要

大津市では、2011年度からおおむね10年間を展望した大津市の文化振興の方向性を示した「第2次大津市文化振興ビジョン」を2011年3月に策定した。

なお、同ビジョンに基づき、今後5年間に推進すべき施策の体系と具体的な事業内容、さらに重点的に取り組むべき施策等について定めるものである。

② 第2次大津市文化振興ビジョンの構成

「第2次大津市文化振興ビジョン」の構成は次の通りである。

図表 III-10 第2次大津市文化振興ビジョンの構成

1 はじめに
(1)これまでの経過
(2)ビジョンの位置付け
(3)文化を取り巻く社会動向
2 大津市の文化的特性
3 目指すまちの姿
4 取り組みの展開方向
5 ビジョンの推進に向けて
資料編

(資料) 大津市「第2次大津市文化振興ビジョン」

③ 第2次大津市文化振興ビジョンの施策体系

「第2次大津市文化振興ビジョン」の取り組みの展開方向の体系は次の通りである。

図表 III-11 第2次大津市文化振興ビジョンの施策体系

キーワード	展開方向
感動	●文化・芸術を暮らしに身近なものにする ●自然的・歴史的環境を守り継承する ●地域の生活に息づく文化を大切にする
創造	●市民による文化活動を盛んにする ●“湖都文化”をリードする人を育てる ●文化的資源が生かされたまちと暮らしをつくる
交流	●文化情報を広く発信する ●文化の豊かな交わりをつくる

(資料) 大津市「第2次大津市文化振興ビジョン」

(2) 小田原市

① 小田原市文化振興ビジョンの概要

小田原市では、新たな市民ホールの整備に向けた計画策定作業と並行し、これから小田原にどのような文化を育てるべきかについて議論を重ね、その成果を「小田原市文化振興ビジョン」として2012年3月にまとめた。

② 小田原市文化振興ビジョンの構成

「小田原市文化振興ビジョン」の構成は次の通りである。

図表 III-12 小田原市文化振興ビジョンの構成

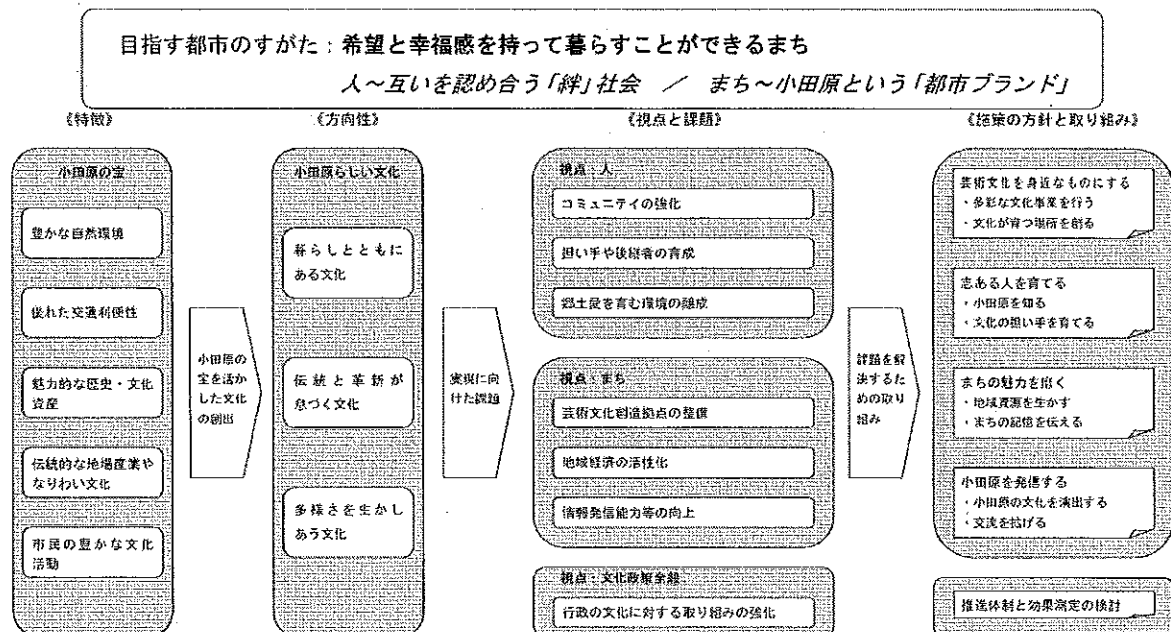
序章 なぜ、今、文化振興が必要か
1 文化とは何か 2 文化振興の意義とは何か ～創造する力が人とまちを輝かす
第1章 私たちが考える文化振興
1 小田原の宝は何か
2 小田原らしい文化とはどういうものか
3 文化振興ビジョンで目指す小田原のすがた
第2章 課題と取り組み
1 まちづくりと文化振興の現状と課題 2 施策の方針と取り組み
第3章 推進体制の整備に向けて ～策定検討委員会からの提言
1 推進体制について 2 効果測定について
資料編

(資料) 小田原市「小田原市文化振興ビジョン」

③ 小田原市文化振興ビジョンの体系

「小田原市文化振興ビジョン」の体系は次の通りである。

図表 III-13 小田原市文化振興ビジョンの体系



(資料) 小田原市「小田原市文化振興ビジョン」

(3) 逗子市(神奈川県)

① 逗子市における文化振興の概要

逗子市では、2009年に文化振興施策を総合的かつ計画的に推進し、文化の振興及び市民文化の創造を図ることを目的とした「逗子市文化振興条例」を公布、施行している。

同条例に基づき、2011年に「逗子市文化振興基本計画」を策定、これに基づき文化振興施策を進めている。

また、基本計画に基づく施策、事業等の実施について、市民との協働により効果的に推進できるよう努める「文化振興基本計画策定・推進会議」、基本計画の基づく施策、事業等が的確に実施されているかどうか等について、調査、評価等を行う「文化振興基本計画調査・評価委員会」をそれぞれ設置している。

② 逗子市文化振興基本計画の概要

「逗子市文化振興基本計画」は、2009年に制定された「逗子市文化振興条例」に基づき、2011年に策定された。

同計画は、文化の担い手は市民であり、その主体性、自主性を尊重するという文化振興の基本理念を明確にするとともに、市民・団体・企業等と行政が、協働により文化振興を進めるための「指針・道標」となるものである。また、文化振興施策を総合的かつ計画的に推進することにより、文化の振興及び市民文化の創造を図り、もって心豊かな市民生活の実現に寄与することを目的としている。

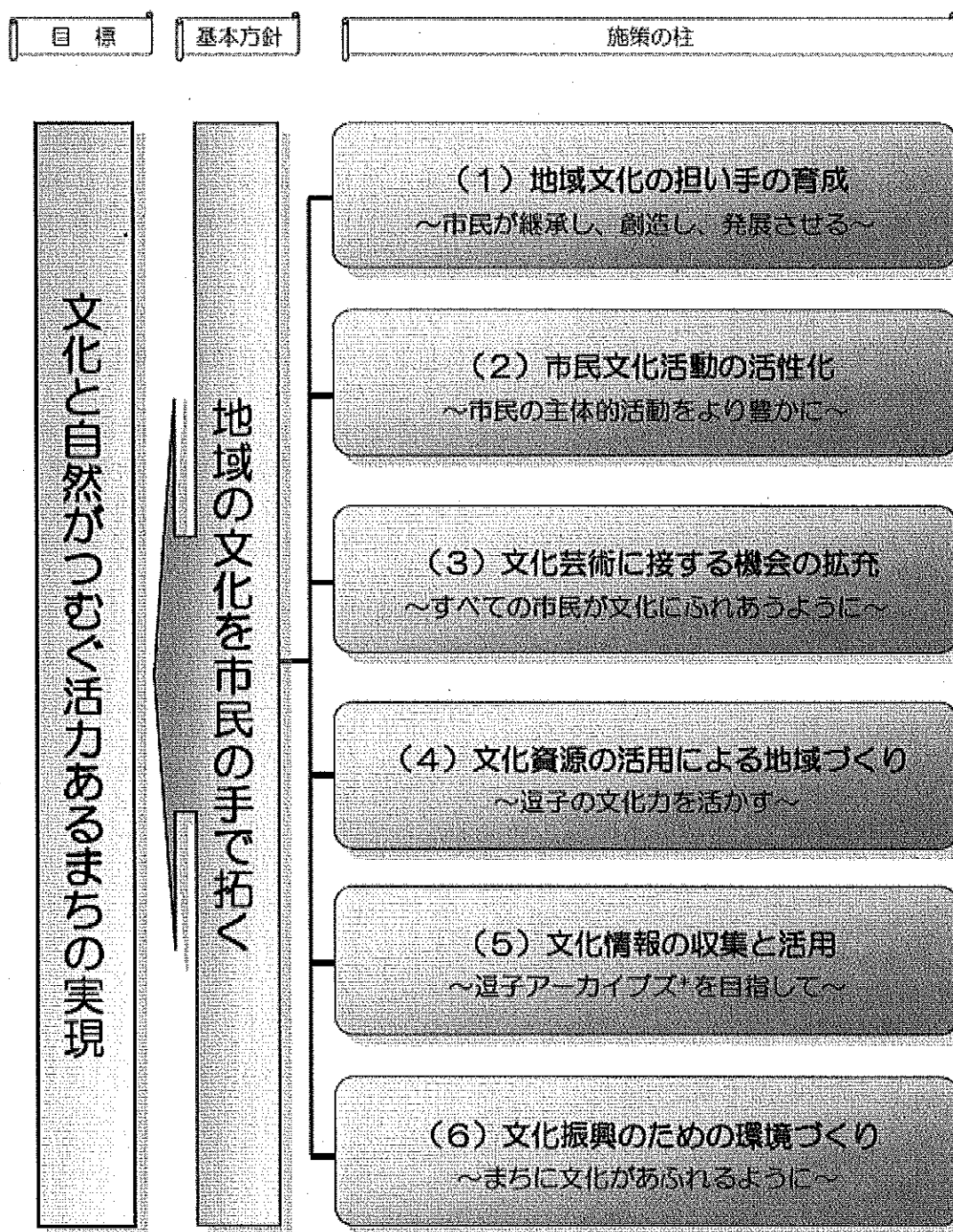
計画期間は2011年度から2018年度までの8年間である。

図表 III-14 逗子市文化振興基本計画の構成

- | |
|---------------------------------------|
| I 計画の前提 |
| 1. 基本的な考え方 |
| 2. 文化振興に取り組む背景 |
| 3. 現状と課題 |
| II 計画体系 |
| 1. 目標と基本方針 |
| 2. 施策の体系 |
| 3. 施策の柱と基本施策展開の方向性 |
| III 計画の推進にあたって |
| 1. 推進体制 |
| 2. 評価組織 |
| 3. 重点的に取り組む事業の設定 |
| 4. 4つの重点事業 |
| 5. 事業計画 |
| IV 資料 |
| 1. 用語集 2. 関連条例・計画等 3. アンケート調査概要 |

(資料) 逗子市「逗子市文化振興基本計画」

図表 III-15 逗子市文化振興基本計画の体系



(資料) 逗子市「逗子市文化振興基本計画」

(4)松山市(愛媛県)

① 松山市における文化振興の概要

愛媛県松山市は、夏目漱石が英語教師として赴任したことから、小説『坊ちゃん』の舞台となったことで有名であり、多くの俳人を生み出した土地でもある。近代文学にも多大な影響を及ぼした正岡子規、高浜虚子といった先人を称え、同市は「俳都」を名乗り、俳句によるまちおこしを進めている。まちには、子規や漱石による直筆の句碑が並ぶ「俳句の道」をはじめ、街のあちらこちに俳句にまつわる像やモニュメントが点在している。

また、小説『坂の上の雲』の舞台であることを活かして「坂の上の雲まちづくりチーム」を庁内に設置し、小説を活かしたまちづくりを進めている。

なお、文化振興に関する分野別計画は策定していない。

② 松山市の主な文化振興事業

1) 「全国高校俳句選手権大会(略称:俳句甲子園)」の開催

松山市で毎年8月に開催される、高校生を対象にした俳句コンクール。同市が正岡子規、高浜虚子などの、著名な俳人の出身地であることにちなんで、社団法人松山青年会議所やNPO 法人俳句甲子園実行委員会が主催し1998年に始まった。

また、1月には番外的に「高校生以外のためのまる裏俳句甲子園」も開催されている。

2) 「俳句ポスト」の設置

松山市観光俳句ポストは、昭和41年に子規・漱石・極堂生誕百年祭の記念事業の一つとして観光俳句を募集したことに始まり、昭和43年より第1号の松山市観光俳句ポストが常設された。現在は主要観光地や道後温泉のホテル・旅館、また四国八十八ヶ寺で市内にある8ヶ寺、また路面電車28両など、合計93カ所に設置されている。

平成22年からは、小説『坂の上の雲』ゆかりの県外の都市11カ所にも設置され、平成24年4月からは海外第1号のポストとしてブリュッセルにも設置し、日本と欧州の文化交流と俳句文化の魅力のPRに貢献している。

図表 III-16 俳句ポストの設置場所

設置地域	設置場所
市内 (計93カ所)	道後温泉、路面電車の車内、四国八十八ヶ寺のお寺、松山空港、市内ホテルなど
市外 (計11カ所)	熊本城(熊本市)、JR 法隆寺駅観光案内所(奈良県斑鳩町)、大和ミュージアム(呉市)など
海外	ブリュッセル(ベルギー)

3) 坊っちゃん文学賞

夏目漱石の代表作『坊っちゃん』の舞台となったまちであることを活かして、新たな青春文学の創造を目指し、1989年の市制100周年を機に「坊っちゃん文学賞」を創設した。

これまでの大賞受賞作品には、単行本化やTVドラマ化、映画化された作品もあり、文芸関係者以外からも注目を集めている。「坊っちゃん文学賞」は2カ年事業として実施しており、1年目に作品を募集し、2年目に審査・表彰を行っている。

4) 松山発オリジナルアニメ「マッツとヤンマとモブリさん」制作

松山の魅力を伝えるため、松山発オリジナルアニメーションを制作し、物語を通じて松山の文化・名所・生活様式を紹介している。

公式サイト:<http://www.dandanmatsuyama.jp/>

5) 『坂の上の雲』のまちづくり

坂の上の雲まちづくりチームが中心となって、『坂の上の雲』を軸とした 21 世紀のまちづくりを進めている。これは、松山城をはじめとした市内の小説ゆかりの地を活用しながら、官民一体で「物語」が感じられるまちを目指した「小説を活かしたまちづくり」の取り組みである。

その一環として「フィールドミュージアム構想」を掲げ、市内に点在する小説ゆかりの地をはじめとした地域資源を一つの作品にたとえ、市内全体を「屋根のない博物館」に見立ててまちの魅力を高めている。

(5) 静岡県・伊豆市

静岡県では、川端康成や井上靖などが優れた作品を数多く生み出し、文学の地として名高い県東部・伊豆地域の特性を生かして、伊豆をはじめとする静岡県を題材とした文学を募集する「伊豆文学賞」などを開催している。

また、伊豆市では静岡県の「伊豆文学フェスティバル」に合わせ、「伊豆文学まつり」を開催し、文人ゆかりの旅館での秘蔵品の特別展示や、文学塾、天城を題材にした映画の上映会などを行っている。道の駅天城越えの「伊豆近代文学博物館」には、井上靖直筆の原稿、愛用品をはじめ川端康成の「伊豆の踊子」の生原稿など貴重な品々が展示されている。

なお、静岡県は 2006 年に「静岡県文化振興基本条例」を公布、施行し、これに基づいて文化振興を継続的に進めている。また、「第 2 期ふじのくに文化振興基本計画」を策定している。一方、伊豆市は文化振興に関する分野別計画は策定していない。

(6) 宍粟市(兵庫県)

宍粟市(しろうし)では、難読地名を逆手に取ってこれを一つの地域資源として捉え、宍粟の魅力为全国に発信する CM コンテストを開催している。

平成 24 年度予算案に計上され記者発表した結果、新聞、TV でユニークな取り組みとして取り上げられ、大きな反響を得た。また、難読市名を共通点とする千葉県匝瑳市(そうさし)から呼びかけがあり、相互交流を深めるきっかけになった。

平成 24 年度の知名度アップ CM コンテストには 31 本の作品が応募され、動画サイト YouTube にて公開されている。平成 25 年度も継続して実施されており、2014 年 2 月以降に結果発表の予定である。

なお、宍粟市は文化振興に関する分野別計画は策定していない。

(7) 宇治市(京都府)

① 宇治市における文化振興の概要

京都府宇治市は、紫式部による「源氏物語」の「宇治十帖」の舞台であることから、「源氏物語のまち」をテーマとしたまちづくりを推進している。

源氏物語を活用した文化振興に取り組むきっかけとなったのは平成元年に自治省(当時)の「ふるさと創生事業」であり、同事業の活用アイデアを市民より募集し、その中から選ばれたのが「紫式部文学賞」であったことがはじまりである。

文化振興を担当する文化自治振興課では、予算(施設管理委託料を除く)の約4分の3を源氏物語関連事業に投入しており、重点的に取り組んでいる。

また、「宇治市源氏物語ミュージアム」を設立しており、同施設を源氏物語について紹介する拠点施設としている。同ミュージアムでは毎年源氏物語に関する連続講座を開催し、定員の80名を満たす受講者がいる。

② 宇治市の主な文化振興事業

宇治市では、単に文学賞をつくるだけではなく、「源氏ろまん事業」として源氏物語を活かした総合的な文化事業を実施している。源氏ろまん事業を構成する主な事業は「紫式部文学賞」「紫式部市民文化賞」「宇治十帖スタンプラリー」であり、詳細は次の通りである。

1) 紫式部文学賞

伝統ある日本文学の継承・発展と、市民文化の向上に資することを目的として、毎年、前年に発表された女性作家による文学作品を選考し、表彰している(一般公募は行わず、作家、文芸評論家、出版社、新聞社、市民推薦人などが推薦した作品の中から選ばれる)。

毎年11月に「紫式部市民文化賞」と併せた贈呈式・記念イベントを実施している。なお、賞金は200万円と地方自治体主催の文学賞としては大きなものである。

2) 紫式部市民文化賞

宇治ならではの地域文化を市民の手で作り上げることを目的として、市民による作品(文学作品に限らず、歴史・民俗研究・評論なども含まれる)を公募し、その中で優れた作品を選考し、表彰している。

応募作品は増加傾向にあり、平成25年度の応募作品数は62作品だった。また、近年では若者からの応募も多く、高校生が受賞したこともある。

3) 宇治十帖スタンプラリー

源氏物語「宇治十帖」の古跡を中心に、世界遺産の宇治上神社、平等院ほか市内の史跡や宇治の自然を歩くスタンプラリーである。

参加者は年々増加しており、最近数年は16,000~20,000人程度がスタンプラリーを完遂位して景品を受け取っている(ゴールしない方もいるため、実際の参加者数はこれ以上の見込み)。参加者アンケートの結果によれば、市民と市外からの参加者の割合は概ね1対1であり、市外からの来訪にもつながっている。

③ 「源氏ろまん」の実施体制

宇治市議会、商工会議所、商工会議所、観光協会、各種文化芸術関連団体、地域団体、宇治市など幅広い団体により構成される「紫式部文学賞イベント実行委員会」を結成しており、毎年8月1日に源氏ろまんの総会を開催している(企画・運営主体は宇治市文化自治振興課)。

図表 III-17 文化振興関連計画・ビジョンの整理(近隣都市)

有(吹田市文化振興基本条例)
有(吹田市文化振興審議会)

IV. 茨木市文化振興ビジョン(素案)の構成

これまでの調査結果を踏まえて作成した「(仮称)茨木市文化振興ビジョン(素案)」の構成は次に示す通りである。これを素案として平成 26 年度に引き続き検討を進めていく。

図表 IV-1 (仮称)茨木市文化振興ビジョン(素案)の構成

第1章 文化振興ビジョン策定にあたって - はじめに - 茨木市の文化 - 文化振興の必要性 - 文化振興ビジョンの位置付け - 文化振興施策の中長期的な指針 - 第5次茨木市総合計画との関係 - 文化芸術振興基本法を踏まえた策定 - 文化振興ビジョンの理念 - 市民との協働による文化のまちづくり - 未来へ向けた文化の継承・育成 - 郷土文化を通じた地域への愛着心の形成 - 文化と触れる・つながる「場」づくり 「文化のまち」としてのブランド形成 - 文化振興に関する現在の取り組み - 多彩な文化芸術イベントの実施 - 次世代を担う若者の積極的な育成 - 市民文化芸術団体との協働 - 公共施設の活用促進	第3章 「文化のまち」をめざすための取り組み - 市民との協働による文化のまちづくり - 市民の自発的な文化芸術活動に対する支援 - 市民と文化芸術をつなぎ、協働を推進する人材の育成 - 市内文化芸術団体間の連携の強化 - 市民・学校・市の連携による活性化 - 未来へ向けた文化の継承・育成 - 文化芸術の教育現場における活用 - 文化芸術の担い手の育成 - 郷土文化を通じた地域への愛着心の形成 - 歴史的・伝統的資源の保存・継承 - 川端康成ゆかりの地であることの周知 - 文化と触れる・つながる「場」づくり - 誰もが文化とつながる環境づくり - いつでも・どこでも文化に触れられる環境づくり - 文化の視点を活かした都市整備 「文化のまち」としてのブランド形成 - 茨木らしさを活かしたブランド形成・発信 - 文化芸術を活かした誘客によるにぎわい創出
第2章 茨木市の文化的特性 - 市民の活発な文化芸術活動 - 多様な文化芸術活動 - 市民と市の協働による事業の実施 - 豊富な文化資源 - 歴史・伝統的資源 - 新しい文化の創出 - 文化芸術活動の場としての施設 - 川端康成とのゆかり - 川端康成と茨木市 - 川端康成ゆかりの地 - 進展する文化のまちづくり	第4章 「文化のまち」をめざす体制 - 推進体制 - ビジョンの進行管理・評価 資料編

以上

V. 資 料 編

【資料1】文化芸術に関する市民アンケート調査 調査票

【資料2】文化芸術に関する学校アンケート調査 調査票

文化芸術に関する市民アンケート調査

平素から、皆さまには市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、本市では第4次茨木市総合計画において文化芸術の振興に関する方向を示しており、取り組みを進めているところです。その取り組みをさらに進展させるために、現在、本市の文化芸術振興の指針となる茨木市文化振興ビジョンの策定を進めております。

策定にあたりましては、市民の皆さまが日頃文化芸術について考えておられることや、率直なご意見などをお伺いし、基礎資料として役立てていきたいと考えております。

つきましては、ご多用のところ誠に恐れ入りますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 25 年(2013 年)11 月 茨 木 市

【ご回答にあたってのお願い】

- 本アンケート調査は、平成 25 年(2013 年)10 月 1 日現在、茨木市にお住まいの 20 歳以上の市民のなかから 2,000 人を無作為に抽出してご協力をお願いしております。
- 調査結果は統計的な分析のみに使用するものであり、それ以外の目的には使用しません。
- 住所・氏名・連絡先などをご記入いただく必要はありません。
- 本アンケート調査は平成 25 年(2013 年)11 月 25 日(月)までに同封の返信用封筒にてご返送ください。

【本アンケート調査に関するお問合せ先】

◆調査票の記入方法・内容について

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部 研究開発第2部 渡辺・戸田
TEL:06-7637-1458 E-mail: hideto.watanabe@murc.jp

◆調査の趣旨・目的について

茨木市市民文化部文化スポーツ課文化振興係 庄田・木下
TEL:072-620-1608

【本アンケート調査における文化芸術・文化芸術活動・文化芸術施設の定義】

文 化 芸 術:文学(小説・随筆・俳句・詩など)、音楽、美術(絵画・彫刻・工芸など)、写真、演劇・舞踏・ダンス、映画・ドラマ、漫画・アニメーション、歌舞伎・雅楽・能楽・文楽、講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱、茶道・華道・書道などを指します。

文化芸術活動:文化芸術の鑑賞・実践を指します。

文化芸術施設:文化芸術を鑑賞・実践するための施設を指します。

A. 文化芸術全般についてお尋ねします

問1: 日常生活の中で、文化芸術作品を鑑賞することや、自ら文化芸術を実践することは大切なことだと思いますか。(あてはまる番号に1つだけ○)

1. 大切である
2. どちらかというと大切である
3. どちらともいえない
4. どちらかというと大切ではない
5. 大切ではない

問2: どのような文化芸術に関心がありますか。(あてはまる番号に3つまで○)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 文学(小説・随筆・俳句・詩など) | 7. 漫画・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・雅楽・能楽・文楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻・工芸など) | 9. 芸能(講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問3: 文化芸術に関する情報をどのような方法により入手していますか。(あてはまる番号に3つまで○)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. チラシ・ポスター | 5. 新聞 |
| 2. インターネット | 6. 雑誌・書籍 |
| 3. テレビ | 7. 友人・知人からの口コミ |
| 4. ラジオ | 8. その他(具体的には:) |

B. 文化芸術の鑑賞についてお尋ねします

問4: 最近1年間に、どのような文化芸術を鑑賞しましたか。文化芸術の種類別に、鑑賞の有無と、鑑賞している場合はその方法についてお答えください。(種類別にあてはまる番号すべてに○)

文化芸術の種類	鑑賞している			鑑賞していない
	テレビ・ラジオ・書籍	インターネット	施設	
【記入例】文学(小説・随筆・俳句・詩など)	①	2	③	4
文学(小説・随筆・俳句・詩など)	1	2	3	4
音楽	1	2	3	4
美術(絵画・彫刻・工芸など)	1	2	3	4
写真	1	2	3	4
演劇・舞踏・ダンス	1	2	3	4
映画	1	2	3	4
漫画・アニメーション	1	2	3	4
伝統芸能(歌舞伎・雅楽・能楽・文楽など)	1	2	3	4
芸能(講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など)	1	2	3	4
生活文化(茶道・華道・書道など)	1	2	3	4
その他(具体的には:)	1	2	3	4

問5: 今後、どのような文化芸術を鑑賞したいと思いますか。(あてはまる番号に3つまで○)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 文学(小説・随筆・俳句・詩など) | 7. 漫画・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・雅楽・能楽・文楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻・工芸など) | 9. 芸能(講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問6: 文化芸術の鑑賞にあたって、最もよく出掛ける地域はどこですか。(あてはまる番号に1つだけ○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 茨木市 |
| 2. 大阪市 |
| 3. 北摂地域(高槻市、吹田市、摂津市、箕面市、池田市、豊中市) |
| 4. 京都市 |
| 5. その他(具体的には:) |
| 6. 出掛けることはない |

問7: 茨木市内で、文化芸術を鑑賞する際に課題や問題を感じるのはどのような点ですか。(あてはまる番号に3つまで○)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 利用したい文化芸術施設が少ない | 7. チケットが手に入りにくい |
| 2. 文化芸術施設の設備や雰囲気がよくない | 8. 子どもを預けるところがない |
| 3. 文化芸術施設への交通の便がよくない | 9. 鑑賞する時間がない |
| 4. 魅力的なイベント・催し物が少ない | 10. 一緒に鑑賞を楽しむ仲間や友人がいない |
| 5. イベント・催し物の情報が得にくい | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 鑑賞にかかる費用が高い | 12. 特にない |

問8: 次の茨木市の施設について、文化芸術を鑑賞するために利用したことはありますか。(あてはまる番号にすべて○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 市民会館・大ホール | 10. 福祉文化会館ギャラリー |
| 2. 福祉文化会館・文化ホール | 11. 市民総合センターギャラリー |
| 3. 市民総合センター・センターホール | 12. 川端康成文学館ギャラリー |
| 4. 市民総合センター・多目的ホール | 13. 公民館・コミュニティセンター |
| 5. 生涯学習センター・きらめきホール | 14. 郡山宿本陣(樺の本陣) |
| 6. 男女共生センター・ワムホール | 15. 文化財資料館 |
| 7. 川端康成文学館 | 16. 元茨木川緑地 |
| 8. 富士正晴記念館 | 17. その他() |
| 9. 市立ギャラリー | |

問9: 文化芸術を鑑賞するにあたって、市の文化芸術施設の満足している点、魅力などがありましたらご記入ください。特定の施設についてであれば、具体的な施設名称も併せてご記入ください。(自由記述)

問10: 文化芸術を鑑賞するにあたって、市の文化芸術施設に不足を感じる点、ご要望などがありましたらご記入ください。特定の施設についてであれば、具体的な施設名称も併せてご記入ください。(自由記述)

C. 文化芸術の実践(創作、制作、演奏など)についてお尋ねします

問11: 最近1年間にどのような文化芸術を実践しましたか。(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 文学(小説・随筆・俳句・詩など) | 7. 漫画・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・雅楽・能楽・文楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻・工芸など) | 9. 芸能(講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問12: 今後、どのような文化芸術活動を実践したいと思いますか。(あてはまる番号に3つまで○)

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. 文学(小説・随筆・俳句・詩など) | 7. 漫画・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・雅楽・能楽・文楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻・工芸など) | 9. 芸能(講談・落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問13: 文化芸術の実践にあたって、最もよく出掛ける地域はどこですか。(あてはまる番号に1つだけ○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 茨木市 |
| 2. 大阪市 |
| 3. 北摂地域(高槻市、吹田市、摂津市、箕面市、池田市、豊中市) |
| 4. 京都市 |
| 5. その他(具体的には:) |
| 6. 出掛けることはない |

問14: 茨木市内で、文化芸術を実践する際に課題や問題を感じるのはどのような点ですか。(あてはまる番号に3つまで○)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1. 展示や発表ができる場所がない | 6. 創作や練習のための教室・講習が少ない |
| 2. 稽古や練習ができる場所がない | 7. 一緒に活動に取り組む仲間や友人がいない |
| 3. 文化芸術施設の利用料金が低い | 8. 子どもを預けるところがない |
| 4. 指導者が少ない | 9. その他(具体的には:) |
| 5. 文化芸術活動団体の情報が少ない | 10. 特になし |

問15: 次の茨木市の施設について、文化芸術を実践(発表・展示・練習など)するために利用したことはありますか。(あてはまる番号にすべて○)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 市民会館・大ホール | 10. 福祉文化会館ギャラリー |
| 2. 福祉文化会館・文化ホール | 11. 市民総合センターギャラリー |
| 3. 市民総合センター・センターホール | 12. 川端康成文学館ギャラリー |
| 4. 市民総合センター・多目的ホール | 13. 公民館・コミュニティセンター |
| 5. 生涯学習センター・きらめきホール | 14. 郡山宿本陣(椿の本陣) |
| 6. 男女共生センター・ワムホール | 15. 文化財資料館 |
| 7. 川端康成文学館 | 16. 元茨木川緑地 |
| 8. 富士正晴記念館 | 17. その他() |
| 9. 市立ギャラリー | |

問16: 文化芸術を実践するにあたって、市の文化芸術施設の満足している点、魅力などがありましたらご記入ください。特定の施設についてであれば、具体的な施設名称も併せてご記入ください。(自由記述)

問17: 文化芸術を実践するにあたって、市の文化芸術施設に不足を感じる点、ご要望などがありましたらご記入ください。特定の施設についてであれば、具体的な施設名称も併せてご記入ください。(自由記述)

D. 茨木市の文化芸術振興の状況や施策についてお尋ねします

問18: 茨木市における文化芸術振興の状況について、現状どの程度満足しているか、また今後どの程度重要とお考えになるかについてお答えください。(状況別の満足度・重要度について、あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○)

文化芸術振興の状況	満足度					重要度				
	満足である	やや満足である	どちらともいえない	あまり満足でない	満足でない	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
【記入例】茨木市が…形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
茨木市が「文化のまち」であるというブランドが形成されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化芸術イベントが充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化芸術施設が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
景観形成に文化芸術が活用されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育に文化芸術が活用されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
市民の文化芸術活動が盛んである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
芸術家・クリエイターの育成が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化芸術活動の指導者が豊富にいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化産業の形成が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
伝統芸能・郷土文化が継承されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
高齢者・障がい者・外国人など誰もが文化芸術を楽しむ機会がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
文化芸術に係る国際交流が盛んである	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問19: 文化芸術に関する茨木市の情報発信について、どのような方法を希望されますか。(あてはまる番号に3つまで○)

1. 広報紙・ばらき	5. 新聞・雑誌
2. チラシ・ポスター	6. テレビ・ラジオ
3. 市・関連団体のホームページ	7. その他(具体的には:)
4. Twitter・facebook	

問20: 最近1年間に、茨木市がこれまでに企画・開催した展覧会、演奏会などのイベントに参加したことはありますか。参加したことのあるイベントをお答えください。(あてはまる番号に3つまで○)

1. 芸術展覧会	4. 文学講座
2. 伝統芸能・生活文化展覧会	5. その他(具体的には:)
3. 音楽演奏会	

【参考】茨木市が企画・開催した展覧会、演奏会などのイベント

芸術展覧会	茨木市立ギャラリー企画展、写真展・写真展入賞作品展、現代美術展、美術展・美術展入賞作品展、川端康成文学館テーマ展、川端康成文学館ギャラリー企画展、生誕月記念企画展 など
伝統芸能・生活文化展覧会	生花展、茶華道展、愛石盆栽展、邦楽名演会、市民吟詠大会、市民謡曲大会、郷土民俗資料展 など
音楽演奏会	新人演奏会、茨木市吹奏楽団スプリングコンサート・オータムコンサート、市民音楽会、少年少女合唱団定期演奏会 など
文学講座	川端康成文学館文学講座・連続講座 など

問21: 今後、茨木市においてどのようなイベントが企画・開催されることを希望されますか。(あてはまる番号に3つまで○)

1. 美術品・芸術品を鑑賞できる展覧会	6. 文化芸術活動の実践を学ぶための講座
2. 伝統芸能・生活文化に触れる展覧会	7. 子どもが文化芸術に触れるイベント
3. 演奏を鑑賞できる演奏会	8. 芸術家・クリエイターと市民の交流イベント
4. 演劇を鑑賞できる舞台公演	9. その他(具体的には:)
5. 市民による文化芸術活動の発表会・展示会	

E. 茨木市の文化芸術に関する地域資源についてお尋ねします

問22: 茨木市が川端康成氏のゆかりの地(幼児期から旧制中学校卒業期までを茨木で暮らした)であることをご存知ですか。(あてはまる番号に1つだけ○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 知っていた | 2. 知らなかった |
|----------|-----------|

問23: 川端康成氏の作品を読んだことがありますか。(あてはまる番号に1つだけ○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 読んだことがある | 2. 読んだことがない |
|-------------|-------------|

問24: 茨木市では、より多くの人が集い、文化に親しめる憩いの場をつくることを目指し、野外彫刻設置事業として、平成23年度に南茨木駅前に「サン・チャイルド」を設置しました。この「サン・チャイルド」をご存知ですか。(あてはまる番号に1つだけ○)

- | |
|-----------------------|
| 1. 見たことがあり、名前も知っていた |
| 2. 見たことはあるが、名前は知らなかった |
| 3. 見たことはないが、名前は知っていた |
| 4. 見たことがなく、名前も知らなかった |

平成23年度設置作品
作品名: サン・チャイルド
作家名: ヤノベケンジ
設置場所: 南茨木駅前ロータリー内



F. 自由意見

問25: 文化芸術施策・文化芸術施設等に関して、ご意見等がございましたらご記入ください。(自由記述)

G. あなたご自身のことについてお尋ねします

■最後に、あなたの年齢、性別、職業、居住地域についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ1つずつ○)

年 齢	1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代	4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上	
性 別	1. 男性	2. 女性	
職 業	1. 自営業(農家等含む)・会社経営 2. 正社員・正職員 3. パートタイム・アルバイト 4. 派遣社員・契約社員	5. 家事専従 6. 学生 7. 無職(家事専従・学生のぞく)	
お住まいの 小学校区	1. 茨木小学校 2. 春日小学校 3. 春日丘小学校 4. 三島小学校 5. 中条小学校 6. 玉櫛小学校 7. 安威小学校 8. 玉島小学校 9. 福井小学校 10. 清溪小学校 11. 忍頂寺小学校	12. 大池小学校 13. 豊川小学校 14. 中津小学校 15. 東小学校 16. 水尾小学校 17. 郡山小学校 18. 太田小学校 19. 天王小学校 20. 葦原小学校 21. 郡小学校 22. 庄栄小学校	23. 沢池小学校 24. 畑田小学校 25. 山手台小学校 26. 耳原小学校 27. 穂積小学校 28. 白川小学校 29. 東奈良小学校 30. 西小学校 31. 西河原小学校 32. 彩都西小学校
	33. 分からない (町名をご記入ください:	町 丁目)	

お忙しい中、アンケートへのご協力誠にありがとうございました。

本調査票は 11 月 25 日(月)までに、同封しております返信用封筒に入れて、
ご返送いただきますようお願い致します(切手をお貼りいただく必要はありません)。

ぶん かげいじゅつ ちょうさ
文化芸術に関する学校アンケート調査

このアンケートは、みなさんの日頃の活動や関心についておたずねするものです。

質問をよく読んで、あなたが思ったこと、あてはまることをそのまま答えてください。

アンケートを書き終わったら、先生にわたしてください。先生がアンケートの中身を読むことは
ありませんので、安心してアンケートを書いてください。

平成25年12月 茨木市

問1： 次のうち、どのようなものに興味や関心がありますか。（あてはまる番号に3つまで○）

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 文学(小説・俳句・詩など) | 7. マンガ・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・能楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻など) | 9. 芸能(落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問2： 最近1年間に鑑賞した(見たり、聴いたりした)ものはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 文学(小説・俳句・詩など) | 7. マンガ・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・能楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻など) | 9. 芸能(落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問3： 今後、どのようなものを鑑賞したいと思いますか。（あてはまる番号に3つまで○）

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 文学(小説・俳句・詩など) | 7. マンガ・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・能楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻など) | 9. 芸能(落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問4： 最近1年間に取り組んだことのある活動はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 文学(小説・俳句・詩など) | 7. マンガ・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・能楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻など) | 9. 芸能(落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問5： 今後、取り組んでみたい活動はありますか。（あてはまる番号に3つまで○）

- | | |
|------------------|-------------------------|
| 1. 文学(小説・俳句・詩など) | 7. マンガ・アニメーション |
| 2. 音楽 | 8. 伝統芸能(歌舞伎・能楽など) |
| 3. 美術(絵画・彫刻など) | 9. 芸能(落語・浪曲・漫談・漫才・歌唱など) |
| 4. 写真 | 10. 生活文化(茶道・華道・書道など) |
| 5. 演劇・舞踏・ダンス | 11. その他(具体的には:) |
| 6. 映画 | 12. 特にない |

問6： 今後、学校の授業や行事で、どのような活動をしたいと思いますか。
(あてはまる番号に1つだけ○)

- | |
|---|
| 1. 文化的な活動や芸術作品などを鑑賞したい |
| 2. 自分で文化的な活動をしたり、芸術作品をつくりたい |
| 3. 有名な作家や芸術家たちと話してみたい |
| 4. 茨木市で文化的な活動をしたり、芸術作品を作ったりしている人と話してみたい |
| 5. 茨木市の歴史や文化などをもっと知りたい |
| 6. その他(具体的には:) |

問7： この写真のひとを知っていますか。（あてはまる番号に1つだけ○）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

日本を代表する
小説家です。



昭和43年に日本人で初めて
ノーベル文学賞を受賞しました

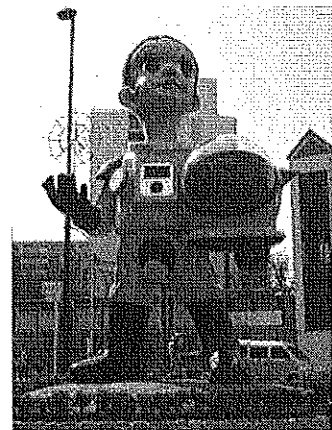
・・・正解は、
“川端康成” さんです。

1. 知っていた 2. 知らなかった

1. 読んだことがある 2. 読んだことがない

1. 参加した
2. 参加しなかったが知っていた
3. 知らなかった

1. 見たことがあり、名前も知っていた
2. 見たことはあるが、名前は知らなかった
3. 見たことはないが、名前は知っていた
4. 見たことがなく、名前も知らなかった



問12： これからの茨木市の文化や芸術について、「もっとこうなったらいいな」といった希望や意見があれば教えてください。（自由に書いてください）

3

